

第七十六回帝國議會 院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)
(政府提出)(第五九號)

會議

昭和十六年二月十四日(金曜日)午前十時十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事吉植 庄亮君 理事成島 勇君

池田七郎兵衛君 石井德久次君

石坂 繁君 小笠原八十美君

長野 綱良君 北 勝太郎君

北村 文衛君 坂下仙一郎君

鈴木 文治君 田中 邦治君

土田 莊助君 坪山 德彌君

松田喜三郎君 三善 信房君

村上 元吉君 東條 貞君

渡邊 健君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省資材部長 重政 誠之君

食糧管理局長官 湯河 元威君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 森 肆郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年法律第九十號中改正法律案

(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

○村上委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

石坂繁君

○石坂(繁)委員 私ハ先ヅ大臣ニ御伺ヒスル

二三ノ點ガアリマスアレドモ、大臣ガ出席
出來マセヌサウデアリマスカラ、ソレヲ大

臣御出席後ニ御許シヲ願フコトニ致シマシ
テ、只今御出席ニナツテ居ル政府委員ノ方
カラ逐次御伺ヒ致シタイト思ヒマス

先ヅ本案ニ直接ノ關係ヲ持ツ點カラ管理
局長官ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、

先般坪山君トノ質疑應答ニ依リマシテ、今
同ノ改正サレル内容、即チ「米穀以外ノ食糧

農產物並ニ其ノ加工品」斯ウ云フ風ニ改正
サレルコトニナツテ居リマスルガ、其ノ内

容ニ付キマシテハ、米麥、甘藷、馬鈴薯ソ
レカラ麵類、斯ウ云フ風ノコトニ御説明ヲ

承ツタヤウニ記憶致シテ居リマス、其ノ御
説明ニ依ツテ伺ヒマスト云フト、此ノ改正

案ニアル食糧農產物並ニ加工品ト云フ中ニ
ハ、食糧農產物トシテノ蕎麥、穀粉トシテ

ノ蕎麥ノ粉、及ビ其ノ加工品トシテノ蕎麥
ト云フモノハ入ツテ居ナイヤウデアリマス

ルガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○湯河政府委員 此「米穀以外ノ食糧農產
物並ニ其ノ加工品」中ニ入ツテ居ル積リデ

ゴザイマス、法律ノ解釋上當然入り得ルト
存ジテ居リマス、唯サウ云フモノヲ何時買

フカ、又實際買フカト云フコトニナリマス
ルト、其ノ時ノ情勢ニ依リマシテソレヲ決

メナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居リマ
スガ、法律ノ中ニハ當然豫想シテ居ル積リ

デ居リマス

○石坂(繁)委員 サウ致シマスレバ只今ノ
所、穀粉トシテノ蕎麥或ハ加工品トシテノ
蕎麥ニ付テノ大體ノ價格ノ取極メト云フモ

○湯河政府委員 蕎麥ノコトニ付キマシテ
ハ乾蕎麥ノ價格ハ公定サレテ居ルコトヲ記
憶シテ居リマスガ、蕎麥ソレ自身、或ハ蕎
麥ノ粉自身ノ價格ニ付キマシテハ、的確ノ
コトヲ承知致シテ居リマセヌガ、多分マダ
決マツテ居ラナイト存ジテ居リマス

○石坂(繁)委員 サウ致シマスレバ、今日
蕎麥ヲ何時買上ゲルカト云フヤウナコトニ
付テハマダ決マツテ居ナイ、斯ウ云フ風ナ

御説明デアリマスガ、ソレニ依ツテ伺ヒマ
スト、將來蕎麥ト云フモノニ對シマシテモ、

政府ハ買上ゲラレルコトガアル、斯ウ云フ
風ニ承知シテ宜シイカ

○湯河政府委員 其ノ通りデゴザイマス

○石坂(繁)委員 私ハ蕎麥ノ問題ニ付テ尙
ホ少シ御伺ヒシテ見タイト思フノデアリマ

ス、今日ノ情勢ハ何ト致シマシテモ食糧ヲ
確保シナケレバナラナイ、是ハ申上ゲルマ

デモナイ、其ノ點カラ致シマスルト、蕎麥
ト云フモノノ食糧ニ對スル重要性ト云フモ

ノハ可ナリ大デアル、私ハ九州ノ熊本縣デ
アリマスガ、私共ノ田舎ノ例ヲ取ツテ見マ

シテモ、農家ノ代用食ト致シマシテハ、蕎
麥ノ粉ヲ煉リマシテ蕎麥煉――或ハ蕎麥

カキトモ云ヒマスガ――ヲ拵ヘテ居リマス
或ハ又農家デ手打蕎麥ヲ拵ヘテ居ル、或

ハ之ヲ團子ニシテ味噌汁ノ中へ入レテ食ベ
ルト云フ風ニナツテ居リマシテ、而モ其ノ

味ヒハ相當ノ味ヒヲ持ツテ居リマス、而シ
テ栽培收穫ノ點カラ申シマス、僅カ三箇

月足ラズデ成熟シ、相當ノ收穫ヲ擧ゲルコ

トガ出來、山ヲ開墾シタバカリノ燒畑ニ作
リマシテモ相當收穫ガ得ラレル、ソコデ
今日各方面カラ凡ユル方法ヲ講ジ、凡ユル

力ヲ動員シテ増產ヲシナケレバナラナイ時
節ニ當リマシテ、生産ノ點カラ申シマシテ

モ、極メテ容易デ而モ食糧トシテ相當ノ美
味嗜好ニ適スル蕎麥ガ増產計畫ノ中ニモ入

ツテ居ラヌヤウデアリマスガ、此ノ點ハ農
林當局トシテ、食糧生産ヲ凡ユル方面カラ

ヤラナケレバナラヌ今日ノ時局ニ鑑ミラレ
ルナラバ、農林當局ノ増產計畫ノ中ニ當然

入レラレテモ然ルベキモノデアラウト考ヘ
ルノデアリマス、今ノ米麥、甘藷等ノ増產

計畫ハ固ヨリ然ルベキコトデアリマスガ、
今日ノ急場ノ間ニ合ハスル爲ニ、最モ簡便

ニシテ、而モ相當重要ナ役割ヲ演ジ得ルモ
ノハ蕎麥ノ増產計畫デアリマシテ、而モ是

ハ容易ニシテ實績ヲ擧ゲ得ル農產物デアリ
マス、此ノ點ニ付キマシテハ政府ハ從來御

計畫ニナツテ居ラヌヤウデアリマスガ、此
ノ蕎麥ガ時局下ニ於ケル適作デアルコトノ

御認識ヲ得ラレマシテ、之ニ對スル増產計
畫ヲ立テテ戴キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居

リマスガ、農政局長ナリ、食糧管理局ノ長
官ナリノ此ノ點ニ對スル御意見ヲ承ハリタ

イノデアリマス

○湯河政府委員 蕎麥ノコトニ付キマシテ、
只今石坂サンカラ非常ニ御熱心ナ、又非常

ニ有益ナ御話ヲ承ハリマシテ、吾々洵ニ有
難ク思ツテ居リマス、蕎麥ニ付キマシテハ

實ハ吾々モ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、

只今承ハリマシタヤウニ、蕎麥ハ非常ニ早ク穫レルシ、七十五日デ成熟スルコト、或ハ暖カイ地方ナラ年ニ三回、其ノ他ノ地方デモ年ニ二回位穫レルト云フヤウナコトモ伺ツテ居リマス、隨テ此ノ急場ニ、今カラ手ヲ着ケテモ間ニ合フノダト云フコトモ承

ハツテ居リマス、又蕎麥ハ別ニ立派ナ畑ヲ使ハナイデモ、大抵ノ土地デ生エル、或ハ風水害等ノ天災ノ後ノ荒廢地、或ハ河川敷等ニモ植付ケガ出來ル、尙ホ肥料モ使ハナイデ出來ルカラ良イモノダト云フコトヲ承

ツテ居リマス、唯從來此ノ蕎麥ヲ普通ノ蕎麥トシテ食ヒマス、無論ソレガ饅饅ト同ジヤウニ飯ノ足シニハナル譯デアリマスガ、ドウモ米ノ中ニ一緒ニ入レテ食フ他ノ混食スル食糧ト同ジヤウニ扱フ譯ニハ參ラヌカ

トモ思フノデアリマス、或ハ御經驗ガオアリカト存ジマスガ、東京市内デ時々蕎麥ヲ粒ニシテソレヲ御飯ニ入レテ食ベテ居ル例モゴザイマスガ、是モ適當デナイヤウニ思フノデアリマス、所ガ最近ニナツテ、蕎麥ヲ其ノ儘食フコトモ出來ルノダト云フ話ヲ伺ツテ居リマス、實ハ過般其ノ試食ヲ致シテ見タ經驗モゴザイマスガ、今御話ニ出

タヤウニ大變結構ナモノカト思ヒマス、吾

吾トシテハ從來サウ云フヤウナ蕎麥ヲ主要食糧トシテ完全ニ使ヒコナス途ガ見出セマセヌデ、實ハ蕎麥ノ外ノ麥其ノ他ヤウツテ居リマシタガ、サウ云フヤウナ用途ガ立チ

マシタノデ、今後ハ其ノ點ニ付テ十分考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレデ此ノ蕎麥ノ増産ニ付テモ、吾等トシテハ實ハ種ヲ準備シテ置ク必要ガラウカト云フノデ、蕎麥ハ大陸方面ニモ色々關係ガゴザイマ

スカラ、其ノ方ノ調べ等ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、御趣旨ニ副フヤウニ是カラシテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居

リマス

○石坂(繁)委員 蕎麥ニ對シテ食糧管理局

長官カラ御懇切ナル御答辯ガアリマシタガ、何卒只今ノ御考ヘヲ以テ一層御努力ヲ願ヒタイト存ジマス、尙ホ私ハ増産計畫ノ一般的ノ一ツノ方法トシテ御伺ヒ致シマス

ガ、先般來食糧増産ニ對シテハ、或ハ勞力不足ヲ克服シ、資材ノ配給ヲヨリ圓滑ニシナケレバイカス、更ニ最モ論議ヲ集中サレ

タルガ、此ノ價格ノ問題ニ付テハ、昨日ノ農林大臣ノ北君、吉植君ニ對スル御答辯ニ依ツテ、或ハ是レ以上質問應答ヲ重ネルコ

トハ適當デナイト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付テハ論ジマセスガ、増産ノ一ツノ方法トシテノ補助金交付ノ問題ニ付テ伺ヒタイト

思ヒマス、是ハ農政局長ニ御尋ネ致シタイ

ノデアリマスガ、從來各種各様ノ補助金ノ交付ガゴザイマス、隨テ本省ニ於ケル補助金ノ計上サレタ總額ト云フモノハ相當ノ額

ニ上ルノデアリマスガ、ソレガ愈、生産農家ニ交付サレルト云フ段ニナリマス、金額ト云フモノハ非常ニ小サクナツテ來ルシ、

又色々分レテ來ル、隨テ折角政府ガ其ノ産業ノ増産或ハ助長政策トシテ補助金ヲ交付サレマシテモ、餘リ少クナツテ效果ガ現ハ

レナイト云フコトガ能クアルノデアリマス、是デハ今日ノ時局ニ即應スル所ノ増産ト云フモノニ對スル效果ガ極メテ薄イノデハナ

イカ、隨テ補助金交付ノ問題ニ付テ私ハ再

檢討ヲ試ムベキデアルト思ツテ居リマスガ、其ノ一ツノ方法トシテハ、從來極メテ分散

的ニヤラレタモノヲ、モウ少シ重點主義ト

申シマスルカ、或ハ集中シテ之ヲヤル、是

モ一ツノ方法デアラウト考ヘマス、モウ一ツノ方法ハ、或ハ部落ヲ單位ニシテ、甘諸ナ

ラ甘諸ノ増産ヲ競争サセル、或ハ町村ヲ單

位トシテ競争サセル、斯ウ云フ風ナコトデ、オ互ヒニ競争シ合フト云フヤウチ方法デ、

一番生産ノ實ヲ擧ゲタモノニ特ニ交付スル、斯ウ云フ風ニ補助金交付ノ方法ヲ變ヘテ行

ツテハドウカト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ寧ろ萬遍ナク少額ノモノ

ヲ交付致シマスルヨリモ、私ノ申上ゲマシタヤウナ方法ニ依ツテ交付スルコトガ、ヨ

リ効果的ダト斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマ

スガ、當局ノ此ノ點ニ關スル御所見ヲ伺ヒ

タイト思ヒマス

○岸政府委員 補助金ノ問題デ、只今ノ補

助金ノ交付ノヤリ方ガ極メテ分散的デ、隨

テ地方ニ參ルト非常ナ少額ニナル、ソレデ

ハ效果ガナイデハナイカ、モツト之ヲ集中

的ニ重點主義デ行ツタ宜クハナイカ、斯

ウ云フヤウナ御話ダラウト思ヒマスガ、只

今ノ補助金ノヤリ方ニ付テハ色々御意見モ

アルヤウデアリマス、又増産計畫ヲ始メマ

シタ當時ニ於キマシテモ、斯様ナ御注意ガ

アリマシテ、極力今御話ノアツタヤウナ御

趣意ニ副ウテ補助金ノ交付ノヤリ方ヲヤツ

テ行ク、特ニ補助金ヲヤル場合ニ於テ、之

ヲ活用スル上ニ於テ成ベク地方ノ創意ヲ活

カスヤウニト云フ風ナ考ヘ方デヤツテ居ル

ノデアリマス、隨テ其ノ交付ノヤリ方ニ付

キマシテハ、府縣ニ割當テテ居リマスガ、

其ノ先ノ活用ハ成ベク地方長官ノ考ヘデ地

方ニ適シタヤウニ交付スルヤウニヤツテ居

ル譯デアリマス、又補助金ヲヤルニ當リマ

シテ、現在非常ニ分散シテ居ルヤウニ見エ

マスケレドモ、色々各方面カラ研究致シマ

シテ、此ノ點ニ重點ヲ置イタラ宜イダラウ

ト云フモノニ付テ補助金ヲ計上スルヤウニ

致シテ居ルノデアリマスガ、何分ニモサウ

云フヤウナ事項ガ相當澤山アルノデアリマ

シテ、其ノ澤山アルモノヲ今度ハ一括シテ

ヤルト云ツテモ中々困難デアリマスカラ、

ヤハリ其ノモノガ有效ニ働クヤウニ或ル程

度ハ計上ノコトモ考ヘテ行カナケレバナラ

ヌ、自然計上シマス時ニハ何百万圓ト云フ

金モ、地方ヘ參リマスストソレガ少額ニナル

ト云ツタヤウナ點モアルト思ヒマス、併シ

根本ニ於キマシテハ増産ヲ最モ有效ニヤツ

テ行クト云フ點ニ重點ヲ置イテ、俗ナ言葉

デ言ヒマスレバ、ツボヲ抑ヘテ進メルト云

フ風ニヤツテ居ル譯デゴザイマス、是等ニ

付テハ尙ホ十分研究シナケレバナラヌ點ガ

アルデアラウト考ヘテ居リマスノデ、今後

トモ十分慎重ニ研究シテ行キタイト思フノ

デアリマス、部落ニ對シテヤウナ點モ十分研

究シテ見タイト思ヒマス、是等ニ付テハ部

分的ニハソレ等ノ方法モ講ジ、又他ノ方面

カラ協力シテ貰ツテ、サウ云フヤウナ效力

ノアルヤウニ努メテ居ルノデアリマスガ、

豫算ノ現ハシ方ニ付テモ十分研究シテ見タ

イト思ツテ居リマス

○石坂(繁)委員 農政局長ニ更ニ御伺ヒ致

シマスガ、米穀管理ノ結果トシテノ倉庫ノ

倉敷料ノ問題デアリマス、政府ノ指定倉庫

トナツテ居リマス倉庫ハ、私ノ承ツテ居ル

所ニ依リマス、何レモ其ノ倉敷料ハ一律

ニ一箇月一俵二錢九厘ト定メラレテ居ルト

云フコトデアリマス、然ルニ其ノ倉庫ニハ

政府ノ補助ヲ受ケテ建設シタ倉庫モアレバ、

サウデナイ倉庫モアル、即チ其ノ倉庫ニ全部自分ノ費用ヲ投ジテ居ルモノト、然ラザルモノトガアルノニモ拘ラズ、倉敷料ガ一律ニ只今申上ゲルヤウナ一俵二錢九厘ト云フヤウナコトニナツテ居ルコト自體ハ、是ハ稍、適當ヲ缺ク憾ミガアルノデアリマス、此ノ點ハ政府ノ補助ニ依ツテ建設シタ倉庫ト、然ラザルモノトニ對シマシテ、補助ヲ受ケタモノハ現在ノ儘ノ二錢九厘ト致シマシテモ、其ノ他ノモノニ對シマシテハ、之ヲ少クトモ二倍位ニ上ゲル必要ガアルノデアリカト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、現ニ農村方面ニ於キマシテハ、サウデナフ考ヘガ強イノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル局長ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 其ノ點ハ私ノ方カラ御答ヘ申上ゲマス、米ノ保管ニ付キマシテハ、助成金ガ出テ居ルノデアリマスガ、此ノ助成金ハ豫算ヲ取リマス時ニハ一律ニ決メテ居リマス、併シ地方廳ニソレヲ御渡シシテカラハ、地方廳ニ於テ然ルベクヤツテ戴イテ、今御話ノゴザイマシタ助成金ニ依ツテ建設シタ如キ負擔力ノアル所ヘハ、ソナニ澤山助成シナクテモ宜イ、併シ自己資本デ建テテ居ルヤウナ所ニハ厚クト云フ風ニ、差等ヲ付ケテ助成シテ貰ヒタイ意同ヲ持ツテ、コナラハ地方ニ交付シテ居ルノデアリマス、唯其ノ趣旨ガ不徹底デ、只今御指摘ノヤウナコトガアツタカト存シマスガ、能ク取調ベテ見タイト思ヒマス

○石坂(繁)委員 只今ノ御答辯ノヤウナコトデゴザイマスレバ、是非トモ當局ノ意ノ在ル所ヲ各地方ニ徹底サセテ戴キタイ、斯様ニ希望致シマス、尙ホ増産ノ推進力タルベキ農村ノ下部組織ノコトニ付テ御伺ヒ致シ

タイ、農業團體統合ノ問題ニ付キマシテハ、昨日モ農林大臣カラ御答辯ガアツタノデアリマス、其ノ點ヲ伺フノデハゴザイマセヌガ、最近色々傳ヘラレル所ニ依リマス、農村下部組織ノ問題ニ付テ、農林省ノ意見ト内務省ノ意見ガ——農林省ノ考ヘテ居ラレルコトト内務省ノ考ヘテ居ラレルコトノ二本建ノ意見ガアルヤニ仄聞致シテ居ルノデアリマス、只今申上ゲマス通りニ、一致協力シテ増産ニ進ム、斯ウ云フコトニナリマス、ドウシテモ是ハ部落ノ下部組織ガシツカリ致シマシテ、サウシテソコデ話合ヲ決メテ、一齊ニ努力スル、斯ウ云フコトデナケレバナラヌト思ヒマス、從來農業生産ノ推進力トナツテ居ルモノハ、申上ゲルマデモナク農事小組合、昨年ノ第七十五議會デ農會法ノ改正ガアリマシテ、サウシテ系統農會ガ指導力、統制力ヲ持ツト云フコトニナリマシテ、農村ノ小サイ團體ハ一層力ヲ發揮シ得ルヤウナ狀態ニナツテ來テ居ルト考ヘマス、ソコデ今日ノヤウナ時勢ニナリマシテ、此ノ農事小組合ト部落常會トノ調和ト云フコトガ、是ガ當面ノ問題トナツテ參ルダラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ關ジマシテ農林當局トシテ如何ナル處置ヲ講ゼラレマスルカ、承知致シタイト思ヒマス

○岸政府委員 増産ヲヤツテ行ク上ニ於テ、部落ガ中心ニナツテ行クノデアアル、此ノ部落ニ於ケル所ノ農業ノ團體ト常會等トノ關係ニ付テ相剋ノアルヤウナコトハイカス、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是等ノ關係ハ一寸今總務局ノ方デ取扱ツテ居リマシテ、目下内務省ト話合ヲシテ居ルヤウデアリマス、私カラ詳シイコトヲ申上ゲルコトハ出來マセヌ、唯私一個ノ考ヘトシテハサ

ウ云フコトニナツテハイカスト云フコトダケハ申上ゲラレマスガ、何レ總務局長ニ來テ戴イテ、アトデ御話申上ゲマス、サウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス

○石坂(繁)委員 此ハ此ノ問題ハ大臣ニ伺ツタラドウカト思ツタノデアリマスガ、出來ルダケ時間ノ都合ヲ考ヘマシテ政府委員ノ方ニ伺ツタノデスガ、此ノ問題ニ付キマシテノ考ヘ方及ビ成行キ、其ノ後ノ御方針ト云フコトニ付キマシテハ、只今ノヤウニ後刻宜シウゴザイマスカラ、何トカ適當ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス、尙ホ私ハ肥料ノ配給ノ問題ニ付テ若干御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、大臣モ資材部長モマダ見エマセヌノデ、私ハ資材部長ガ見エマシテカラニ致シマス

○村上委員長 ソレデハサウ云フコトニ致シマス——鈴木君

○鈴木(文)委員 大分同僚委員カラ各種ノ問題ニ付テ質問ガアリマシタガ故ニ、私ト致シマシテハ、極メテ簡單ニ二三點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

第一ハ米ノ不足ト戰爭トノ問題デアリマス、吾々日本人ハ申スマデモナク米ヲ主食シテ居ルノデアリマシテ、豐葦原瑞穂國デアルト何千年來言ヒ來ツテ居ルノデアリマシテ、米以外ノ物モ食ハナイコトハナイケレドモ、米ヲ主食トシテ生キテ來テ居ル國民デアルトハ、議論ノ餘地ノナイ問題デアルト思フノデアリマス、然ルニ此ノ度ノ日支事變ガ始リマシテ以來、年々米ガ段々不足ニナツテ參リマシテ、只今ノ所ニ於テ米ノ問題ニ付キマシテハ、殆ド無政府狀態デアルト言ツテ差支ナイト思フノデアリマス、各方面ニ其ノ例ガアルト思ヒマス、私

ハ神奈川縣鎌倉ニ居リマシテ、私ノ家デハ家族全體デ六人デアリマスルガ、六人ノ一日ノ割當ト云フモノハ米一升デアリマス、米一升デ六人暮シテ行ケナイコトハ勿論ノコトデアリマス、ソレナラバ「パン」デアルトカ、麵類デアルトカ、或ハ其ノ他物ガ十分ニアルカト申シマス、只今ハアリマセヌ、米ノ配給モ一日一升必ズ配給ニナルト決マレバ宜イノデアリマスケレドモ、一週間ニ一斗位配給ニナツタリ、或ハ一日ニ二三升配給ニナツタリシテ居ルノデアリマシテ、米ノ配給所前ハ五十人位人ガ立ツテ居ル、又其ノ中十人位ト云フモノハ、或ハ此ノ間配給シタダケデアルカラトカ、アナタノ所ハドウモ度々米ヲ請求シテ來テ困ルト言ハレテ、スゴク歸ルノデアリマス、此ノ爲ニ一日二時間位ハ配給所ニ於テ取ラレテ居ルヤウナ有様デアリマシテ、隨デ米ガ不足シテ來タト云フコトハドウ云フ所ニ其ノ原因ガアルカ、勿論人手ガ少イ、肥料ガ不足トカ、或ハ耕地ガ不足シテ來タト云フコトニ付テハ分ツテ居ル、併シ私思フニ其ノ以外ニ理由ガアルノデハナイカト思フ、ソレ以外ニ理由ガアルト致シマシテ其ノ理由ガ公ニ出來ルモノナラバ公ニシテ貰ヒタイ、是ガ第一ノ質問デアリマス

第二ノ質問ハ米ヲ主食トシテ來タ所ノ日本人デアリマスガ、米ガ此ノヤウニ不足ニナルシ、頗ル國民ハ不安ニ堪ヘナイ、國民ガ不安ニ堪ヘナイト云フ以上ハ米ヲ主食トスルコトヲ止メテ、或ハ米モ食ベルケレドモ或ハ大根ヲ入レルトカ、菜葉ヲ入レルトカ、人蔘ヲ入レルトカ、或ハ蕎麥粉、麵類其ノ他ノモノヲ入レテ食フト云フ雜食、混食ト云フモノヲ日本ノ主食トスルカト云フ

食糧政策ノ根本問題ニ付テ決マツテ居ルコトガアリマスレバ、其ノ事情ヲ明カニシテ戴キタイコトト、今日米ノ不足デアルト云フコトハ只今ダケノコトデアルト云フナラバ新タニ其ノ理由ヲ明カニシテ戴キタイ、而モ此ノ戰爭若シクハ戰爭同様ノ氣分デ居ラナケレバナラヌ状態ト云フモノハ、今後五年續クカ十年續クカ分ラナイ状態デアルトシマスルト、日本人ノ米食ノ問題ハ如何ニシテ之ヲ解決スルカト云フコトガ、是ハ

アルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ二點ニ對スル理由ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ドチラノ方デモ宜シウゴザイマス

○湯河政府委員 只今ノ鈴木サンノ御話ハ非常ニ大事ナ問題デゴザイマスノデ、或ハ農林大臣ヨリ御答ヘスル方ガ適切カト存ジマスルガ、オ仕事ヲ御預リシテ居リマスル關係上、一應私カラ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

農林省ノミナラズ日本全體トシテ重大ナ問題ダト思フ、殊ニ動モスルト社會的變革ヲ生ズルノハ食糧ノ問題カラ起ルコトハ、事例ハ引キマセスケレドモ頗ル多い、而シテ今日米ノ不足ノ爲ニ困ツテ居ルコトハ、是ハ各方面ニ於テ悉クサウデアツテ、農村ニ於テハ農民トシテ非常ナ不平ヲ惹ヘ、不足ヲ惹ヘテ居ル、凡ユル所ガ不平不足ニ充タサレナイ所ハナイト云フ有様デアアル、即チ日本ハ只今戰爭ヲヤツテ居ル、戰爭ヲヤラナケレバナラヌ氣持デアアルコトハ大抵皆分ツテ居ルトハ申シマススケレドモ、日本人ハ一體非常ニ元氣ガナイ、元氣ガナイト云フノハ物ノ不足ト云フコトガ、殊ニ食糧政策ガ確立シテ居ナイコトガ重大ナ原因デハナイカト思フ、元氣ガナイコトハナイデアリマセウケレドモ、葬式ニ行ツタ時ノ人ノ元氣ノヤウナ氣持デス、國民全體ガ元氣ガ減入ツテ居リマス、國民ノ元氣ガ減入ツテ居ルトシマスルト、是カラ後對米問題ナリ對「ソ」問題ナリ、其ノ他問題ガ澤山アル時ニ於テ、日本國民ガ元氣ガナイト云フコトハ頗ル數カハシイコトデアアル、數カハシイ主ナル原因ノ一ツハ、食糧問題ニ對スル所ノ正確、適確ナル政策ガ確立シテ居ナイ點ニ

第一ニ戰爭ト米、殊ニ此ノ米不足ト云フモノガ戰時ニ起ツタ、ソレニ付テドウ云フ理由ガアルノカ、此ノ米不足ノ状態ハ將來ドウナツテ行クノカト云フコトニ付テ、何カ理由ヲハツキリ説明出來ナイヤウナコトガアルノカト云フヤウナ御懸念ノヤウデゴザイマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ經濟的ニモ社會的ニモ、相當深刻ニ檢討シテ見ル必要ガアルト私ハ信ジテ居リマス、デマダ十分ナ結論ニモ到達シテ居ラナイノデゴザイマスルガ、私ノ未熟ノ意見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、私思ヒマスルニ、此ノ最近ノ食糧事情、殊ニ米ヲ中心ト致シマシテ非常ニ不足ヲ感ジテ居リマスルノハ、是ハヤハリ日本ノ最近ノ此ノ戰爭バカリニ依ツテ惹起サレタ事情デハナイ、日本ノ最近ノ國力ノ發展ト申シマスカ、食糧ノ需要ト云フモノガ非常ニ大キナツテ來テ居ルト云フコトニ對シマシテ、食糧ノ供給ト云フコトガ、色々増産等ヲ努メテ居リマシテ、其ノ效果ヲ現ハシテハ居リマスガ、尙ホ追付キ得ナイノダト云フコトダト思フノデアリマス、ソレデ日本ノ農業生産力ガ停滯シタトカ、減退シタトカ云フ事象デハナクシテ、詰リ農業ノ方ニ於テ

ハマダ十分伸ビル餘地ガアリ、現ニ今マデ色々は農林省ガ及バズナガラヤツテ參リマシタ農業ノ改良、發達ト云フモノハ、私ハ相當ノ效果ヲ奏シテ居ルト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ日本ノ最近ノ顯著ナル國力ノ發展、膨脹、社會ノ向上、生活ノ向上ト云フ風ナコト、斯ウ云フ風ナ方面カラ致シマシテ、食糧ノ需要ト云フモノハ最近非常ニ急速ニ伸ビテ來タ、ソレデ食糧ノ需要ト供給ト云フモノガ、時ニ豐凶ガアリマシテ供給ノ均衡ヲ失フコトガアリマシテモ、大體取返シテ來タ、凶作ノ年ノ後ニ豐作ガ來テ其ノ埋合ハセラスルト云フヤウナ、サウ云フ風ナ年ニ豐凶ガアツテ來テ來タ、其ノ需給關係ノ不均衡ト違ヒマシテ、最近ノ不均衡ト云フモノハ、日本ノ食糧事情ノ根柢ガ變ツテ來タノダト云フ風ニ思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツソレト同ジコトヲ範圍ヲ違ヘテ申上ゲル譯デアリマスガ、外地米ノ事情ガ非常ニ變ツテ來タト云フコトヲ御注意申上ゲタイノデアリマス、我が國ノ食糧事情ハ御承知ノ通りニ、元々日本ノ内地デ自給シテ居リマシタモノヲ、日清、日露ノ戰後ニ外地——朝鮮、臺灣等ヲ獲得致シマシテ、ソコニ食糧ノ自給場ヲ求メタノデアリマス、朝鮮產米増産計畫デアリマストカ、臺灣ノ蓬萊米ノ増産計畫デアリマストカ云フモノハ、一般ニ效果ヲ奏シマシテ、サウシテ日本内地ニドン／＼米ヲ送ツテ來ルヤウニナリマシタ、日本内地ト致シマシテハ相當米ノ需要ガアルノデアリマス、社會ノ發展向上ニ伴ヒマシテ米ノ需要ガ段段増進シテ來タノニ、斯ウ云フ風ニ外地カラ米ヲ取寄セルコトニ依ツテソコニ辻褄ヲ合ハセテ參リマシタ其ノ分量ガ、時ニハ外

地カラノ米ガ入り過ギテ困ルト云フ位ニ外地米ノ内地流入ト云フモノガ有力ニナツテ參リマシテ、サウシテ極ク最近ニ於キマシテハ、其ノ外地米ノ内地ニ對スル流入ト云フモノハ一千萬石以上、一千數百萬石ト云フコトモアツタノデアリマス、サウ致シマスルト、内地ノ米ノ需給關係ヲ單位トシテ之ヲ考ヘテ見マスルナラバ、約七、八千萬石、其ノ當時ハ六、七千萬石ト申シタ方ガ宜イカモ知レマセスガ、此ノ需要——消費ニ對シマシテ一千萬石以上外地米ニ依存シテ居タト云フ事實ガアルノデアリマス、所ガ最近ニ於キマシテ外地ニ於キマシテハ、内地ニ於キマスヨリモヨリ一層顯著ニ消費ノ激増ト云フ傾向ガアル譯デアリマス、無論外地ニ於キマス生産ノ増進モ、決シテ御心配下サルヤウナコトハナイト確信致シマスガ、ソレ以上ニ外地ニ於キマスル需要ノ増進ガ急速ニ現ハレテ參リマシタ爲ニ、外地ニ於キマシテハ是等内地ニ送り出ス數量ガ勢ヒ細ツテ來ルト云フコトハ、ドウモ已ムヲ得ヌコトダト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ致シマシテ外地ノ社會經濟情勢ガ變リマシタ爲ニ起リマシタ此ノ外地米ノ對内地移出力ノ低下、減退ト云フモノ、是ガヤハリ最近ノ情勢トシテアルト思ヒマス、サウ致シマシテ此ノ兩者共ニ詰リ日本ノ社會情勢ガサウ變ツテ來タ、即チ農業生産力ノ普通ノ進ミ方ヲ超エ——食糧ノ供給力ヲ超エ——大幅ノ増進ガアル爲ニ追付キ得ナイト云フ風ニ思ヘルノデアリマス、之ヲ一時的ノ現象、例ヘバ一昨年ノ旱魃カラ此ノ狀態ガ世間ノ注意ヲ惹クヤウニナツタノデアリマスガ、是ハ旱魃ニ因ル一時的現象デアアル、放擲シテ置イテモ何レハ元ニ戻ルモノデアアル

ト云フ風ニ容易ク見ルコトハ出来ナイモノ
デアルト私達ハ思ツテ居ルノデアリマス、即
チ戦争ガナクトモ、早賊等ガナクトモ、斯ウ
云フ風ナ事態ニ廻リ合ハセルモノ、サウ云フ
風ニ食糧ノ根柢の事情ガ變ツテ來タモノダ
ト云フ風ニ思過シカモ知レマセヌガ思ツテ
居リマス、戦争或ハ早賊ト云フモノハ、サ
ウ云フ事情ヲ暴露スル機縁ニナツタノニ過
ギナイモノダト思ツテ居リマス、サウ云フ
風ニ根柢の事情ノ變リマシタ上ニ、實ハ此
ノ事變ガ起ツタノデアリマス、事變ハ御承
知ノ通りニ非常ニ米ノ需要ヲ増ス色々ナ「フ
クター」ヲ含シテ居ルノデアリマス、是
ハ一々申上ゲズトモ過去ノ戦争ノ歴史ニ鑑
ミマシテ、統計ガ之ヲ示シテ居ルノデアリ
マス、最近ノ事情ト致シマシテモ、昭和十
二年以降ノ米ノ消費ト云フモノハ、急速大
幅ニ殖エテ參ツテ居ルノデアリマス、ソレ
デ今度ノ戦争ハ單ニ戦争ノミナラズ、ソレ
ニ加ヘマシテ生産力擴充ト云フ風ナ使命ヲ
背負ツテ居ルノデアリマス、生産力擴充
ト云フコトカラ致シマシテモ、社會ノ經濟
活動量ノ殖エタト云フ風ナコトハ、ヤハリ
消費量ヲ増スト思ヒマス、サウ云フ風ニ致
シマシテ、消費ハオ構ヒナシニ殖エテ參リ
マス所ニ以テ參リマシテ、戦争經濟ト云フ
モノノ農業生産力ニ對スル重壓ト云フカ、
是ガモウ數年此ノ事變ガ續キマスルト、何
トナシニソコニ感ゼラレテ來ル、或ハ資材
ガ不足デアルトカ、或ハ勞力ガ足りナイ
カ云フコトカラ致シマシテ、ドウモ茲ニ農業
生産力ト云フモノニ對スル戦争ノ重壓ト云
フモノガ出テ來ル、サウ致シマスルト、一方
ニ消費即チ需要ガ非常ニ増進致シマスニ對
シマシテ、生産即チ供給ガ思フヤウニ參ラ

スト云フ缺狀ノ現象ガ茲ニ現ハレテ來ル譯
デアリマス、此ノ戦争經濟ト云フモノノ影
響ト云フモノガ、是ガヤハリ戦争デゴザイ
マスカラ、一時的ノモノト云フ風ニ理解ス
ベキデハゴザイマスルガ、今日ノ事變ノ消
費態勢ト云フモノヲ考ヘマスルト、吾々ト
致シマシテ之ヲモウ少シノ辛抱ダカラ、其
ノ儘ニシテ置イテ宜イト云フ風ニハ思ヘヌ
ノデアリマス、サウ云フ風ニ致シマシテ食
糧事情ノ困難ナ色々ノ要素ガ茲ニゴザイマ
スルガ、是ガ結局永續キスルノダ、此ノ儘
ニ放ツテ置イテモウ少シ辛抱シテ居レバ必
ズ元ヘ戻ルノダト云フヤウナ、ヤサシイ見
透シノ出來ナイ事情ニアルト云フコトヲ私
共ハ觀念シテ居リマス、是ハ要スルニ日本
ガ大キク伸ビテ行ク爲ニ、日本ガ世界史的
ノ使命ヲ果シテ行ク爲ニ打ツ突カル當然ノ
運命ダト云フ風ニ私ハ思ツテ居ルノデアリ
マス、決シテ農業ノ將來ヲ悲觀スルト云フ
ヤウナコトデナク、私達トシテハ農業ノ將
來ニ對スル積極的ノ希望ヲ茲ニ繫イデ、此
ノ問題ニ對處シテ行カナレバナラナイト
云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ考
ヘテ見マスルト、此ノ食糧問題ト云フモノ
ニ付キマシテ茲ニドウシテモ絶對的ニ必要
ナコトハ、大々的ノ増產計畫ヲ實施スルコ
トダト云フ風ニ思フノデアリマス、無論只
今マデ食糧管理局ノ所管ニ於キマシテ、或
ハ配給統制デゴザイマスルトカ、或ハ米穀
ノ管理デゴザイマスルトカ、或ハ是カラ本
當ニヤツテ參ラウト思ツテ居リマスル消費
ノ規正ノ色々ノ施設ヲヤツテ參リマスルコ
トハ、是ハモウ當然必要ナコトデハゴザイ
マスルガ、併シソレハ何ト申シマシテモ、
食糧ノ或ル程度充實シテ居ル時ニ其ノ效果

ガ期待出來ルノデアリマシテ、先程モ申上
ゲマシタヤウナ根柢の事情ノ變化ニ即應致
シマシテ、是デ以テ何時マデモヤツテ行ケ
ルモノデアルト云フモノデハナイト思フノ
デアリマス、茲ニドウシテモ徹底シタ増產
計畫ニ依ツテ、此ノ不足ヲ補ツテ行カナケ
レバナラスト云フ風ニ考ヘテ居リマス、應
急ノ措置ト致シマシテハ、増產計畫ニ至ル
マデノ過程ニ於キマシテ、外米ノ輸入ト云
フヤウナコトヲ考ヘマスルガ、是ハ各方面
カラ御批評ヲ戴イテ居リマスル通り、
吾々ト致シマシテモ一時的ノ方便デア
ツテ、決シテ外地米ニ依存シテ内地米ノ計
畫ヲ立テタヤウニ將來シテ行クト云フ風ナ
考ヘハ、毛頭ゴザイマセヌコトヲ御諒承願
ヒタイト思ヒマス、只今マデ申シマシタ所
デ、鈴木サンカラ御指摘アリマシタ、流
用シテ居ルコトハナイカト云フヤウナ御話
デゴザイマスガ、能ク御話ガゴザイマス
ヤウニ、或ハ軍需トシテ米ガ非常ニ使ハレ
テ居ルノデハナイカ、或ハ外國ニ米ヲ賣出
シテ居ルノデハナイカト云フ風ナコトヲ
世間ノ方ガ申サレタコトガゴザイマスガ、
少シ冷靜ニ考ヘテ戴ケバ、サウ云フコトノ
アリ得ナイコトハ御分リ戴クコトダト思ヒ
マス、此ノ際ハツキリ申上ゲテ置キマス、
サウ云フコトハ絶對ニゴザイマセヌ其ノ
次ニ第二ノ問題トシテ承リマシタコトハ、
非常ニ今國民ガ不安ヲ感ジテ居ル、國民ノ
各方面ニ食糧ニ對スル不安ガアリ、又不平、
不滿ガアル、其ノ結果トシテ國民ガ一體ニ
元氣ガナイデハナイカ、斯ウ云フ状態デ此ノ事
變下ニ處シテ行クトハ洵ニ憂慮ニ堪ヘナ
イ、其ノ根本ニ於テ食糧ニ付テノ根本的ノ
考ヘガ確立シテ居ナイデハナイカ、米ガ足

リナイト云フコトヲ只今マデ申上ゲマシタ
ヤウニ、サウ云フ風ダト云フナラバ、米バ
カリヲ考ヘナイデ、他ノ物ヲ混ゼテ食フ
ト云フコトニ付テハ、シツカリシタ考ヘラ
何故立テヌノカト云フ御指摘ノヤウデアリ
マス、洵ニ私共ト致シマシテハ只今鈴木サ
ンノ仰シヤル通りニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、此ノ委員會ニ於キマシテモ、農林大
臣カラ其ノコトニ付テ儘力御説明ガアツタ
カト存ジマス、吾々ト致シマシテモ只今サ
ウ云フ風ナ考ヘラ持ツテ居リマス、米ノミ
ヲ以テマシテ我が國ノ食糧政策ヲ立テテ行
クト云フコトハ、是カラ先ノコトヲ考ヘマ
スルト、寧ロサウ思ハヌ方ガ宜イノデハナ
イカ、色々麥其ノ他ノ食糧、農產物ヲ米ト
一緒ニシマシテ、其ノ地方々々ノ生産事情
ナリ、或ハ其ノ社會ノ消費事情等十分ニ
檢討致シマシテ、サウシテ適當ニ米ノミ
依ラナイ食糧政策ヲ立テテ行キタイト云フ
風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、實ハ昨
年ノ議會ニ於キマシテ御協賛ヲ戴キマシタ
法律ノ、只今此ノ御審議ヲ願ツテ居リマス
法律ノ改正ハ、米穀需給調節ノ見地ヨリ致
シマシテ、米穀ノ配給ヲ統制スル上ニ於テ
必要ガゴザイマスレバ、政府ハ麥類ヲ買ツ
タリ賣ツタリスルコトガ出來ルノダト云フ
規定ヲ追加致シマシテ、其ノ結果ト致シマ
シテ、政府米ト拉ビマシテ政府麥ト云フモ
ノヲ政府トシテハ管理致シテ居リマス、實
ハ此ノ數量等ガマダ十分ニ參リマセヌ爲ニ
地方ニ依リマシテハ麥ヲ混ゼルコトニ依ツテ
ノ色々御迷惑ヲ掛ケテ居ルコトモアラウカ
ト思ヒマスガ、是ハ經過的ノモノト御承知
ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデ今度ノ法
律ノ改正ニ依リマシテ、米穀以外ノ食糧農

產物並ニ其ノ加工品ト云フモノヲ御加ヘ戴キタイト申シマスノモ、結局米ノミニ頼ツテ食糧政策ヲ立テルト云フコトデナイ、其ノ外ノモノヲ混食トシテ用ヒタイト云フ意味カラ致シマシテ、麥其ノ他ノ穀物ト云フノデハ範圍ガ狹イモノデゴザイマスカラ、ソコニ甘藷、馬鈴薯或ハ麵類ト云フヤウナモノモ、茲ニ本當ニ一ツノ主要食糧ヲ編成スルモノトシテ採上ゲタイト云フ積リデ、斯ウ云フ風ナ改正ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

尙ホ附加ヘテ御聽キニ達シテ置キタイト思ヒマスコトハ、吾々ト致シマシテハ實際ニサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、從來米穀局ト申シマシタ當時ニ於キマシテ、所管シテ居リマシタ米穀利用研究所ト云フ機關ガゴザイマス、是ハ米ガ過剩ノ時ニ、其ノ過剩米ヲ如何ニシテ處分スルカト云フコトヲ研究スル機關デゴザイマシタ、全ク食糧事情ガ一變致シマシタ只今ニ於キマシテハ、斯ウ云フモノヲ其ノ儘ニ存置スルト云フコトハ全ク意味ヲ成サナイモノデゴザイマスカラ、吾々ト致シマシテ今般大藏省ト相談ヲ致シマシテ、之ヲ食糧研究所ト云フ風ニ改メマシテ、規模ハ洵ニ御恥シイ位小サイノデゴザイマスガ、只今鈴木サンカラ御指摘戴キマシタヤウナ方向ニ食糧問題ノ研究ヲスル、米ノミデナク其ノ他ノ食糧資源ヲ十分研究スル、榮養的ニ、或ハ理科學的ニ、或ハ加工製造ト云フ方面ニマデ互リマシテ研究シテ、此ノ時代ニ即應スルヤウニシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、甚ダ長クナリマシテ失禮デゴザイマシタガ、以上御答ヘ申上ゲマス

○村上委員長 鈴木サン一寸御相談デゴザイマスガ、今ノ食糧ノ需給ノ前途ノ見透シ

デスガ、一時的現象カドウカト云フ點ニ付テ今食糧局長官カラ所見ノ御話ガアリマシタガ、更ニ大臣ノ御答辯ヲ求メラレマスカ

○鈴木(文)委員 求メタイト思ヒマス

○村上委員長 宜シウゴザイマス

○鈴木(文)委員 私ハ大體御話ニ同感デアリマシテ、大體其ノヤウニ想像致シテ居ツタノデアリマスガ、尙ホ一點伺ヒタイト思ヒマスコトハ、米ガ日本ニ非常ニ不足シタ原因ノ一ツニ、日本ノ軍隊ガ彼ノ地ニ於キマシテ米ヲ食ヒマスノミナラズ、安民撫育ノ方面ニ日本ノ米ヲ用ヒテ居ルト云フ風ナ噂ヲ聞クノデス、噂ノミナラズ事實ヲ見タノデス、一昨年ノ暮ニ私ハ中支漢口地方ニ參リマシテ、漢口地方ノ難民救済ト云フ所ヲ見タノデス、難民救済ノ資ニ、ヤハリ日本米デアアルコト確カデアルト思ヒマスガ、日本米ヲ方々ニ配ツテ居リマス、日本ガ此ノヤウニ日本自身ニ生産スル米ヲ日本ノ國民ガ食ヒ得ナイヤウナ狀態デ、外米、屑米ミタイノモノヲ混ゼテ食ツテ、而モ甘藷トカ、馬鈴薯トカ、サウ云フモノヲ混ゼテ食ツテ居ルヤウナ、サウ云フコトヲヤツテ居ル時ニ何故カト私ハ思ツタノデス、ナゼ漢口地方ノ支那難民ニ日本米ヲ分ケテ與ヘテ居ルノカ、而モ其ノ難民ニ與ヘテ居ル米ト云フモノハ、難民自身ヲ救済スルニ役立ツノミデハナイ、事實ヲ申シマスナラバ、蔣介石政權ノ中ニ米ガ入ツテ居ルト云フヤウナコトヲ事實ヲ見、又聞イタノデアリマス、是ハ私ハ確カデアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル所ノ政府ノ御所見ハドウ云フノデゴザイマセウカ、ソレガ間違ツテサウナツタノデアアルカ、或ハ軍部ノ壓迫ニ依ツテサウナツタノデアアルカ、私ハハツキリ

ト此ノ點ニ付テハ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラ尙ホ食糧政策ニ付テ御苦心ノコトヲ聽キマシテ、日本全體ノ大世帯ヲ御引受ケニナツテ居ル所ノ農林省トシテ、御苦心ノ程ニ付キマシテハ御同情申上ゲルノデアリマス、併シ食糧ノ研究ト云フコトヲ仰セニナリマスケレドモ、今ハ研究シテ居ル時デハナイ、事實不足ナノデアリマス、ドウ云フ風ニスレバ宜イカト云フコトニ付テ大體ノ見當ナリトモ御付ケニナツテ、サウシテ其ノ據ルベキ所ヲ日本ノ國民全體ニ御示シニナラナケレバナラス、鎌倉ト云フモノハ一小部分デアリマスガ、鎌倉ノ市民ガ二升貰ツタカラ宜イワ、三升貰ツタカラ宜イワト云フノデ以テ一時ヲ糊塗スベキ時代デナイ、日本ノ國民全體ノ向フベキ所ヲ示スコトガ必要デアリ、又其ノ向フ所ヲ示シテ戴キタイ、私共ハ米デナケレバナラスト云フコトハ決シテ申シマセス、今ハ戰爭中デアリマス、殊ニ戰爭中デアルト同時ニ、國民ノ食糧ニ對スル欲望ト云フモノハ今向上シテ來テ居ル時デアリマスカラ、米ガ日本ノ生産タケデ足りナイコトハ分リ切ツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスレバ、甘藷デモ、麥デモ何デモ宜イ、サウ云ツタモノヲ食フダケノ覺悟ハ付イテ居リマス、併シ日本ノ國民トシテハ、如何ニスレバ安心シテ物ヲ食フコトガ出來ルカ、如何ニスレバ榮養上最モ效果ノアルモノヲ食フコトガ出來ルカト云フコトニ付テ、非常ナ不安ヲ感じテ居ル、此ノ不安ヲ一掃シテ戴キタイト思ヒマス、一掃スルダケノ責任ガ御アリニナルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 只今大陸ニ於キマシテ、難民救済或ハ宜撫ト云フ風ナ意味カラ、日本米ヲ使ツテ居ルノデハナイカト云フコトニ付キマシテ御質問ガアリマシタガ、私ハサウ云フコトハ承知シテ居リマセス、若シ其ノ點ニ付キマシテ色々其ノ事實ヲ御説明申上ゲル必要ガアリマスレバ、陸軍省ノ方ノ政府委員カラ御答ヘ申上ゲタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスノデ、私トシテハサウ云フコトヲ存ジテ居リマセヌカラ、申上ゲ兼ネルノデアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○鈴木(文)委員 誰カ知ツテ居リマセスカ

○湯河政府委員 ソレデハ農林省ノ關係シテ居ルコトダケ御説明申上ゲマス、農林省ト致シマシテハ、陸海軍トノ間ニ於キマシテ軍用米ヲ出シテ居リマス、是ハ相當ノ數量ト云フコトニ付テ、陸軍省ト海軍省ト農林省ト、或ハ企畫院等モ入リマシテ、軍需米ト云フモノノ數量ヲ決メテ、其ノ計畫通り吾々ハ出シテ居リマス、ソレデ吾々ノ見ル所デハサウ多イトカ少イトカ云フコトヲ議論スル程ノコトハナイト思ヒマス、無論事變中デアリマスシ、大キナ軍事行動ガ行ハレテ居リマスカラ、數量ガ相當大キナナルコトハ當然デアリマセウ、吾々ト致シマシテハ宜撫米ニ使フ爲ニト云フ風ナ意味デ、特別ニ陸海軍ニ御分ケシテ居ルモノハアリマセス、陸海軍ニ於カレマシテ軍用米トシテ政府米ヲ用ヒテ居ラレマスガ、ソレヲドウ使ツテ居ラレカト云フコトニ付キマシテ、事實御覽ニナツタト云フ其ノ事ニ付キマシテハ、陸軍ノ方ニ御聽キ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ先程ノ私ノ言葉ガ足りマセヌデシタガ、實際鎌倉ナラ鎌倉デ食糧ガ非常ニ不安ノ狀態

ニアル、ソレデドウナルカ分ラヌノデ、非
常ニ市民ガ困ツテ居ルト云フ御話デアリマ
シテ、此ノ點ハ洵ニイケナイコトダト私達
モ考ヘテ居リマス、ソレデ從來食糧ノ消費
ガ自由ニ任サレテ居リマシテ、十分分量ガ
ゴザイマシタ時ニハ、斯ウ云フコトヲ全然
問題ニシナイデ、詰リ入用ノ時ニ入用ナモ
ノガ常ニ手ニ入ツテ居ツタノデアリマスガ、
最近急ニ食糧事情ガ窮迫シテ参リマス、
米ヲ一定ノ規律ヲ以テ配給致シマシテ、又
一定ノ規律ヲ以テ消費シテ貰ヒマセスケレ
バ、ドウシテモソコニ配給ノ不圓滑、消費
ノ不均衡ヲ來スト云フコトモ已ムヲ得ナイ
ト思ヒマス、ソレデ又米ノ分量ガ足りナイ
ヤウナ事情デゴザイマスカラ、當然ニ代用
食、混食ノ食糧、是モ皆萬遍ナク、オ互ニ
不公平ダト云フ感ジノ起ラヌヤウニ配給ス
ルコトガ絕對ニ必要ダト思ツテ居リマス、
其ノ爲ニ必要デアリマスノハ、配給ノ統制
ヲ確立スルコトト、ソレカラ消費ノ規正ヲ
制度化スルコト云フコトノ外ナイノデゴザイ
マシテ、實ハ昨年ノ夏以來消費規正ト云フ
コトニ付キマシテハ、段々ト組織化シテ参
ツタノデアリマス、併シ何分ニモ御想像付キ
マスルヤウニ、從來米ニ付テハ殆ド何等ノ
不安モナク、何等ソコニ拘束サレルモノモ
ナク、消費サレテ居リマシタモノヲ、一舉
ニ切符制度ノヤウナモノニ持ツテ参リマス
コトハ、是ハドウシテモ出來ナイノデアリ
マス、ソレデスカラ之ヲ漸次ニ固メテ行ク
ト云フヨリ外ニナイノデアリマス、其ノ爲
ニ昨年ノ夏ニ於キマシテハ、各府縣ヲ單位
ト致シマシテ、大體是カラ一箇月ドノ位消
費スルト云フコトニ付キマシテノ基準ヲ決
メマシタ、是ガ昨年ノ六月頃デアリマス、

ソレガ決マリマス、各地方地方ニ於キマ
シテハ、モウソレヨリ外食ノ物ガナイト云
フコトニナリマス、今度ハ其ノ地方々々
ノ範圍内ニ於キマシテ、銘々ガ工夫致シマ
シテ消費ノ規正ト云フコトニ乗出シタノデ
アリマス、ソレデ御指摘ノゴザイマシタ神
奈川ナドニ於キマシテハ、東京ノ近クデゴ
ザイマスノデ、神奈川ノ縣ノ長官ナリ、經
濟部長ナリ、度々吾々ト相談ヲ致シマシテ、
アアショウ、斯ウショウト云フコトノ色々
相談ヲ致シテ居ツタノデアリマス、御指摘
ノヤウナ事情ヲ私共ハ知ラナイコトハナイ
ノデゴザイマスガ、併シ漸次ニ之ヲ組織化
シテ行クヨリ外ナイノデアリマシテ、神奈
川デモコチラノ決メマシタ消費數量ノ範圍
内ニ於キマシテ、色々ト通帳制度ナリ切符
制度ト云フモノヲ案出シテ参ツテ居ルノデ
アリマス、初メテノ經驗デゴザイマスノデ、
行届カナカツタ點モゴザイマスガ、漸次ソ
レガ整備シテ参ツテ居ルト存ジマス、ソレ
デ極ク最近ニ於キマシテハ配給割當制度、
通帳等ヲ用ヒマス制度ト云フ風ナモノヲヤ
ル大體ノ指針ト申シマス、見透シモ付キ
マシタノデ、更ニ私共ト相談ヲ致シテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、取敢ズハ六大都市
或ハ八大都市等ニ於テ、實施サレルコトニナ
ラウカト存ジマスガ、又事情ニ依リマシテ其
ノ他ノ地域ニモ、斯ウ云フコトハ是非組織化シ
テ参ラナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデゴ
ザイマス、是ガ出來マスレバ、御不安ノヤウ
ナ、コトハ段々ナクナルノデハナイカト云
フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ食糧研究
ノコトハ、今研究時代デハナイト云フ御話ハ
洵ニ其ノ通りデアリマス、從來カラスウ云
フコトノ研究ハ當然アルベカリシコトナノ

デアリマス、又實際ヤツテ居ナイト申シテ
ハ少シ行過ギカト存ジマスガ、併シマア先
程申上ゲマシタヤウナ食糧事情ノ急迫ト申
シマス、食糧問題ハ是カラ先モ相當長キ
ニ亙ルモノデゴザイマス、茲ニ徹底シタ研
究ヲ遅レ馳セナガラヤツテ参リマス、無論
立派ナ研究ガ出來ナケレバ何等ノ處置ハ執
ラヌト云フコトデモゴザイマセヌカラ、左
様ニ御諒承願ヒタイト存ジマス
○鈴木(文)委員 宣撫米ニ日本米ヲ使ツタ
ト思ハレルノデアリマスガ、私ハ是ハハッ
キリトシタ數ハ申上ゲマセヌケレドモ、日
本ノ相當ノ人、ソレカラ支那人ノ相當ノ人、
名前ヲ申上ゲルコトハ暫ク遠慮シタイト思
ヒマスガ、サウ云フ人カラ、日本全體カラ持
ツテ來テ居ル米ハ三百万石アルト聞イテ居
リマシタ、其ノ三百万石ノ米ハマアドウ云
フ事情デアルカ知ラスケレドモ、大體是ハ
蔣介石ノ手ニ入ツテ居ル、サウ云フヤウナ
コトヲ日本ノ政府ガヤツテ宜イノカ知ラト
云フヤウナコトヲ言ウテ居ルノデス、私モ
同様ニ感ジテ居ル、一體之ヲ農林省當局ガ
知ラナイデオイデニナルト云フコトハ、實
ニ驚クベキコトト思フノデスガ、事實知ラ
ナイノデスカ、ドウモ私ハ知ラナイコトハ
ナイト思フ、軍需米ニ付テドウスウト云フ
御話デゴザイマシタケレドモ、軍需米ノ
中デ軍人ノ食フ米ト、ソレカラソレ以外ニ
使フ米ガドノ位アルカト云フコトハ、戰爭
始マリマシテカラ五年ニナル今日デアリマ
スノデ、依然トシテ知ラナイト云フコトハ
驚クベキコトデス、大體サウ云フコトガ全
クナイノカ、ナケレバ宜イノデゴザイマス、
又ナイコトヲ望ムノデアリマスガ、日本人
ガ食フ米ガ足りナクテ困ツテ居ル時ニ、支

那人ニサウ日本米ヲ食ハセル必要ハナイト
思ヒマス、私ハ、サウ云フコトノナイコト
ヲ望ムノデアリマスガ、農林省ノ當局ガ御
知リニナラナイト云フコトハ驚クベキコト
デス、其ノ邊ノ事情ヲ今一應御伺ヒ致シタ
イト思ヒマス
○湯河政府委員 私ハ只今鈴木サンノ仰シ
ヤツタヤウナ、多量ノモノガ宣撫米トシテ
使ハレテ居ル、或ハソレガ宣撫米ト云フ名
ニ於テ蔣介石ノ方ニ行ツテ居ルト云フヤウ
ナコトハ、日本ノ陸軍ノ色々ノ處置ノ執リ
方トシテ絕對ニナイト確信致シマス、私モ
實ハ農林省ニ参リマス前ニハ、陸軍ニ從ツ
テ支那ノ方ニ行ツテ居リマシタ、ソレカラ
興亞院ノ職務モ執ツテ居リマシタ、其ノ當
時ノ經驗カラ致シマシテモ、私ハ只今御指
摘ノヤウナ無茶ナコトガ行ハレテ居ルト云
フコトハ絕對ニナイト確信シテ居リマス、
吾々ノ方ガソレヲ知ラスノカト云フ御話デ
ゴザイマス、實ハ先程申シマシタヤウ
ナ事情デ、陸軍ノ方ニ必要ナル數量ノ米ハ
企畫院等ト打合ヘセマシテ、完全ナル諒解ノ
下ニ必要ナル米ヲ出シテ居ルノデアリマス、
此ノ米ノ數量ハ軍需デゴザイマス、サ
ウ不當ナ數量デモ何デモナイノデアリマス、
是ダケノ陸軍、海軍ノ行動ガゴザイマスレ
バ、已ムヲ得ズ必要ダト云フ風ニ思ハレル
モノヲ引渡シテ居ルノデアリマシテ、其ノ
引渡サレタ米ガ軍部ノ方ニ依ツテ臨戰地境
ニ於キマシテ、ドウ用ヒラレテ居ルカト云
フコトニ付キマシテ、ソコマデ吾々ノ方ト
シテ探索スルト云フ風ナ氣持ハゴザイマセ
ヌ
○鈴木(文)委員 分リマシタ、分リマシタ
ガ、戰線ト銃後ト云フモノハ一聯ノモノデ

アルト考ヘマス、戰線ノ苦勞ハ銃後ノ苦勞、若シ戰線ニ快樂ガアルトスレバ、銃後ニモ快樂ガアル、斯ウナラナケレバ噓デアルト思ヒマス、銃後ト云フモノハ日本ノ米ヲ食ヘナイ爲ニ非常ニ苦シデ居ル狀態デアリマス、サウシテ今マデ食ツテ居ツタ米ヲ食ヘナイト云フコトニナリマスレバ、榮養能率ノ上ニモ影響ガ來ルト思ヒマスノデ、私ハ此ノ點ニ付キマシテ、出來ルナラバ日本米ヲ日本人ガ食フヤウニシナケレバナラスト思フノデアリマス、併シ戰爭ハ續イテ居リマスノデ、今後何年モ外米ヲ食ハナケレバナラス、又外米以外ノ雜穀モ食ハケレバナラスト云フコトハ覺悟ハシテ居ルデアリマス、ソレハ致シ方ナイコト思フノデアリマス、私ハ陸軍省ノ方ノ答辯ハ必要ト致シマセヌ、ソレデ此ノ點ハ是デ打切リト致シマス

カラ米ヲ持ツテ參リマスル外ニ、戰線ニ於カレテ將兵諸士ガアノ地帯デ徵發ヲシテ居ラレマス、揚子江沿岸ニ於キマシテハ相當米ガ出ルト思ヒマス、其ノ地方ノ米ヲ軍人サシガ食ベテ居ラレマス、吾々ト致シマシテハ、戰線ニ寧ロ良イ米ヲ送リタイト云フ氣持デ、實ハ昭和十二年法律第九十號ト云フノハ、陸軍海軍ノ將士ニ立派ナ米ヲ送リタイト云フノデ作ツタ法律デゴザイマス、ソレデ軍人ノ方ハソレニ即應致シマシテ、中米ガ穫レヌノデ、現地ノ米ノ獲得ニ十分力ヲ盡シテ居リマスノデ、其ノ點モ併セテ御認識戴キタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマスコトハ、外米ヲ千万石輸入サレタノデアリマスルガ、只今ノ外米ハ殆ド屑米同様ノモノデアルト思フ、外米ノ粗惡ナコトハ勿論大抵ノ皆サシモ御承知ノコトト思ヒマスガ、アア云フ粗惡ナ米ヲ日本ニ輸入シナケレバナラナカッタ理由ガ何處ニアルノカ、大體想像ハ致シテ居リマスルガ、想像ダケデハマダ不十分デアリ、不徹底デアリマス、又不正確デアリマス、其ノ點ニ付テハツキリシタ農林省ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ニ參ツテ居ル南洋ノ米デアリマス、日本ニ見本トシテ持ツテ來マス米等ハ相當良イ外米モアリマスガ、値段ガ非常ニ高イコトト數量ガ極メテ少量デアリマシテ、到底我が國ノ現狀ニ於テ、ソレヲ持ツテ來テ需給ノ調整ヲ圖ルト云フ譯ニハ參リマセヌノデ、勢ヒ何ト申シマスカ、少シ品質ノ劣ツタ米デアリマスガ、多量ニ獲得スルコトニナルトアノヤウナ米ニナツテ參ルノデアリマス、是ハ實情已ムヲ得ナイト思ハレルノデアリマス

○湯河政府委員 先程ノ御話ニ附加ヘテ、一寸繰返シテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、陸軍ノ方ガ米ノ使ヒ方ガ荒イデハナイカト云フ御話ガ出マシタ時デスカラ、私ノ想像シテ居ル所ヲ申上ゲタイト存ジマス、日本

○鈴木(文)委員 サウ云フ風ニ申サレルナラバ尙ホ其ノ事實ヲ申上ゲタイノデアリマスカ、外米ノ良イノハ日本ヲ困ラセル爲ニ英米ガ特ニ買上ゲテシマツタ、サウシテ其ノ後デ日本ガ行ツタノデ、高イ金ヲ出シテ

而モ惡イ米ヲ買ツテ來タト云フ事情ガアルト聞イテ居リマスガ、其ノ事實ハアリマセヌカ、アリマスカ、アリマスカナラバ明ニ其ノ事情ヲ御示シ願ヒマス、又品質ガ少シ劣ツタト云ハレマスガ、少シ位デハナク非常ニ劣ツテ居リマス、外米ヲ食ベニナツタカナラナイカ知リマセヌケレドモ、私ハ七割モ八割モ外米ノ入ツタ飯ヲ食ツタノデアリマスガ、トテモ食ベラレタモノデハアリマセヌ、温カイ間ハ宜イガ、冷エテ來ルトボロ／＼シテ箸ニモ掛リマセヌ、斯ウ云フ米ヲ、今マデ良イ米ヲ主トシテ食ベテ來タ日本人ニ食ヘト云ハレタノデ、實ハ非常ニ困リマシタ、外米ヲ食ツテ腹痛メタリ下痢ヲ起シタリシタ者ハ多イノデス、私共ノ方ニモ被害者ガ二、三名出マシタガ、幸ニシテ四五日ノ病氣デ済ミマシタガ、斯ウ云フ事情ハ農林當局ハ十分御承知ノコトト思ヒマス、今後外米ヲ輸入スル時ニ於テ、英米ガ邪魔ヲスルト致シマシテモ、「タイ」國或ハ佛印ト日本ノ間ニ外米ヲ輸入スル條約ガ出來タト云フコトデアリマスカラ、其ノ時ニハモウ少シ良イ米ヲ輸入シテ下サルヤウ御願ヒ致シマス、是ニハ御返事ハ要リマセヌ

次ニ配給ニ付テ一ツ伺ヒマス、米ノ配給ヲ商人一本建ニシタト云フ御話デアリマスカ、是ハドウ云フ事情ニ基クノデアリマスカ、次官通牒ニ於テ、産業組合モ入レテ商人ト一緒ニシテ配給サセルト云フコトガアツタト聞イテ居ルノデアリマスガ、只今聽キマスレバ、六大都市ニ於テハ商人ダケニ之ヲ配給サセタノデ、六大都市ノ産業組合ハ問題ニシテ騷イデ居マス、現ニ地方カラ上京シテ陳情ニ來タ人々モデリマス、而モ農林省トシテハ初メ次官通牒ニ於テサウ

云フコトヲ出シテ居ツタ、ケレドモソレガ商工省ノ一部デアルカドウカ知リマセヌガ、商工省ガ農林省ノ尻押ヲシテサウ云フ風ニ決マツタト云フ事情ニアル、結局ノトコロ農林省ハ各省トノ交渉ニ遂ニ敗ケテ、産業組合ヲ認メナイト云フヤウナコトニシタト云フ風ノコトヲ聞イテ居リマスガ、此ノ點ニ付テノ事情ヲ御知ラセ願ヒタイノデアリマス

○湯河政府委員 先程ノ御話ノ中ニ「イギリス」「アメリカ」等ガ外米ヲ先ニ取ツタ爲ニ日本ガ後ヘ行ツテ滓米ヲ取ツテ來タノデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、昨年ノ事情カラ申シマシテ、サウ云フコトハナカッタト云フ風ニ思ツテ居リマス、外米ヲ内地ノ市民ニ食ベテ戴イタノハ昨年ノ夏デゴザイマスガ、アノ當時ノ情勢ハ南方ハ比較的米ノ豐富ナ時デアリマシタノデ、幸ヒモ相當ノ分量ガ獲得出來タ、當時ノ情勢ニ於キマシテハ英米等ガ攫ツテ行ツタ爲ニ、惡イ物ヲ掴マサレタト云フヤウナコトハ絕對ナカッタト信ジテ居リマス、最近ノ國際情勢ハ先程鈴木サンカラ御話ノゴザイマシタヤウニ色色ニ變リツツアルノデゴザイマス、吾々ト致シマシテモ絶エズ注意ヲ致シテ居リマシテ、少シデモ不都合ノナイヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

ソレカラモウ一ツ配給ノ問題ニ付キマシテ御話ガゴザイマシタ次官通牒、是ハ昨年ノ暮出シマシテ、此ノ消費規正ヲスル上ニ色々配給機構ヲ整備シナケレバナラス、其ノ爲ニ企業合同等ガアルガ、其ノ際ニ消費組合等所謂購買組合、産業組合、是ノ處置ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ非常ニ注意ヲ致シタ積リデゴザイマシテ、消費

組合ヲ或ル限度ニ於テ其ノ存立ヲ認め、商業者タケ配給シテ行クト云フ組織ニ對シテ消費組合ガ混ザルコトガ、寧ロ或ル率制ニナルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、消費組合ノ活動ヲ認めテ行キタイト云フ積リデ居ツタノデアリマス、ソレデ其ノ時出シマシタ通牒ノ趣旨ヲ其ノ儘ニ、只今デモチツトモ變ヘズニヤツテ居ル譯デアリマス、商工省或ハ内務省等ニ於テ、之ニ對スル干渉ガマシイコトガアルデヤナイカト云フ御懸念デゴザイマスガ、サウ云フコトハ絕對ニゴザイマセス、唯何ト申シマシテモ末端ノ方ニ於キマシテ小賣商ノ人達トカ、組合ノ人達トカ、ソレハ折角守ツテ參リマシタ事業ニ對スル相當大キナ變革、影響ガゴザイマスノデ、色々ソコニ心配ナリ、或ハ「デマ」ナリガ飛ブノデヤナイカト思ツテ居リマスガ、少クトモ中央並ニ地方廳ノ首腦部ニ向ツテノ御懸念ノヤウナコトハゴザイマセス、併シナガラ十分注意致シテ參リタイト思ヒマス

○鈴木(文)委員 御説明ヲ承リマシテ初メテ安心致シマシタ、從來ノ農林省ノ態度カラ申シマシテモサウアルベキ筈デアルト思ヒマスガ、産業組合、消費組合等ニ於テ、米ノ配給ニ付テ影響ガナイト聽キマシテ安心致シマシタ

次ニ二ツノ問題ニ付キマシテ伺ツテ置キタイト思ヒマス、地方ニ依ツテ國民ノ食フ米ヲ制限、或ハ統制致シマシテ二合三合トカ、或ハ三合一合トカ、或ハ一合八合トカ云フ風ニ決メテ居ラレノデアリマス、其ノ他ハ雜穀ナリ混食セイト云フ譯デアリマスガ、是ハ各府縣ト申シマシテモ地續キデアリマス、境ヲ一ツ越エマスレバ隣ノ縣ニ

ナルト云フ風ナ所デゴザイマシテ、又其ノ人々ガ往ツタリ來タリシテ居ルヤウナ事情ガアルノデアリマスガ、之ヲ何故全國のニ統一シテ、男ハ何升何合、女ハ何合、子供ハ何合、或ハ老人ハ何合ト云フ風ニナサラナイノデアリマセウカ、是ハ米穀、管理ノ全體ノ目的ノ上カラ言ヒマシテモ、其ノ必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニナサラナイ理由ハ何處ニアルノデアリマセウカ、ソレヲ承ツテ置キタイ

○湯河政府委員 地方ニ依ツテ米ノ消費量ニ凸凹ガアルノハヲカシイデヤナイカト云フ御指摘デゴザイマス、理由ノナイ凸凹ハ洵ニイカスト思ヒマスガ、地方ニ依リマシテハ或ル所ハ米ダケガ穫レル、或ル地方デハ雜穀ガ澤山穫レルト云フヤウナコトデ、其ノ地方々々ノ消費慣習ガ從來違ツテ居リマス、ソレヲ一律ニ米何升デヤリマス、從來ノヤリ方ヲ阻碍スルヤウニナリマシテ、却テ消費規正ト云フコトガ旨ク參ラナイト思ツテ居リマス、實ハ管理米ヲ集積致シマス場合ニ御承知デモゴザイマセウカ、自家用保有米ト云フモノヲ決メマシテ、之ヲ決メマスルニ付キマシテハ、大體最高限度ハ成ベク各地一ツニスルコト云フノデ、大臣カラモ御説明ガゴザイマシタヤウニ、三合三合、或ハ三合一合ト云フ風ニ、全國ヲ二段階ニ分ケテ居ルノデゴザイマス、併シソレヲ最高限度ト致シマシテ、地方々々デ實情ニ應ジ、其ノ地方雜穀等ガ多ケレバ、米ノ消費ハ少イ所デカラ自家用保有米ノ分量モ少クテ宜イ、併シ雜穀等ノ少イ所ハ、米ノ消費ハ最高限度マデ認ムベキデアルト云フ風ヲ考慮ヲ地方長官ニ一任シテアルノデアリマス、縣境等

ニ於キマシテハソレハ地方長官ニ於テ連絡ヲ執リマシテ、適當ニ處置シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ自家用保有米ノコトデゴザイマスガ、一方消費者ニ對スル問題ニ付キマシテモ、同様ノ考慮ガ當然必要デアルト考ヘマスノデ、慎重ニ扱ツテ參リタイト思ツテ居リマス

○鈴木(文)委員 御説明ハ分リマシタ、併シ何レニシテモマヅイ事ノアルノハ事實デゴザイマス、一々指摘ハ致シマセスケレドモ、サウ云フ事實ノアルコトヲ御承知下サイマシテ、農林省ニ於キマシテモ然ルベク御指導ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ頃米ニ小麥ヲ混ゼテ食フ習慣ガ段々出來テ來タノデアリマスガ、米ニ小麥ヲ混ゼテ食フト云フノハ私共生レテ初メテノ經驗デアリマス、大麥ナラバ從來モ混ゼテ食フ習慣ガアリマスケレドモ、小麥ノヤウナモノヲ混ゼテ食フト云フコトニナリマス、是ハ非常ニ食糧ニ行詰ツタ結果デアラウト思ハレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フ事情デアリマセウカ、大麥ガ足ラナイノカドウカ、生産關係ヲハツキリトシテ戴キタイト思ヒマス

○湯河政府委員 此ノ點ハ數日前ニ申上ゲタコトデゴザイマスガ、實ハ昨年ノ米穀需給ノ逼迫カラ致シマシテ、何ヲ混食スルカ色々研究致シマシテ、多少ソコニ無理ガアツタノデゴザイマス、ソレデ大麥、裸麥等相當増産モゴザイマシタケレドモ、地方地方デ混食ニ之ヲ使フコトニナリマスドウシテモ足ラナイ、ソレデ小麥ヲ配給シナケレバナラヌコトニナツタ譯デゴザイマス、併シナガラ小麥モ精麥シテ混食スルナラバ更ニ差支ヘハナイノデアリマスガ、急イデヤリ

マシタ爲ニ、丸麥ノ儘デ御配リシタ譯デゴザイマス、是ハ各方面カラ非常ナ非難ガアリマシテ、洵ニ申譯ナイコトと思ツテ居リマス、ソコデ今度ノ豫算ニ、政府デ小麥ヲ精麥スル設備ヲ造ツテ貰フヤウニ交渉シマシテ、若干ノ費用ヲ取ツテゴザイマス、是カラ先丸粒ノ儘小麥ヲ配給スルヤウナコトガゴザイマシタナラバ、ソレハ全ク間違ヒデアルト云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木(文)委員 次ハ玄米食ノ問題デス、玄米食ノ使用ニ付テハ只今マデモ諸所方々ニ於テ隨分議論ガアリ、問題ガアリ、又實行モサレテ居ツタノデゴザイマスガ、私モ或ル事情デサウ云フ會ニ關係シテ居リマスノデ御伺ヒシタイ、此ノ玄米食ヲ若シ日本人ガ總テヤルト致シマス、手數ガ掛ラナイノミナラズ、糠ガ取レナイシ、榮養上ニ於テモ事實良イノデアリマスガ、玄米食ヲ研究ナサイマシテ、玄米食ガ良イト決マリマシタナラバ、ソレヲ大イニ農林省デ推奨ナサツテハ如何デアリマセウ、サウスルト米不足ノ時ニ於テ、一割カ五分位ノ米ハ必ず節約スルコトガ出來ルト思ヒマス、只今モ七分搗米ヲ使ツテ居ルヤウデアリマス、是ハ胚芽米ガ健康ニ良イ、或ハ玄米食ガ良イ、併シ玄米食ハ今ノ日本人トシテハドウモ食ベニクイカラ、之ヲ七分搗位ニシテ食ツタ方ガ宜イト云フヤウナ意見モ色々アルノデアリマス、玄米食モ普通ノ炊キ方ニシテハイケナイト思ヒマスケレドモ、壓力釜ヲ用ヒマスト非常ニ軟カク炊ケルノデアリマス、是ハ農林省デ研究ナサイマスナラバ、ハツキリトシタ科學的ノ根據ナドモ明カニナルト思ヒマスケレドモ、私共モ實際ヤツ

テ見テ其ノヤウニ思ヒマス、而モ其ノ玄米ガ今日ナイ、玄米ヲ食ツタ方ガ良イト思ツテソレヲヤツテ居ル連中デモ玄米ガナイノデ、今非常ニ困ツテ居ルヤウデアリマスガ、國民食トシテ玄米食ヲ用ヒルコトノ可否其ノ他ニ付テ御研究ニナツテ居ルカ、御研究ニナツテ居ルトスレバ、只今マデニ於ケル成績等ニ付テノ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 玄米食ノコトハ大分御熱心ナ信者ノ方ガ居ラレマスノデ、色々御話ヲ伺ツテ居リマスガ、是ハ相當議論ガゴザイマス、第一榮養ノ點カラ申シマシテモ、玄米食ヲ御獎メシニクイト云フ議論ガ厚生省ノ方ニアルノデアリマス、衛生局長トモ色々相談シテ居リマスガ、ドウモアチラノ方面ハ、玄米食ヲ用ヒルコトハ、根本的ニ榮養上カラ自分トシテハ、マダ賛成出來兼ネルト云フコトヲ申シテ居リマス、サウ云フ點モゴザイマスノデ、政府ガ音頭ヲ取りマシテ玄米食ヲ普及サセルト云フ譯ニハ、一寸參リ兼ネルカト云フ風ニ思ツテ居リマス、附帶致シマシテ、玄米食ヲ普及致シマス上ニ色々困難ガゴザイマスガ、モウ一ツ申上ゲテ置キタイノハ、玄米食ニ致シマシテモ數量ノ點カラ言ツテ、サウ大キナ違ヒハナイト云フ風ニ思ツテ居リマス、玄米食ノ信者ノ方々ノ仰セラレル程ノ、數量ノ節約ニハナルマイカト思ツテ居リマス、尙ホ取扱等ニ付キマシテ、先程御指摘ノゴザイマシタ壓力釜等デヤラナイトイカス、是ハ資材ノ關係カラ言ツテ相當無理ガゴザイマスノト、燃料努力ノ關係カラ申シマシテ、玄米ヲ炊クノ一寸手間ノ掛ルト云フコトモ承ツテ居リマス、ソレカラ農村ト致シマ

シテ是ガ非常ニ問題トナリマスノハ、糠ノ取レナイト云フコトデアリマス、白米デ糠ヲ獲得シテ行ク、精白シタ糠ガソレノ用途ガゴザイマシテ、殊ニ只今ノヤウナ飼料資源ガ不足シテ居リマス農村トシテハ、糠ノ問題ガ非常ニヤカマシイノデゴザイマス、玄米ヲ普及サセルト云フコトニ付テハ、此ノ點モ十分考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、サウ云フ風ヲ譯デ色々研究致シテ居ルヤウデアリマスガ、未ダニ玄米食ヲ獎勵スルト云フ所マデニ至ツテ居リマセヌ、ソレカラ玄米ノ配給ガ受ケラレナイト云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ特ニ玄米ヲ御上リニナル方面ニ對シマシテハ、慥カ玄米ノ配給ハ認メテ居ルト云フ風ニ承知致シテ居リマス

○鈴木(文)委員 議論ニナルト思ヒマスカラ餘リ多ク申上ゲマスマイ、併シ食糧研究所ヲ御設ケニナルト云フ御話デゴザイマスガ、食糧研究所ヲ御設ケニナルナラバ、第一ニ玄米食ノ問題ヲ御研究願ヒタイト思ヒマス、御研究ノ結果良イト云フナラバ、國民全體ガ之ヲ用ヒルコトハ一向差支ヘナイノデアリマシテ、玄米ヲ炊ク壓力釜ニ付テノ問題モゴザイマスケレドモ、壓力釜バカリデナクテ、壓力ヲ加ヘル方法ヲ用ヒマスレバ只今使ツテ居ル釜デモ出來マス、其ノ他色々御研究ニナレバ、其ノ結果明カニナルト思ヒマス、厚生省ノ衛生局長ノ意見ナドハ、餘リ齒牙ニ掛ケル必要ハナイト思ヒマス、是ハ衛生局長自身ガ色々ヤツテオイデニナルカナラヌカ知リマセスケレドモ、私ハサウ信ズベキ理由ガアル、實際ニ研究ナサイマシテ、其ノ研究ノ結果ニ從ツテ國民全體ニ指導ナサル方ガ宜シイ、殊ニ農家

ニ於ケル糠ノ問題ガゴザイマスケレドモ、元祿時代マデハ、大體日本人ハ玄米ヲ食ベテ居ツタ、白米ヲ食ベルヤウニナツタノハ元祿以後デス、元祿以前ノ百姓ハ糠ノ代リニ何ヲ使ツテ居ツタカト云フコトヲ御調べニナリマスレバ、糠ニ代ルベキ品物ハ見出スコトガ出來ルト思ヒマス、要スルニ玄米食ノ問題ハ重大ナ問題デアルト思ヒマスノデ、是非トモ食糧研究所ニ於テ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質問ヲ終リマス

○村上委員長 石坂君

○石坂(繁)委員 總務局長ニ一點伺ヒマス、實ハ先程農政局長ニ伺ツタノデアリマスルガ、總務局長ノ方ガ適當デアラウト云フコトデアリマスカラ、重ネテ簡單ニ申上ゲマシタガ、問題ハ農村下部組織ノ問題デアリマス、御承知ノ通りノ事情ニ於キマシテ、農村ノ生産力ノ推進、中心トナルベキモノハ下部組織デアルト思ヒマスガ、就中農事實行組合、然ルニ最近此ノ實行組合ト部落常會トノ統合ト云フヤウナ關係デ、農林省ト内務省トノ間ニ稍、意見ノ相違ガアルヤニ仄聞致シテ居リマス、是等ノ點ハ速カニ調和統合サルベキモノダト考ヘルノデアリマシテ、從來ノ經過及ビ今後ノ御方針ニ付テ大體承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御答ヘ申上ゲマス、只今ノ御質問ノ農村下部組織トシテ、農事實行組合ト部落常會トノ關係ニ於テ、農林省ト内務省トノ間ニ意見ノ相違ガアル、ソレハ困ルカラ早ク解決スルヤウニト云フ御話デアリマス、御話ノ通りニ付キマシテハ、過去ニ於テハ少シバカリ意見ノ相違ガアツタノデアリマスガ、最近ニ於キマシテ全ク

兩者ノ間ニ意見ノ一致ヲ見マシテ、近ク内務、農林兩次要官通牒ヲ以テ地方ニ方針ヲ示スコトニナツテ居リマス、而シテ其ノ考ヘ方ニ於キマシテハ、從來カラ農林省ガ考ヘテ居リマスコトト大體一致致シテ居リマス、部落ハ御承知ノヤウニ、全部落ノ住民ヲ構成分子トスル地域團體デアリマシテ、町村ノ下部ノ行政組織デアアルノニ對シテ、農事實行組合ハ農家ノ自治的ナ農業經營ノ推進團體デアアル、而モ是ハ今日新シク作ツテ行クモノデナク、從來カラ自然發生的ニ農家ガお互ヒニ寄集マツテ、農業上ノ福利増進ノ爲ニ作ツテ來テ居ル共同組織デアリマス、此ノコトニ付キマシテハ兩省共一致シテ居ルノデアリマス、但シ現時局下ニ於キマシタリ、其ノ間ニ摩擦ガ起キルト云フヤウナコトハ能ク考ヘナクテハナラヌ問題デアリマスノデ、出來ルダケ兩者ノ間ノ圓滿ナル活用ト申シマスガ、連絡協調ヲ圖ツテ行クコトハ是非必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ度考ヘテ居リマスコトハ、根本方針ハ只今申シマシタヤウナ意味合デ進ミマスガ、連絡協調ヲ圖ラセルト云フ意味合ニ於キマシテハ、或ハ純農村部落ニ於キマシテハ、能フ限り部落會ト農事實行組合ト區域ト云フモノヲ同ジヤウナ區域ニ致シタイ、或ハ其ノ間ニ於ケル兩者ノ役員ナドヲ重複サセナイヤウニシテ連絡ヲ取ルト云フヤウナ事柄トカ、或ハ純農村以外ノ部落ニナリマスルト、其ノ間ニ於キマシテ農事實行組合ノ方ノ代表者ヲ部落會ノ方ニモ出シテ、其ノ間ニ連絡ヲ取ルト云フヤウナ方法ヲ執リタイト思ツテ居リマス、要スルニ農事實行組合ハ其ノ本質上農業經

營ニ關スル事柄ヲヤツテ行ク、其ノ他ノ事柄ニ付テハ部落會ノ方デヤツテ行ク、斯ウ云フ方針ノ下ニ進ンデ行ク積リデゴザイマス

○石坂(繁)委員 今資材部長ガオ見エニナリマシタノデ、簡單ニ二三點伺ツテ私ノ大臣ニ對スル以外ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、現在食糧増産ト云フコトヲ至上命令トシテ居ル農村ニ於キマシテ、肥料其ノ他ノ生産資材ノ配給、勞力ノ問題等ノ切實ナル農村ノ要望ニ對シマシテハ、今マデ同僚委員諸君カラ色々質疑ガゴザイマシタノデ、私ハソレ等ノ點ハ出來ルダケ差控ヘタイト存ジマス、尙ホ資材部長ヲ中心ト致シマシテ、農林當局ガ肥料ノ増産其ノ他生産資材ノ配給ニ付キマシテ、非常ニ苦心努力ヲ致シテ居ラレル點ニ付キマシテモ、十分ニ敬意ヲ表シテ居ルノデアリマスガ、私ハ茲ニ肥料其ノ他ノ配給ノ點ニ付テ二三御伺ヒ致シタイノデアリマス、其ノ第一點ハ、此ノ肥料ノ配給ニ付テ、ドウシテモ必要ナ分ダケハ配給ヲシテ戴カナケレバナラスノデアリマスルガ、其ノ地方々々ニ配給サレル數量ニ付テ、出來ルダケ早目ニドレダケノ配給ガアルト云フコトヲ、一般農民ニ速カニ知ラシテ貰ヘル方法ヲ講ジテ貰ヒタイト云フ點デアアルノデアリマス、從來肥料ノ配給ガ不圓滑デアツタノガ、段々圓滑ニナツテ參リツツアルノデアリマスガ、其ノ配給ガ何時ドノ位配給サレルカト云フ點ニ付テ農民ガ承知致シマセヌケレバ、其ノ年ニ作付スベキ作物ノ反別其ノ他ノ點ニ付テ、農民トシテノ心構ヘガ出來ナイノデアリマス、ドウ致シマシテモ此ノ配給サレルベキ肥料ニ付テ、ドノ位ノ配給ガアルト云フコトヲ早

目ニ知ラシテ貰フ必要ガアルノデアリマス、其ノ點ニ付テ如何ナル方法ヲ講ジテ居ラレルカト云フコトデアリマスガ、昨年私ノ地方ナドデハ浮塵子ガ大分付イタノデアリマシタガ、之ニ對スル油ノ配給モナイ譯デハナカツタノデアリマシタケレドモ、偶、或ル數量ノ油ノ配給ヲ受ケマシテモ、其ノ次ニ何時頃ドレダケノ配給ガアルカト云フコトガ一切分ラナイノデアリマス、デアリマスルカラ今持ツテ居ル油ヲ今差セバ相當效力ガアルト思ヒマシテモ、是ガ差セナイ、隨テ結局浮塵子ヲ一層蔓延ラセタ、斯ウ云フ結果デアリマシテ、要スルニ肥料其ノ他ノ配給資材ト云フモノガ、何時ドノ位來ルト云フコトヲ確實ニ且ツ早目ニ農民ニ知ラセル、サウシテ其ノ知ラサレタ數量ノ配給ヲ受ケルト云フコトガ一番必要ナノデアリマシテ、是等ノ點ハ勿論既ニ御用意ノ存スル所ダト思ヒマスガ、重ネテ茲ニ御伺ヒヲ致シタイノデアリマス

○重政政府委員 ドレダケノ肥料其ノ他ノ資材ガ農家ノ手ニ渡ルカト云フコトヲ、早ク知ラスヤウニシロト云フ御意見デアリマシタガ、洵ニ御尤モナコトデアリマス、ドウ云フ風ニ今私達ノ所デヤツテ居ルカト云フ御話ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマスガ、其ノ必要デアアルコトハ只今御指摘ニナリマシタ通りデアリマス、ソコデ吾々ト致シマシテモ一日モ早くソレヲ知ラセタイト云フ考ヘカラ致シマシテ、肥料ニ付テ、殊ニ無機質肥料ニ付テ申シマシレバ、大體秋肥ト春肥ノ二回ニ互リマシテ、今年ノ春肥ニ付キマシテハ前年ノ十二月初メニ、各府縣ニ限月別ノ受渡數量ト云フモノヲ通牒ヲ致シテ居ルノデアリマス、府縣ハ

其ノ數量ニ依リマシテ之ヲ各町村ニ割當致スノデアリマス、私共ガ一箇月前ニ割當ノ通知ヲ致シマシテモ、ソレガ直チニ具體的ニ農家ニドレダケノ肥料ガ來ルト云フコトハ實ハ分リマセヌ、是ハ府縣ニ於テ各町村別ノ割當ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマス、各府縣ノ町村別ノ割當ニ付キマシテモ、出來ルダケ督勵ヲ致シテヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ有機質肥料ノ割當デアリマスガ、是モ出來ルダケ早く各府縣ニ割當ヲ致シタイト云フ考ヘヲ以テマシテ、色々苦心ヲ致シテ居ルノデアリマスルケレドモ、御承知ノヤウナ滿洲ノ大豆ノ收買ノ狀況ニ依ツテ影響ヲ受ケ、更ニ魚肥等ニ付キマシテハ漁獲ノ狀況ニ依ツテドレダケノモノガ手ニ入ルカト云フコトガ、確實ニ早く推定ガ出來マセヌ爲ニ、有機質ノ方ハ稍、遅レテ割當ヲセザルヲ得スト云フ實情ニアルノデアリマスガ、春肥ニ付キマシテハ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、大豆粕ニ付キマシテハ、是ハ早目ニ肥料トシテノ三十万「トン」ノ割當ヲ致シ、先般更ニ四万數千「トン」ノ追加配給ヲ致スコトニ割當ヲ致シタノデアリマス、撒豆粕ニ付テモ昨日申上ゲタ通りニ、九万數千「トン」、約十万「トン」近イモノヲ既ニ割當ヲ致シ、魚肥ニ付テモ同様ニ二万「トン」以上ノモノヲ既ニ割當ヲ致シタト云フヤウナ事情ニアルノデアリマス、無機質ニ比較致シテ有機質ノ方ガ稍、割當ガ遅レト云フコトハ、大豆及ビ魚肥其ノ他ノ雜植物油種實ノ確保ヲ致スコトノ見透シガ、是等ノ性質上速カニ出來ナイト云フコトニ依ツテ來ルノデアリマシタガ、ソレハ已ムヲ得ナイコト考ヘマス、ソレカラ其ノ他ノ物資、例ヘバ油デアアルト

カ、其ノ他ノ生産資材ニ付キマシテモ、同様ニ速カニ割當ヲ致スヤウニ實ハ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通りニ、物動年度ノ當初ニ於テ決定ヲ致シマシタ物動計畫ガ、其ノ實施ニ當リマシテハ年間ヲ第一四半期、第二四半期、第三四半期、第四半期ト四半期ニ分チマシテ、更ニ實行案ヲ作ツテ、ソレニ依ツテ現實ニ供給スル油ナラ油ノ數量ガ決定致スノデアリマス、是モ最近ノ如キ國際情勢ノ變轉極マリノナイ事情ニ於キマシテハ、實行計畫ガ當初ノ物動計畫ト多少違ツテ來テ、變更ヲ加ヘナケレバナラスト云フヤウナ事情ガ起ルコトハ當然ト考ヘラレルノデアリマス、其ノ爲ニ實行方法トシテ、年間ヲ四半期ニ分ツテ實行致シテ居リマスノデ、確實ニ油ヲ供給スル年間ノ量ハ實績カラ考ヘテ見マス、當初ノ計畫ヨリ多少ノ開キガアルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ四半期ニ分チマシテ、物動ノ實行案ガ決定致シマシタラ、直チニ私達ノ方デハ其ノ割當ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマス

ソレカラ油ノ話デ、去年ノ浮塵子ノ驅除ニ付テノ油ノ故障ノ御話ガ出タノデアリマスガ、是ハ實ハ縣カラ浮塵子ノ發生ノ通知ガアリマシテ、即日私ノ方デハ、ソレニ必要ナル油ハ直グニ送ルカラ、縣内ニ於テ保有シテ居ル油ヲ直グ其ノ方面ニ廻シヤウニト云フコトノ電報ヲ打チマシテ、サウシテ油ヲ送ツタノデアリマス、ソコデハ油ニ限ツタコトハアリマセヌガ、總テノ物資ニ付キマシテ、昨日モ申上ゲマシタ通りニ、吾々ハ決シテ責任ヲ回避スルト云フヤウナ考ヘハ持ツテ居リマセヌガ、實際問題ト致シマシテ、國、縣及ビ町村及ビ現實ニ物ヲ

受渡シマシマス所ノ或ハ中樞機關デアルトカ、或ハ縣ノ産業組合聯合會、或ハ商業組合ト云フヤウナモノ、及ビ町村、サウ云フヤウナ此ノ割當ヲ致シマス機關、ソレカラ物資ヲ輸送スル機構ガ兩々相俟ツテ、其ノ段階々々ニ於テ擔任ヲシテ居リマス所ノ責任ヲ、各、ガ有機的連繫ヲ以テ百「パーセント」ニ果サナケレバ、物資ノ配給ハ巧ク行カナイノデアリマス、幾ラ農林省ニ於テ頑張ツテ見テモ、一万二千ノ町村及ビ其ノ町村内ニ居住ヲシテ居ル所ノ農家ニ、ドウ云フ風ニ確實ニ渡ツタカト云フコトハ、吾々ノ所カラハ眼ミガ利カナイノデアリマス、各、其ノ擔任ヲ致シテ居リマス段階ノ者ガ十分ニ努力ヲ致サナケレバ、一所デ間違ヒガ起ルト他ノ段階ノ者ガ如何ニ努力ヲ致シマシテモ、結局ソレハ水泡ニ歸スルト云フコトニナリマス、吾々ト致シマシテハ、出來ルダケ其ノ各ノ機關ガ百「パーセント」働クヤウニ、督勵ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、非常ニ澤山ノ中デアリマスノデ、具體的ニハ色々御指摘ニナリマスヤウナ不都合ナコトモアラウカト考ヘマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ出來ルダケ直チニ其ノ縣ニ、或ハ吾々ノ所ニ具體的ニ御報ラセテ願ヒマスレバ、直チニ適當ナ手配ヲ致シマシテ、出來得ル限り御不便ノナイヤウニヤリタイト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 御答辯ノ御趣旨ハ能ク諒承致シマシタ、更ニ第二點ト致シマシテ、配給肥料ノ肥効成分ノ價值ニ依ツテ、配給ヲ適當ニ考慮シテ戴クヤウナ方法ヲ講ジテ賞ヒタイ、是モ具體的ノ問題ト致シマシテハ、中々容易ナコトデハナカラウト考ヘマスガ、實際私共ノ地方ナドノ實情ヲ見マ

スト、例ヘバ窒素肥料ニ致シマシタ所デ、或ハ硫酸デアルトカ、石灰窒素デアルトカ、「チリ」硝石、斯様ナモノヲ色々配給ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、實情ハ「チリ」硝石、「アンモニア」ナドト云フヤウナモノハ、畑作地ニ多ク配給サレテ居ル、石灰窒素ハ水田ノ方ニ配給サレツツアルト云フヤウナ實情ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ結果ハ水田ニ比シマシテ、比較的ニ收益ヲ上ゲルコトノ少イ畑地ニ高イ肥料ガ配給サレルト云フコトニナルノデアリマス、此ノ點ハ既ニ生産ノ當初カラシテ、水田畑地トハ、非常ナ不均衡ニナルノデアリマス、從來ノ自由主義經濟時代ニ於キマシテハ、各農家ハ其ノ自己ノ所有ノ田畑、或ハ其ノ土地ノ肥瘠等ニ依リマシテ、自由ニ肥料ヲ選擇スルコトガ出來タノデアリマスガ、今日ノ場合ハサウ云フ譯ニモ參ラヌノデアリマス、隨ヒマシテ、是等ノ肥料ノ肥効成分ヲ考慮致シマシテ、具體的ノ配給ニ際シマシテハ之ヲ田地ニ向ケル、或ハ畑地ニ向ケルト云フコトノ方法ヲ講ジテ戴キタイノデアリマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、困難ナ問題デアラウト考ヘマスガ、尙ホ之ニ對スル部長ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○重政政府委員 肥料ト申シマシテモ、色々種類ガアリマス、其ノ肥効性ト申シマスカ、含有窒素量及ビ肥効ニ付キマシテモ、必ズシモ全部ガ同一ノモノトハ考ヘラレナイ、隨テ窒素量及ビ肥効成分ヲ基準ニシテ割當ヲシタナラバドウカト云フ御意見デアリマスガ、洵ニ御尤モナ御意見デアリマス、吾々ト致シマシテモ、サウ云フ風ニ致スコトヲ基準ニシテ割當ヲ致シテ居リマス、例ヘバ窒素ニ付テ申シマス、硫酸及ビ石灰

窒素、或ハ化成肥料ト云フヤウナモノハ、是ハ含有成分ハモノニ依ツテ違ヒマスケレドモ、大體ニ於キマシテ硫酸及ビ石灰窒素ハ二〇%乃至二一%ノ窒素含有量デアアル、サウシテ此ノ肥効ハ全然同一デアアルノデアリマス、化成肥料ニ付キマシテハ、種類ニ依リマシテ含有量が違ツテ居リマスガ、ヤハリ是ハ「アンモニア」ヲ使ヒマスノデ、其ノ肥効ニ至リマシテハ、何レモ同様ナモノデアリマス、ソコデ無機質ノ窒素ヲ配給割當ヲ致シマス際ニ於キマシテハ、主トシテ其ノ含有成分ヲ基準ニ致シマシテ、サウシテ一面各地方ニ於ケル肥料施用ノ慣行ヲ考慮致シマシテ、各府縣ニ公平ニ割當ヲ致シテ居リマス、「チリ」硝石ノ御話ガ出マシタガ、是ハ御承知ノ通りニ先年ハ非常ナ旱魃ニ依リマシテ、硫酸ノ生産ガ非常ニ減ツタノデアリマス、其ノ對策ノ一ツト致シマシテ、約九万「トン」前後ノ硝酸曹達ヲ「チリ」カラ輸入ヲ致シタノデアリマス、是ハ御指摘ニナリマシタ通りニ、畑作ノ肥料トシテ施用ヲ致サシメタノデアリマス、ト申シマスノハ、水田ニ之ヲ入レマス、「ロス」ガ非常ニ大キイ、其ノ爲ニ特ニ畑作ニ之ヲ施用セシメルヤウニ通達モシ、指導モ致シタノデアリマス、併シ「チリ」硝石ノ割當ニ付キマシテハ、硫酸及ビ石灰窒素ノ窒素ノ含有量が違ヒマスノデ、是ハ窒素分ヲ基準ニ致シテ數量ヲ計算ヲ致シテ、割當ヲ公平ニ致シタノデアリマス、之ヲ畑作ニ施用セシメザルヲ得ナカツタ事情ハ、只今申上ゲタヤウナ事情デアリマスノデ、御諒承ヲ戴キタイト考ヘマス、本肥料年度ニ於キマシテハ、先日モ申上ゲマシタ通りニ、前肥料年度ニ比較致シマスレバ、硫酸及ビ石灰窒素

ヲ合算致シマシテモ、約十萬「トン」餘リノ増產ヲ吾々ハ可能デアルト考ヘテ居リマスノデ、「チリ」硝石ノ輸入等ニ付キマシテハ本年ハ特別ナ措置ヲ講ジテ居リマセヌ、隨テ總テソレ等ノ硫酸、石灰窒素等ノ化學肥料ニ依ツテ賄ヒガ付クコトト考ヘテ居リマス、有機質肥料ニ付キマシテモ其ノ含有窒素分ト云フモノガ、魚肥及ビ豆粕其ノ他ノ雜穀性油粕ニ依ツテ違ツテ居リマスノデ、何レモ是ハ含有窒素量ヲ基準ニ致シマシテ、サウシテ各地方ノ肥料施用ノ慣行ヲ考慮致シマシテ、適當ニ是等ノ各肥料ヲ按配ヲ致シテ、各府縣ニ割當ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ肥効率ニ付キマシテハ、大體ニ於テ是等ノ主要ナル有機質肥料ハ大差ハナイコトト考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 肥料配給ニ付キマシテ、其ノ肥料ノ肥効成分、從來ノ其ノ地方ノ施肥ノ慣行其ノ他種々考慮サレマシテ、配給シテ居ラレル其ノ御苦心ノ所ハ十分了承致シマシタ、實際ノ問題ト致シマシテ、此ノ肥料ハ適期ニ適當ノモノヲ配給致サナケレバナラス、然ルニ地方ノ實情ハ一郡ヲ單位トシテ案ヲ立テテ配給致シマス結果、其ノ土地ノ肥瘠、或ハ勞力ノ配分、前作物ノ狀態、自給肥料ノ供給、斯ウ云フヤウナモノガ餘リ考ヘノ中ニ置カレズシテ、配給サレテ居ルヤウナ狀態デアリマス、是ハ農林當局ノ指令ニ、其ノ通りニ合致シナイ實際ノ配給ヲ受持ツ部門ノ責任カトモ存ジマスケレドモ、實際ハサウ云フ憾ミガ大變多イノデアリマス、其ノ他ノ資材ニ致シタ所デ、例ヘバ昨日須永君カラ地下足袋ノ配給ノ點ニ付テノ御質問等ガアリマシタガ、色々資材ヲ具體的ニ拾上ゲテ見マス、配給ノ圓滑ヲ缺ク點、

拾上ゲテ見マス、配給ノ圓滑ヲ缺ク點、

都合好ク行ツテ居ラナイ點ガ多アルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ先程部長ハ、其ノ具體的ノ問題ハ何時デモ一々御指摘願ツテ、自分達ノ方ニ申出テ吳レト云フ御話デアリマスガ、ソレハ私共洵ニ感謝致スノデアリマスガ、斯様ナ現在ノ如キ配給狀態ニ付テハ一ツノ機構ノ上カラ、例ヘバ配給監督官ト云フヤウナモノヲ各地方ニ設置シ、サウシテ常ニ配給上ノ指導監督ノ任ニ當ラシメテ、配給ノ圓滑適正ヲ期スル、斯様ナコトモ一ツノ方法デアラウカト考ヘルノデアリマス、現在ノ各受持部門ニ於テハ、ソレゾレ十分奮勵サレテ、其ノ人達モ努力シテ居ラレマセウケレドモ、具體的ノ問題ハ先程カラ申上ゲル通りデアリマシテ、今ノ配給監督官設置ト云フヤウナ點ニ付テハ御意見ハ如何デアリマスカ

○重政政府委員 具體的ノ問題ニ付テ、昨日來色々御指摘ニナリマシタヤウナコトノ起リマスコトハ、私共ト致シマシテハ洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、昨日モ申上ゲマシタ通りニ、吾々ノ能力ト致シマシテハ、具體的ノ配給ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ、時々特定ノモノニ付テ調査ヲシテ視テ歩クト云フコトニ依ツテ、配給ノ適正確實ヲ期スルヨリ外ハナイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルト申上ゲタノデアリマスガ、只今御話ノ監督官ヲ設置シテ、物資配給ノ適正ニアルカドウカト云フコトヲ監察セシメル制度ヲ考ヘタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、私一存トシテハ洵ニ結構ナ制度デアルト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ農林省ト致シテ十分研究ヲ致シマシテ、御意見ニ副フヤウニ將來努力ヲ致シタイト考ヘマス

○石坂委員 段々ノ御答辯ヲ感謝致シマス同時ニ、時局柄尙ホ一層ノ御努力ヲ當局各位ニ要望致シマシテ、是デ私ノ大臣以外ノ質問ヲ終リマス

○村上委員長 是ニテ休憩致シマス、午後一時半カラ開會致シマス
午後零時二十二分休憩

午後一時四十分開議

○村上委員長 休憩前ニ引續イテ開會致シマス——坂下仙一郎君

○坂下委員 同僚諸君ノ御質問ニ依リマシテ餘リ殘サレタ所ガ多分ニナイト存ジマス、隨テ一、二點政府ニ御尋ネシテ見タイト存ジマス、肥料ノ配給ガ圓滑デアリマセヌ爲ニ、之ヲ補ヒマスニハドウシテモ有畜農業ニ賴ラナケレバナラス……

○村上委員長 坂下君、其ノ問題ハ農政局長ヲ呼ブ必要ガアリマセウカラ、御見エニナルマデ外ノ方ヲ進メテ下サイ、若シ食糧管理局長官ニ答辯ヲ求メルヤウナコトガアレバ、ドウゾソレヲ先ニ御願ヒ致シマス

○坂下委員 承知シマシタ——最近小學校教員ノ一人一箇月十圓ト云フ増俸或ハ臨時手當ト申シマスカ、ソレガ衆議院ノ方ニ追加豫算トシテ出マシテ、其ノ後ノ情勢ヲ聞キマス、獨リ小學校教員バカリデナク、下級官吏、警察官或ハ町村ノ吏員ト云フ方面マデモ、一人一箇月約十圓當リノ増俸ニ値スルヤウナコトヲスルヤウニ新聞ニハ出テ居リマスシ、吾々モサウ云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、一方ニハ總テノ物價ニ比ベテ一番安イト何人モ認メテ居リマス米價ニ付キマシテハ、農林大臣ハ値上ヲシナイト聲明ヲシテ居リマス、一方ニハ小學校

教員ヲ初メトシテ、下級官吏ノ月額十圓ノ増俸ヲシテ居ル、斯フ云フ結果ガ農民ノ精神ニドンナ刺戟ヲ與ヘルカ、又隨テ米麥ノ増產ト云フ方面ニドウ云フ影響ヲ與ヘルカト云フコトヲ、農林省トシテハドンナ風ニ御考ヘニナツテ居ラツシヤルカ、先ヅ其ノ農林省ノ考ヘ方ヲ一ツ聽キタイト思フノデアリマス

○湯河政府委員 米價ノ問題ハ洵ニ重要ナ問題ダト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ石黒農林大臣ガ色々機會ニ於テ御述ベニナツテイラツシヤルノデアリマス、吾々ト致シマシテモ、大臣ノ指揮ヲ承ケマシテ、此ノ米價ノ問題ニ付キマシテハ慎重ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレデ米價ガ安イト云フ風ナ感ジヲ持ツテ居ラレル向ガ段々オアリノヤウデゴザイマス、併シ又現在ノ米價ト申シマスモノガ基礎ニナリマシテ、只今ノ低價格政策ノ體系モ出來上ツテ居ルカト思フノデアリマス、ソレカラ尙

ホ現在ノ米價ガ一應引上ゲラレナイト云フ基礎ノ下ニ立ツテ、農村ノ人達ノ米ニ對スル供出ノ熱意モソコニ繋ガレテ居ルト思ヒマスガ、コカラノ關係ヲ考ヘマスルト、現在米穀事情ノ非常ニ困難ナ時ニ當リマシテ、吾々ト致シマシテ輕々ニ米價ノコトヲ決定的ニ色々ト議論ヲスルコトヲ、寧ろ避ケタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、慎重ニ此ノ問題ニ對處シタイト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○坂下委員 私ハ米價ヲ引上ゲルカ否カト云フコトヲ此處デ御尋ネシテ居ルノデハナクテ、米價ハ引上ゲヌト云フコトヲ農林大臣ガ聲明スル一方ニハ、突如トシテ小學校教員並ニ下級官吏ノ増俸ヲ實現スルト云フ

コトガ農民ニドンナ刺戟ヲ與ヘルカ、ドンナ感ジヲ持タセルカト云フコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマス、其ノ點ヲ御尋ネシタイノデアリマス

○湯河政府委員 小學校教員等ノ臨時手當ノ追加豫算ノコトニ付キマシテハ、私實ハ取込メテ居リマシテ、十分ニ檢討ヲ致シテ居リマセヌ、洵ニ相濟マスコトデアリマスガ、コチカラノ方ノ仕事ニカマケテ居リマシテ、マダ檢討ガ出來テ居リマセヌ、ソレゾレ理由ノアル御處置ヲラウト思フノデアリマス、ソレデ其ノ結果トシテ、農村ノ人達ノ心理狀態ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカ、殊ニ今御話ノゴザイマシタヤウニ、米ノ生產ト云フ方面ノ農民ノ心理ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フコトニ付キマシテモ、實ハ能クマダ研究ガ出來テ居リマセヌノデ、私カラ此處ニ色々ナコトヲ申上ゲルコトヲ控ヘタイト存ジマス

○坂下委員 マダ御研究ガ出來テ居ナイト云フ御話デアレバ、是以上追究シテ見テモ仕方ガゴザイマセヌガ、私ハ斯ウ云フ風ニ感ズルノデス、一箇月十圓ノ増俸ト致シマス、一年ニ百二十圓ニナル、農家ノ大多數ハ米ヲ一年ニ二十五俵乃至三十俵位穫ル農家ガ多イ、サウ致シマス、一石十圓値上ヲ致シマシテモ、三十俵ト見マシテ百二十圓ニ相當スル、丁度小學校ノ先生其ノ他ノ方々ガ十圓増俸セラレタノト、三十俵穫ル農家ノ收入増ト同ジコトニナルノデアリマス、而モ一人一年ニ一石ヲ消費スルモノト致シマス、六人ノ家族ヲ持ツテ居ル俸給生活者ガ米一俵四圓、一石十圓ノ値上ヲサレマシテモ、今度臨時ニ増俸セラレマシタ半額ヲ米價ノ値上リニ消費スレバ足リル、

詰リ月額五圓アレバ一石十圓ノ値上リニ對スル影響ハソレデ「カバ」出來ル、アトノ五圓ガ其ノ他ノ物價ノ値上リニ對シテ利用サレルト云フ形ニナルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、一石十圓位ノ値上ハ、下級官吏ノ十圓増俸ガ實現致シマシタ以上ハ、ドウ云フ方法ニ依リマシテモスルコトガ當然ダト私ハ思フ、目下國家管理ノ爲ニ色々仕事ヲシテ居リマスカラ、今ノ所其ノ値上ヲスルト云フヤウナコトヲ論議シテハ、國家管理ニ移ス米ヲ隱ストカ、或ハ供出シナイトカ云フヤウナ虞モアツテ、此ノ値上ノ問題ヲ遠慮シテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ事茲ニナツテ見スレバ、私ハ別段遠慮ノ必要ハナイト思フ、私共農會人トシテ殆ド一年ノ半バ以上ヲ農村ノ座談會等ニ出席シ、或ハ講演會、協議會等ニ費シテ居リマスルガ、常ニ懇ヘラレルノハ米價ノ安イト云フ問題デアリマス、其ノ時ニ私共ハ斯ウ云フコトヲ座談會デモ、講演會デモ申上ゲテ、農民ヲ押ヘテ居ル、ドンナコトヲ言フカト申シマス、ソレハ御尤モダ、ドノ物價ニ比ベテ見テモ米ノ安イト云フコトハ是ハ何人モ認メル所デアルガ、併シ此ノ戰時下ニ於テ低物價政策ヲ實行シテ行キマスニハ、何トシテモ主要食糧デアル米ダケハ値ヲ上ゲテハイカヌノダ、米ノ値段ヲ上ゲル日ニナリマス、隨テ下級ノ俸給生活者、或ハ日傭取ト云フヤウナ方面ニマデモ何トシテモ値上ヲシナクテハナラヌカラ、サウナレバ政府ノ豫算或ハ地方ノ豫算等ハ途中デ豫算ノ更正ヲシテ増額シナケレバナラヌト云フコトニナル、例ヘバ政府ノ百二十何億ト云フ豫算ニシテモ、若シ米價ヲ上ゲテ、其ノ影響カラ又官吏ノ給料、其ノ

他勞務者ノ給料ヲ上ゲルト云フコトニナレバ、隨テ政府ノ豫算モ一箇年アル積リノモノガ十箇月或ハ八箇月デ使ツテシマハナケレバナラヌト云フ結果ニナルノダカラ、サウナレバ所謂惡性「インフレーション」起ス、デアルカラ農民ニハ洵ニオ氣ノ毒デアルガ、此ノ戰時中ハ何トシテモ、安クテモ不平ヲ言ハナイデ増産ニ努メテ呉レ、働イテ呉レ、其ノ代リ下級官吏ノ人達ヤ或ハ勞働者ガ、是デハヤリ切レナイカラト云フノデ増俸サレル、或ハ賃金ヲ増スト云フ結果ニナレバ、獨リ農民ニダケ犧牲ヲ強ヒルト云フ譯ニハ行カナイカラ、其ノ時ハソレニ比例シテ何トカ適正物價ニ直ル時期ガ來ルト思フ、デアルカラ先ヅ此ノ際ハ農民ノ諸君トシテハ國家ニ御奉公ノ意味デ、米ガ安イトカ高イトカ言ハナイデ、辛抱シテ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ、私共ハ座談會或ハ講演會ノアル度ニ言ツテ今日マデ參ツテ居ルノデアリマス、所デ今度突如トシテ小學校教員始メ其ノ他ノ下級官吏ニ對シテ一箇月十圓ノ増俸ヲスル、米ニ直セバ、三十俵取りノ農民ノ米ニ對シテ一俵四圓ノ値上ヲシタト同ジヤウナ増額ニナツタ、サウ致シマス、今後私共農村ノ座談會、其ノ他ニ行キマス時ニ、何ト言ツテ此ノ言譯ヲスレバ宜イカ、ドウ云フ風ニシテ農民ヲ指導スレバ宜イカト云フコトヲ農村當局ニ一ツ御尋ネシタイ、教ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、一方ニハ俸給ヲ上ゲテ、一方ニハ農林大臣ノ屢、聲明ナサル通り米價ハ上ゲナイト云フコトデアレバ、常ニ農民ニ接觸シテ居ル吾々ト致シマシテハ、今後ドウ云フ風ナ話ヲシタナラバ宜イカ、ドウ云フ風ニ農民ヲ指導シテ行ケバ宜イカ、農民ノ忍耐ニモ私ハ

恐ラク限度ガアルト思フノデス、デアルカラ此ノ上忍耐サセテ、國家ノ要求スル増産或ハ生産擴充方面ニ飽クマデ心ヲ變ヘナイデ努力サセルニハ、ドウ云フ指導ヲシテ行ケバ宜イカ、之ヲ一ツ教ヘテ戴キタイト思ヒマス

○湯河政府委員 只今ノ御話ハ洵ニ大事ナ點ニ觸レテ居ルコトデアリマシテ、實際ヲ申シマス、吾々ト致シマシテモ實ハ此ノ問題ノ解決ニ苦慮致シテ居ルノデアリマス、詰リ二ツノ要求ガソレハ、相反シテ居ル譯デアリマス、之ヲ如何ニ解決スルカト云フコトハ、御一緒ニ色々御智慧ヲ拜借シ、吾々自分ノ考ヲ打マケマシテ、サウシテ解決ヲ圖ツテ行クト云フヨリ外ナイモノト思ツテ居リマス、ソレデ御話ノゴザイマシタヤウニ、農家ノ方々ノ打割ツタ氣持ヲ御聴キニナレバ、只今御話ノゴザイマシタヤウナコトヲ率直ニ申スノデアラウト思フノデアリマス、併シ吾々ガ之ヲ見テ居リマス、現在ノ時局下ニ於キマシテ日本ノ此ノ經濟ノ體制ヲ維持シテ行ク上ニ於キマシテハ、ドウシテモ今ノ物價政策ト云フモノヲソレハ色々批評ナリ檢討ナリノ餘地ハゴザイマセウガ、一部ガ行詰ツタカラト云ツテ「システム」全體ニ對スル影響ヲ考ヘズニ、直グ是ノ處置ヲ付ケルト云フ譯ニハ參ラナイノダト思フノデアリマス、ソレデ吾々考ヘテ居リマスコトハ、兎ニ角地方ノ人達ガ米價ガ安イト増産ニ熱ガ入ラナイト云フヤウナコトガゴザイマスレバ、此ノ増産ヲ必要トシテ居ル時ニ洵ニ困ルノデゴザイマスカラ、其ノ方面カラダケ申シマスレバ米價ヲ上ゲテ欲シイト云フコトハ、是ハソレ等ノ方々ト一緒ニ吾々モサウ思フノデアリマス、

併シ先程モ申シマシタヤウニ、一方此ノ主要食糧ノ價格ト申シマスモノハ、兎ニ角殆ド凡ユル物資ノ價格統制ノ基礎ニナツテ居ルモノト思フノデアリマス、ソレデ是ガ動キマスコトニ依ツテ、九・一八價格停止令ヲ出シテ以來、色々低價格政策ノ確立ニ向ツテ進ンデ來テ居リマス我々國全體トシテ、價格ノ體制ト云フモノニ、非常ニ大キナ影響ヲ與ヘルノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレデ一應斯ウ云フ風ナ低價格政策ヲ執ツテ居リマス場合ニ於キマシテハ、米ノ價格ニ付テ色々御批評ハゴザイマスルガ、是ハ農會ノ一部ノ方々ガ農村ニ對シテ御示シ戴イテ居リマスヤウニ、寧ろ此ノ米ノ價格ヲ基礎トシテ他ノ價格ヲ規律シテ行ク、然ラザレバ他ノ價格ガ皆ク行カナイ時ニハ、セメテ配給デモ農家ノ人達ノ不滿ノナイヤウニスルト云フ努力ヲナスベキデアルト云フ御話ガゴザイマスノデスガ、吾々ト致シマシテハ只今ノ所、サウ云フ方向ニ向ツテ全力ヲ擧ゲテ居ル積リデゴザイマス、ソレデ一方カラ申シマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、大臣ノオロカラモ出テ居リマスガ、將來ノ米價ノコトニ付テハ慎重ニ考慮シテ居ルカラ何トモ言ヘナイト云フ御話デゴザイマス、吾々ト致シマシテハ、此ノ米價問題ハ何モ今期ノ議會ニ於テ御指摘ヲ戴キマシテ、サウ云フコトヲ大臣カラ言ツテ戴イテ居ル積リデナク、米價ノ問題ハ一昨年来ノ懸案デゴザイマス、私ト致シマシテモ米穀局ニ參リマシテカラ、其ノ問題ハ實ハ非常ニ難カシイ問題トシテ惱ンデ居ルノデゴザイマスケレドモ、色々研究ハ致シテ居リマス、デゴザイマスカラ斯ウ云フ機會デナク、色々場合ニ本當ニ研究的ニ

議論ヲスル——議論ト云フヨリモ御相談ヲ

シ合フト云フ機會ガアレバ、喜ンデ私達モ
出テ行キマシテ色々御話ヲ申上ゲ、又役所ノ
行キ方ト致シマシテ、米價ヲドウスルカト
云フコトニ付キマシテハ、此ノ際何トモ申
セナイト云フ譯デアリマシテ、吾々ト致シ
マシテ此ノ事態ニ於キマシテ、價格ノ問題
ニ付テ若シ向フ變ヘルト云フコトデモゴザ
イマスレバ、ソレハ獨リ米ノ價格ノコトダ
ケヲ取ツテ、ソレダケノ限リ議論スルノ
ハ間違ヒダト思ヒマス、全體ノ價格政策ノ中
ノ重要ナル一部ヲ占メテ居ル米ノ價格ノ問
題ヲ議論致シマスコトハ、慎重ニ其ノ全般
ニ付テノ考慮ヲ拂ツテ、其ノ全般ニ付テノ
行キ道ノ決マリマシタ上デ處置ヲ執ラナケ
レバナラスコト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其
ノ全般ノ範圍内ニ於キマシテ、現在ノ米價
ニ付キマシテ色々コトヲ農村ノ人達ガ御
思ヒニナルナラバ、ソレニ對シマシテハ吾
吾々ト致シマシテ、他ノ價格ノ檢討或ハ價格
維持、詰リ閣取引ノ絶滅トカ云フ風ナコト
ナリ、更ニ配給ニ付テ其ノ時期、數量等ノ
問題ヲ寧ロシツカリヤツテ行クト云フ風ニ、
何處々々マデモ私共トシテハ努メテ行キタ
イト考ヘテ居リマス、實ハ是レ以上ノコト
ニナリマス、吾々ト致シマシテモ、問題
ガ非常ニ大事デゴザイマスノデ、能ク上局
ト御相談致シマシタ上デ申上ゲナケレバナ
ラスト思ツテ居リマス

○村上委員長 坂下君、農政局長モオイデ
ニナリマシタカラ……

○坂下委員 今ノ續キデモウ一寸——此ノ
上私モ申上ゲマセスガ、先程申シマシタ通
リ、私共今後此ノ儘デハ農村座談會或ハ講
演會等ニ行ツテ申上ゲル言葉ガナイ、何ト

申上ゲテ生産擴充ニ努メテ貰ヘバ宜イノ

カ、ソレニ迷ツテ居ルノデス、此ノ機會デ
ナクテモ是ハ是非農林當局ニ一ツ教ヘテ戴
キタイ、私伺ツテモ宜シイ、配給等ヲ工夫ス
ルト言ツタ所ガ、實際問題ト致シマシテ、農
民ダケニ總デノ配給ヲ十分ニシテ行クト云
フヤウナコトハ、是ハ出來ルモノデモナシ、
ヤレバ又一方ニ何等カノ反動ガ起ルト云フ
コトモ豫想シナケレバナラスノデアリマス
カラ、配給等ニ於テ出來ルダケ農民ニ都合
好クスルカラ、米ハ安クテモ耐ヘヨト云フ
ヤウナコトハマズイデハナイカト思フ、ソ
レカラ是ハ度々問題ニナツタコトデアリマ
スガ、米ガ色々ノ物價ノ基準ニナルカラ、
低物價政策ヲ實行シテ行ク間ハ何トシテモ
米ハ上ゲラレナイト云フコトデアリマス
スト、今マデノ戰爭ニ致シマシテモ、今後
ノ戰爭ニシテモ、戰爭ニ對スル犠牲ト云フ
モノヲ農民ダケガ誰ヨリモ多ク負擔シナケ
レバナラスコト云フ結論ニナル譯デ、ソレデ
ハ餘リニ農民ガ可哀サウダ、特ニ私共ノ
ヤウニ農民ト共ニ三百六十五日暮シテ居ル
者ノ立場カラ申シマス、如何ニモ農民ニ
氣ノ毒デアアル、米麥ノ供出ニ致シマシテ
モ、他ノ農作物ノ供出ニ致シマシテモ、他
ノ商工業者ニ比ベマス、商工業者ノ方ニ
ハ、ドンナニ儲カラヌデモ、赤字デモ、
此ノ値デ供出シロト云フヤウナコトハ
未ダ曾テ聞イタコトハナイ、獨リ農産物ニ
限ツテ値段ニ頓着ナク供出ヲ命ズルト云フ
形ニナツテ居ルノデアリマシテ、如何ニモ
農民ノ立場ヲオ氣ノ毒ニ感ジマス、低物價
政策ヲ實行シテ行ク上ニ於テドウシテモ米
麥ノ値段ヲ此ノ儘据エ置カネバナラスコト云
フナラバ、ヤハリ獎勵金トカ何カノ方法

ニ依ツテモ之ヲ救済シ得ル途ハアルト思フ、

ダカラ今後御研究ヲナサル上ニ於テ、一石
十圓ノ値上ハ今回ノ官吏ノ増俸ト匹敵シタ
値段デアルト云フコト、シレガ低物價政
策ノ關係上値上ガ出來ナイナラバ獎勵金
ノ交付ト云フ途モアル、六千万石ノ米ノ中
デ、供出或ハ販賣ダケニ限ツテ獎勵金ヲ與
レルト云ヘバ、恐ラク三分ノ一以下デアラ
ウ、サウシマス二千万石位ニ對シテ、地
主ヘヤルノモヤラナクテモ宜シ、唯供出ト
カ、販賣トカ云フ米ニ對シテノ獎勵金ヲ
與レルトスレバ、三分ノ一ノ獎勵金ヲ行ケ
ルト思フ、此ノ時局下カラ言ヘバ、一億五千
萬圓ヤ二億圓ノ金ハ據シンドコロナイデハナ
イカ、コンナ風ニモ考ヘラレル、殊ニ窮迫
シテ居リマシテ、雜穀或ハ加工品マデモ混
食トシテ政府ガ買上ゲネバナラスコト云フヤ
ウナ時代ニ直面シテ居ルデアリマスカラ、
所謂食鹽注射トカ、或ハ「カンブル」注射ノ意
味ニ於テ、何等カ茲ニ對策ヲ考究スル必要
ガアルト存ジマス、値上ゲラシテモ宜シ、
何トカ方法ヲ講ジナケレバ、農民ノ感情ヲ
頗ル惡イ方ニ刺戟致シマシテ、現在農林省
ノ計畫シテ居リマスヤウナ技術的ノ細カイ
増産獎勵ノ施設ヲヤラウト致シマシテモ、
農林省ノ思フヤウニ増産ハ出來ナイ、斯ウ
云フ風ニ私共ハ心配スルノデゴザイマス、ド
ウゾ此ノ點ハ十分御研究下サイマシテ、大
英斷ニ一ツヤツテ戴キタイ、サウ餘リ御心
配ナサルコトハナイト思フ、是非トモ是ハ
サウ云フ風ニシテ戴キタイト云フコトヲ御
願ヒ申上ゲルト同時ニ、今後此ノ儘デ置ク
ナラバ、私共ハドウ云フ風ヲ指導精神ヲ以
テ農民ヲ指導スルカト云フコトヲ一ツ御研
究ノ上教ヘテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ次ノ問題ニ入りマス、丁度農政

局長モ御見エニナリマシタガ、食糧ト飼料
ト云フモノハ不可分ノモノデアリマシテ切
離スコトガ出來ナイ、ソコデ食糧ノ増産ト
併セテ飼料ノ増産ヲドンナ風ニ計畫シテ居
ラレルカ伺ヒタイノデアリマス、肥料不足
ノ緩和スルニハ、此ノ場合何トシテモ有畜
農業ノ外ニナイト思ヒマス、無論農林省デ
モ有畜農業ノ獎勵ヲナサルヤウナ施設ノア
ルコトモ親ヒ知ツテ居リマスガ、之ニ對ス
ル飼料ニ付テ現在ドウ云フ計畫ヲ立テテ居
ルカ、結局食糧ニ食ヒ込マナイヤウナドウ
云フ御案ガアルカラ御示シ願ヒタイ

○岸政府委員 有畜農業ヲヤツテ行ク上ニ
於テ、飼料ノ計畫ヲドウ云フ風ニ持ツテ居
ルカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハモウ
先ノ議會デモ御話申上ゲタヤウニ、大體ハ
十四年ニ立テマシタ畜産ノ増殖ノ計畫ト云
フモノニ依ツテ、大家畜ニ換算シテ、大體
農家ガ約一町歩ニ一頭位ノ大家畜ヲ飼フト
云フ見當デヤツテ居ルノデアリマス、其ノ
經營ノ面積ニ應ジテ大小ノ家畜ヲ適當ニ配
シテ行ク、斯ウ云フ考ヘノ下ニ計畫ヲシタ
モノデアリマス、隨テソレニ對シテ飼料
ノ計畫ト云フモノハ、國內デ出來テ居ルモ
ノニ付テハ大體從來通りノ生産ヲ利用シテ
行ク、足りナイモノニ付テハ第三國カラノ
輸入ガ期待出來ナイカラ、是ハ滿洲カラノ
供給ヲ仰グ、斯ウ云フ考ヘデ進ンデ居ルコ
トハ坂下サンモ御承知ノコトト思フノデア
リマスガ、併シ其ノ後ニ於ケル事情ガ非常
ニ窮迫シテ來テ、隨テ飼料ト食糧トガ相剋
スル部分ガ出來テ來タ、特ニ雜穀類ニ於テ
サウ云フ問題ガ起キテ來タト云フコトハゴ
ザイマス、昨年ハ非常ナ窮迫シタ事情デア

ツテ、私共モ非常ニ苦シミマシタガ、本年ノ狀態ガ割合ニ順調ニ行ツテ居ルノハ、一ツハ滿洲カラノ輸入モ大體計畫ノ通りノ量ヲ齎シテ居リマスシ、第三國ノ輸入モ比較的順調ニ行ツテ居リマス、サウ云フ關係モアリマスシ、國內ニ於テハ麥類ノ増産モ出來テ、隨テソレ等ノ一部分ヲ利用サレテ居ル、斯ウ云フ關係ガアルト思ヒマスガ、其ノ外ニ從來ハ飼料トシテ利用ノ少カツタ部類ノ或ハ麥糠ノ類デアルトカ、或ハ「アルコール」ノ滓ノ類デアルトカ、色々ナサウ云フ新シイモノヲ利用スルコト云フコトニ骨ヲ折ツテ居ルコトモアラウト思ヒマス、將來ノ問題トシテハ、勿論食糧トシテノ部類トノ衝突ハ出來得ル限リ避ケナケレバナラスト考ヘテ居リマスガ、有畜農業ヲ經營シテ行クト、或ル程度ノ必要ナモノハヤハリ確保シテ行カナケレバナラストノ私共ハ甘藷ノ増産等ニ付テモ、自給飼料トシテハ濃厚飼料ニナルノデスガ、ヤハリ其ノ方ノ計畫ノ中ニ考ヘテ行クト云フ風ニ致シテ居リマス、尤モ現在ノ事情デアリマスカラ不足スル濃厚飼料ヲ補足スルノニ、粗飼料ノ素質ヲ改善シテサウシテ之ヲ補フコト云フコトニ骨ヲ折ラナケレバナラスト、即チ「サイロ」ノ普及ニ付テ本年モ豫算ニ百三十萬圓バカリ計上シテ居リマスガ、之ニ依ツテ大家畜等ニ付テハ濃厚飼料ノ非常ナ節約ガ出來ル、サウスレバ其ノ部分ニ於テ節約サレタモノヲ小家庭ニ廻スコトガ出來ルト云フ考ヘ方デ、是等ノ普及ヲヤツテ居リマス、斯クシテ各種ノ家畜ヲ飼ツタ實際ノ例ガ各地ニ示サレテ居リマスガ、山羊ヲ飼ツテ居ル地方等ニ於テ、昨年濃厚飼料ガ來ナクテ非常ニ困ツタ所デアツテモ、之ヲ使ヒマシタガ爲ニ家畜ノ育成ヲ完全ニ

シテ、サウシテ立派ナ成績ヲ擧ゲタト云フヤウナ例モ多アルノデアリマス、之ヲ普及シテ行ケバ補ヒ得ルト思ヒマス、是ハ一ツノ代用方策ト考ヘルベキデアリマセウ、又只今御審議ヲ願ツテ居リマス豫算ノ中ニアリマス石灰糞ノ利用デアリマス、糞類ト云フモノハ非常ニ消化ノ悪いモノデアリマスガ、アレバ石灰デ處理シマス、細胞ヲ破壊シテ利用率ガ高クナリ、澱粉等モ恐ラク倍位ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、サウ云フ方法ヲ講ジテ行キマス、ソレダケニ相當スル澱粉ガ濃厚飼料ニナクテモ濟ム、隨テソレニ依ツテ節約サレタモノハ食糧ナリ他ノ家畜ノ飼料ナリニ彈キ出シテ行ケル、斯様ニ代替方面モ努力シテ行ク、尙ホ青刈類ヲ栽培シテサウシテ其ノ一部ニ加工シテ濃厚飼料ニ代ヘルト云フヤウナ方面モ努力ヲシテ行ク、即チソレハ昨年カラ豫算ヲ得テ居リマスルガ、現在日本デ四箇所デアリマスガ、其ノ改良ヲ地方ノ農事試驗場或ハ種畜場ニ頼ミマシテ、サウシテソレカラ出タ種ヲ普及サセテ、サウシテ青刈ヲ利用スルヤウニスル、是ハ勿論空閑地ヲ利用スル場合モアリマセウシ、間作ヲ利用スル場合モアリマセウシ、色々ノヤリ方ハアルト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ凡ル方面カラ利用シ得ルモノヲ利用シテ、サウシテ供給ノ増加ヲ圖ツテ行カウ、斯ウ云フヤウナ考ヘデ居リマス、要約シテ言ヒマスレバ足リナイ所ヲ新資源ノ利用ニ依ルモ宜シ、今申上ゲタヤウナ代用ニ依ツテヤルノモ宜シ、又新タニ植栽ヲシテ増加シテ行ク方面モ考ヘテ、彼此レ自給ノ部面ヲ擴ゲテ行ク、斯ウ云フヤウニ努メテ行キタイト思ツテ居リマス

○坂下委員 農政局長ノ只今ノ御話ヲ聽イテ稍、安心ヲ致シマシタ、併シ家畜ノ飼料ヲ只今局長ノ御説明ニナリマシタヤウナ方法デ困ラセナイヤウニ致シマシテモ、濃厚飼料ガ高クレバヤハリ人間ノ食糧ニ喰込ムト云フコトヲ御考ヘテ願ハスト困ルト思フ、現在ノ米麥ノ價格ヲ其ノ儘據置クコトニスレバ、飼料ノ方ヲ何トカシテモウ少シ安く配給シ得ル方法ヲ考ヘテ戴カナイト、結局折角御苦心ニナツテ滿洲或ハ佛印、「タ」イ等カラ飼料ヲ持ツテ來ラレマシテモ、必ズソレハ使フニハ使ヒマスケレドモ、畜主カラ申シマスルト、家ニ在ル米ト比較シ、麥ト比較シテ、飼料ノ方ガ高イト云フコトニナリマスルト、使フニハ使ツテモ、其ノ間ニ麥、米ノヤウナモノニ結局喰込ムト云フコトニナリマス、詰リ人間ノ食糧ノ領域ヲ飼料ガ侵スコトニナル、唯滿洲其ノ他ノ國國カラ輸入スルコトニ專念スルバカリデナク、價格ト云フコトニモ相當御注意下サラスト、是程窮迫シテ居ル人間ノ食糧ニ喰込ム虞ガ現在ニ於テモアリ、私共ソレヲ目撃シテ居リマス、偶ニハ注意スルコトモアリマスガ、ソレハ勿體ナイコトハ存ジテ居リマスガ、ドウモ斯ウ云フ計算ニナル、アア云フ計算ニナルト云フコトデ、唯計算ニバカリ屈託シテ是程窮乏シテ居ル食糧ヲ家畜ノ飼料ニスルト云フコトガ各所ニ行ハレテ居ル、斯ウ云フコトモ食糧局長官ニハ一ツ御認識ヲ願ヒタイ、而シテ飼料ト食糧ノ價格政策ニ付テハ相當御考ヘ願ハナイト、折角色々ノ方法ニ依ツテ生産擴充ヲ進メテ見テモ、一方ニ侵サレルト云フコトガアリマスカラ、此ノ點モ御考ヘ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニモウ一遍農政局長ニ御尋ネシタイデスガ、ソレハヤハリ教員ノ増俸ニ絡ンデデアリマスガ、全國ノ各町村ニ駐シテ居リマス農業技術員ノ待遇ヲ小學校教員其ノ他ノ下級官吏ト同ジヤウニ、此ノ際何等カノ方法ニ依リマシテ、月十圓ヲ上ゲルト云フコトニ付テ何カ御研究ニナリマシタカ、其ノ點ヲ御尋ネシタイノデアリマス

○岸政府委員 小學校教員ノ増俸ニ伴ツテ産業職員、殊ニ農會等ノ産業職員ノ俸給ヲ上ゲルト云フコトニ付テハ、私ハマダ考ヘテ居リマセス、事情ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、モツト檢討シテ見ナイト分リマセヌノデ、此ノ場合即答致シ兼ねマス

○坂下委員 御考ヘニナラスト言ヘバソレマデデアリマスガ、小學校ノ先生ガ月額十圓位——ドウ云フ名前ニナリマスカ知リマセスガ、増俸サレルトハ是ハ確定的デアリマス、尙ホ其ノ他ノ下級官吏、或ハ町村役場ノ吏員ト云ツタヤウナ方面マデ恩典ニ與カルコトモ、恐ラク確實ダト私ハ思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ於テ、産業職員ダケガ取殘サレルト云フコトニナリマス、是モ今ノ食糧問題ノ緊迫シタ時代ニ、大分大キイ影響ガアルト思ヒマス、殊ニ今日ノ産業職員、就中各町村ニ居リマス農會ノ技術員ハ、米ノ統制ダトカ、或ハ肥料ノ統制ダトカ云フヤウナ事務的ノ仕事ニ忙殺サレテ居リマシテ、晝夜ノ別ナク働カナケレバ、事務的ノ仕事其ノ他指導ト云フヤウナコトハ迎モ出來ナイヤウナ狀態ニアルノデアリマス、是程働イテ居ル農業技術員ガ、他ノ方々ガ月額十圓ヅツ國家ノ力ニ依ツテ増俸サレルト云フ時ニ、此ノ人々ノミガ取殘サレルト云フコトニナリマス、是ハ大變ナ

大キイ問題ダト思フノデス、現ニ私ノ方ノ
静岡縣アタリニハボツ、其ノ話ガアルヤ
ウデアリマス、明日ハ私ノ所ヘサウ云フ問
題ニ付テ、技術員ノ諸君ガ代表者ヲ立デテ
陳情ニ來ルト云フ手紙モ今日入ツタノデア
リマス、是ハ相當大キイ問題ダト思ヒマス
カラ、今ハ御考ヘガアリマセヌデモ、衆議院
ニ提出サレテ居リマスル小學校ノ教員ノ増
俸ハ豫備金カラ拂ハレルノデヤナイカト思
ヒマスガ、他ノ下級官吏ノ増俸等ガ必ズ實
現スルノデアリマスカラ、ソレマデノ間ニ
一ツ十分御研究ヲ願ツテ、何等カノ方法デ
農業技術員モ人並ニ月額十圓増俸サレルト
云フヤウニ御骨折下サツテ、實現サレルヤ
ウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○岸政府委員 私先程ノ言葉ガ少シ足りナ
カツタト思ヒマスガ、勿論從來ノ狀態ト云
フモノヲ研究シマシテ、出來得ルナラバサ
ウ云フ風ナ方向ニ進ンデ行クコトヲ考慮シ
テ見タイト思ヒマス

○坂下委員 今度ハ外ノ問題ニ付テ食糧管
理局長ニ御尋ネシタイト思ヒマス、是ハ吉
植君カラ御質問ガアツタヤウデアリマスガ、
白米ト玄米ノコトデアリマス、此ノ頃私斯
ウ云フコトヲ聞イタノデス、是ハ産業組合
ノ方面カラ聞イタノデアリマスガ、白米ガ
馬鹿ニ儲カルト云フコトデス、一石七、八
圓ハ儲カルト云フ話デアリマスガ、一石デ
七、八圓儲カルト、白米ト玄米トノ値開キ
ガ少シ大キ過ギル、大變ニ儲カルノデ、産
業組合ガ米穀商ニ配給シマスノニ白米ニシ
テ配給スル、ドウシテ七、八圓儲カルカト
言ヒマス、糠、空俵、是ガ大變ナ金ニナ
ルト云フ關係デ、玄米ノ公定價格ト白米ノ
公定價格トノ開キノ外ニ、俵トカ糠ト云フ

ヤウナモノヲ加算致シマシテ、少クトモ一
石七圓ニナル、工合ガ好イノハ八圓ニナル
サウデス、四斗俵ヲ搗ケバ四斗一升ニナル
トカ、二升ニナルト云フ關係デ七、八圓ニ
ナルト云フノデ、玄米ニシナイデ白米ニシ
テ配給スルト云フヤウナコトガ出テ來タ、
サウナルト米穀商ノ方ハ儲カラナイカラ、
商工省カ何處カヘ陳情致シマシテ、産業組
合ノ方ヘ白米ニシテ配給シテハ困ルト云フ
ヤウナ御叱リガアツテ、現在ハ止メテ居ル
ト云フ御話デスガ、政府ノ方デハ斯ウ云フ
ヤウナ白米ト玄米トデ、産業組合ノ計算ニ
依ルヤウナ七、八圓ノ開キガアルト云フコ
トヲ御承知デヤツテ居ラレルノカドウカラ
御尋ネシタイノデアリマス

○湯川政府委員 白米ト玄米ノ問題ニ付キ
マシテハ、昨日デゴザイマシタカ色々御討
議ガゴザイマシテ、吾々モソレニ付キマシ
テ若干申述ベタノデゴザイマス、只今坂下
サンノ仰シヤルヤウナ石七圓ト云フヤウ
ナ、サウ云フ大キナ開キガアルカドウカト
云フコトニ付テハ、十分色々ノ事情ヲ検討
シテ見ナケレバナラヌカト思フノデアリマ
ス、唯世間一般ニ申シテ居ル所ニ依リマス
ト、白米ノ價格ハドウモ玄米カラ勘定スル
ト少シ高過ギルノデヤナイカト云フコトヲ
申シテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、
吾々ト致シマシテ色々白米商或ハ問屋、
卸賣、小賣等ノ經濟機構等ヲ能ク検討致シ
マシテ、其ノ間ニ取ルベキ相當ノモノガ加
算サレテ斯ウ云フコトニナルナラバ、是モ
サウ高イト言フ譯ニハ參ラナイカト思フノ
デアリマス、サウヤトラニ高イトハ私
共ハ思ツテ居リマセヌ、併シ白米ト玄
米トノ市販ノ價格ト申シマスカ、實際ノ取

引上ニ於テ現ハレテ來ルモノハ、是ハ
色々ゴザイマスノデ、一ツ檢討シテ見タイ
ト思ツテ居リマス、又事實私達トシテモ絶
エズ注意シテ居リマス、ソレデ實ヲ申シマ
スト、白米ニシタ方ガ得ダカラト云フノ
デ、組合ガ白米ニシタイト云フ風ナコトヲ
御希望ニナツテ、ソレニ對シテ商賣人ガ困
ルカラ白米ニシテハイケナイト云フコトヲ
コトラガ指示シタト云フヤウナ御話ガゴザ
イマシタノデアリマスガ、或ハ聽違ヒカモ知
レマセヌガ、吾々トシテハ此ノ扱ヒニ付キ
マシテハ、大體斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、米ヲ遠イ所ニ動かスニ付キマシテ、又
或ル期間之ヲ保存シナケレバナラヌト云フ
場合ニ、白米ニシテ之ヲ出荷致シマスゴト
ハ適當デナイト云フヤウニ思フノデアリマ
シテ、ヤハリ玄米デ扱ツタ方ガ宜イト云フ
風ニ思ツテ居リマス、サリナガラ最近ノ農
村飼料問題等ヨリ致シマシテ、糠ガ非常ニ
農村ニ必要ダ、玄米デ出スコトニ依ツテ糠
ガ自分ノ所ニ殘ラヌカト云フ風ナコトヲ
非常ニ問題ニサレテ居ル地方モアルノデア
リマス、吾々ト致シマシテハ寧ロサウ云フ
見地ヨリシテ、農村ニ於テ糠ガ入用ダト云
フ御事情ハ能ク理解出來マス、只今デモ政
府ノ現地拂下米ヲ商人ニ扱ハセマス場合ニ
於キマシテハ、其ノ地方々々、縣々ノ事情
ニ依リマシテ、糠ノ必要ナ地方ニ對シマシ
テハ或ル程度ノ糠ヲ現地ニ留保出來マスル
ヤウニ、白米ニ依ル出荷ト云フコトヲ承認
シテ居ルヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマ
ス、糠ノ問題ニ付キマシテハサウ云フ風ニ
考ヘテ居リマスノデ、私ノ方デ一概ニ、商賣
人ノ爲ニ兎ニ角儲ケヲ確保シナケレバナラ
ヌカラ、農村ノ方デ白米ニシテ出シタイト

云フノヲ抑ヘテ居ルト云フ風ナコトハゴザ
イマセヌ

○坂下委員 ソレデ白米ト糠ニ對スルコト
ハ分リマシタガ、併シナガラ御研究願ヒタ
イト思フ、御研究ノ結果、餘リ開キガアル
トスレバ白米ノ値下ヲスル必要ガアルト思
ヒマスカラ、是ハ御研究願ヒタイト思ヒマ
ス

次ハ此ノ頃各地ニ共精共販ト云フコト
デ、米屋ガ合同シテ精米所ヲ一箇所ニシ、
又外米トカ麥ヲ混ゼル場所ヲ一箇所ニシマ
シテ、サウシテ小賣店ヲ極度ニ減ラシテ、
配給スルト云フコトガ各所ニ流行シテ居リ
マス、斯ウ云フヤリ方ハ政府ノ方デ御獎勵
ニナツタノデアリマス、或ハ米屋自體ガ
自ラノ存立ノ上カラサウ云フコトヲ始メタ
ノデアルカ、其ノ點ヲ御尋ネシタイ

○湯河政府委員 共精共販ノ問題ハ、是ハ
今ノ米穀事情ガ窮迫シテ居リマスルノデ、
政府カラ特ニ獎勵シタトカ、民間カラ自發
的ニヤツタトカ云フコトデナク、モウ兩方
カラ此ノ配給機構ハ今ノ儘ハイケナイト
云フコトニナリマシテ、斯ウ云フ風ナ方向
ニ向イテ來テ居ルノデゴザイマス、更ニ申
上ゲマスレバ、配給ノ不圓滑ヲ、是正スル
トカ、或ハ消費ヲ適當ニ規正スルト云フコ
トヲ行政的ニヤツテ參リマス上ニ於テハ、
現在ノ卸賣商、小賣商ノ自由放漫ナ經營、
組織デハドウモ思フヤウニ參リマセヌノ
デ、行政的ニ申シマシテ、斯ウ云フ風ナ場
合ニ是非トモ企業者ノ合同ヲ圖ツテ貰フ、
或ハ共精共販ノ組織ヲ確立シテ貰フ、サウ
致シマシテ一ツ公共的ニ配給ノ出來マスル
ヤウナ、謂ハバ地域々々ヲ分チマシテ、東
京デゴザイマスレバ各警察署管内ニ配給區

域ヲ決メルト云フコトヲ致シマシテ、恆久的ニ配給ヲヤツテ貰ヒマセケレバ、ドウシデモイカスト云フ風ニ一方カラナツテ居リマス、行政上ノサウ云フ風ナ要請モゴザイマスシ、一方カラ申シマス、米屋サン自身ガ段々配給ガ窮屈ニナツテ參リマシテ、從來色々其處ニ儲ケガアツタ譯デアリマスガ、價格ハ公定サレテ來ル、配給數量ハ減ツテ來ルトスレバ、段々商賣ガセチ辛クナツテ參リマス、サウスレバドウシテモ從來ノヤウナ多人數ゴチャノシテ居テハイケナイカラ、之ノ企業合同ヲ圖ツテ、合理的ナ配給組織ニシテ行キタイト云フコトガ、又當業者自身ノ一ツノ希望デモアラウト存ジマス、ソコデ兩方カラサウ云フ機運ガ出テ參リマシテヤツテ居ルノデアリマス、各地デ斯ウ云フ機運ガ動イテ居ルコトニ付テハ、吾々ト致シマシテモ深甚ナル注意ヲ拂ツテ居リマス、併シナガラ嫌ガツテ居ル當業者ヲ無理ニ斯ウ云フ風ニヤラセテ居ルト云フ譯デハ決シテゴザイマセヌ、ソレカラ先程小賣店ヲ極度ニ減少シテト云フ御話ガゴザイマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ實ハ吾々非常ニ關心ヲ持ツテ居リマス、殊ニ大消費地等ニ於テ小賣商ノ數ガヤタラニ減リマスコトハ、一般市民ニ非常ナ不安ヲ與ヘル、只デサヘ配給ガ圓滑デナイ所ニ、一層不安ヲ來スト云フコトヲ懼レマシテ、此ノ點ニ付テハヤタラニ減ラスコトノナイヤウニ注意致シテ居リマス

○坂下委員 此ノ問題ハ私モ體驗上カラ大イニ考ヘガアルノデアリマス、都市ノコトハ存ジマセヌガ、田舎ノ方ニ參リマス、五、六箇町村ヲ「ブロック」ト致シマシテ、米屋ガ共精共販ヲヤル、サウシテ配給所ハ

五分ノ一、或ハ十分ノ一ト云フヤウニ減ラヌノデアリマス、ソコデ是マデノ行キ方ハ、食糧ノ配給ヲ市町村長ニ責任ヲ負ハセテヤツテ居リマシタ、産業組合ナリ或ハ商業組合カラ實物ガ來ルト、其ノ町村役場ヘ縣ノ方カラ何村ヘ何俵行ツタト云フ通知ガ來ル、ソレヲドノ位ツツ配給スレバ宜イカト云フコトヲ町村長ガ考ヘテ、米ガ切レルコトノナイヤウニ町村長ガ責任ヲ負ツテ心配シテヤツテ居ツタノデアリマス、ソレガ米穀商ニ言ハセマス、其ノ筋ノ德憑カラ共精共販ニナリ、五箇町村、六箇町村ヲ纏メテ一箇所デ精白ヲシ、方々ヘ分ケル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、是マデノ如ク町村長ガ其ノ町村ノ食糧ニ付テ、責任ヲ負ツテ配給切符ナリ通帳ナリヲ出スト云フコトト違ツテ、五箇町村モ三箇町村モ一ツ所デ共精共販ヲヤルノダトスルト、誰ガ一體共精共販ヲ監督スルノカド云フコトガ一寸分ラナクナルノデアリマス、一町村毎ニ町村長ガ責任ヲ負ツテ、在來ノ小賣商或ハ精米屋等ガヤツテ居ルモノヲ監督シテ、切符ヲ出ストカ通帳ヲ出シテ行ケバ是マデ通りニ行カレルガ、唯米穀商ノミノ考ヘニ依リ、彼等ガ生キンガ爲ニヤルノカ政府ノ德憑カラ存ジマセヌガ、彼等ノ言フヤウニ、政府ノ方カラサウヤレト云ツテ來タカラヤルノダト云フコトニナツテ來ルト、共精共販ヲヤル所ヲ一體誰ガ監督スルノカ、誰ガ責任ヲ負フカ、斯ウ云フ點ガ一寸私共ニハ明カデナイノデアリマス、共精共販ト個人ノ米穀商トハドウ云フ違ヒガアルカト申シマスレバ、其ノ町村内デヤツテ居リマス間ハ、何ニシテモ米ヲ配給スルノハ町村長ノ權限デアリマスカラ、町村長ノ言フコトヲ能ク

聞イテ呉レルノデアリマス、例ヘバ麥ヲ三割混ゼルトカ、四割混ゼル、或ハ混ゼテハイケナイカラ米一升ニ麥ヲ五合附ケテヤルトカ、三合附ケテヤル、斯ウ言ヘバ町村長ノ言フコトヲ能ク聞クノデアリマス、ソレガ三箇町村、五箇町村一緒ニナリマシテ、一ツ場所ニナリマス、何處デ監督シテ宜イノカ、誰ガ責任ガアルノカ分ラヌコトニナリマス、隨テ米ノ摺キ方モ粗糲ニナル、商人ノコトデアリマスカラ先ヅ營利第一主義、商人ハ儲ケルコトヲ營業ダ、儲ケルコトガ天職ダト考ヘテ居ル連中ノ集マリデアリマスカラ、結局共精共販ヲヤレバ精白モ粗糲ニナル、ソレカラ混ゼルモノモ多クナル、私ノ方ノ公定價格デハ白米一升四十五錢五厘デアリマスガ、ソレニ二割ノ外米ヲ混ゼテ四十五錢ト云フコトガ許可ニナツテ居ルノデゴザイマス、外米ハ大方三十五錢幾ラト思ヒマス、ソレヲ三割モ五割モ混ゼテ内地米ハ少クスル、或ハ麥ヲ混ゼルニ致シマシテモ、二割混ゼルト云フ値段ヲ出シテ居ルニ拘ラズ、三割モ五割モ混ゼテ、二割混ゼテ値段ニスル、ドノ位混ツテ居ルカ消費者ニハ能ク分ラヌ、ソレニ附込ンデ、共精共販ヲヤツテ胡麻化シテ、餘計儲ケルト云フコトガ相當各所ニ行ハレテ居リマスカ、之ヲ監督スル責任者ガナイト云フコトニナル譯デアリマス、デアルカラ私ハ共精共販必ズシモ惡イデヤナイガ、ソレナラバ其ノ共精共販所ノ仕事ヲ監督スル官廳ガナケレバナラヌト思ヒマス、常ニ監督ガ行届クヤウナ方法デ監督シナケレバ、結局消費者ガ胡麻化サレテシマフト云フ結果ニ陥ルト思フ、斯ウ云フ點ガ私ハ現實ノ問題トシテ非常ニ困ルト思フ、又極度ニ小賣店ガ少

クナルト、結局商人ノ方ハソレデ宜イカモ知レマセヌガ、消費者トシテハ非常ニ宜イ迷惑デアル、昨年私北海道ヘ行ツテ室蘭デ悲慘ナ狀況ヲ見テ參リマシタ、配給所ガ十分ノ一カ十五分ノ一ニ減ツタ關係ダト思ヒマスガ、八百人位ノ人ガ配給所ノ前ニ竝ンデ居リマス、サウシテ一升カ二升ノ米ヲ貰フノニ半日掛ラナケレバ貰ヘナイ、デアルカラドウシテモ配給所ヲ元ノ通りニ復活シテ貰フカ、或ハ少クモ現在ノ三倍位ニ殖ヤシテ貰ヒタイト云フ陳情ガアリマシタ、札幌ヘ行ツテモ函館ヘ行ツテモサウ云フ狀況デアリマス、サウ云フヤウニ八百人モ竝ンデ一升カ二升ノ米ヲ貰フニ半日遊ブト云フ狀況ヲ具サニ見テ參リマシタ私トシテハ、田舎ノ努力ノ足ラナイ、人手間ノ足ラナイ現在、米穀商ノ都合ニ依ツテノミドンノ小賣商ヲ整理シテ、一町村ニ一箇所或ハ二箇所ト云フヤウナコトニナリマス、消費者ノ方面ガ非常ナ迷惑ヲ致シマス、又努力ノ調節ノ上カラ言ツテモ國家ニ非常ナ損害ヲ與ヘルモノダト思ヒマス、此ノ點ニ付テ當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイ

○湯河政府委員 共精共販ノ問題ガ、今御話ノゴザイマシタヤウナマズイ結果ニナルコトハ、ヤリ方ニ依ツテハサウ云フ心配ガ本當ニアルノデゴザイマス、吾々ト致シマシテモ慎重ニ其ノ點ニ付テ考慮シテ居ル積リデゴザイマス、實ハ私共ノ方デ直接色々ノコトヲヤツテ居リマス、ソレハ六大都市ノ共精共販ノコトガ相當重要問題デゴザイマス、又此ノ六大都市等ニ於キマシテ通帳制ノ所謂割當制ノ消費規正ヲヤツテ行クコトガ必要デゴザイマス、其ノ必要上吾々ノ方カラ直接六大都市ノ共精共販ノヤ

リ方等ニ付テ、色々特別ニ相談シテヤツテ居ル譯デアリマス、其ノ以外ノ地方ノ小都市以下ノ共精共販ハ、ソレハ其ノ地方長官ノ見ル所ニ依リマシテ、色々指導シテ居ルモノト承知致シテ居リマス、ソレデ只今御話ノゴザイマシタヤウナ行キ方ハ、成程承ツテ居リマス不都合ガ多イダラウト思ハレマス、御指摘ノ具體的ノ實例等ヲ承リマシテ、私共ノ方ト致シマシテモ其ノ地方長官ト能ク相談シテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、大體ノコチヲ考ヘ方カラ申シマスレバ、ヤハリ共精共販ヲヤツテ行ク上ニ於キマシテ、今御話ノゴザイマスヤウニ、折角市町村ガ中心ニナツテ色々配給上ノ指圖ヲシテ居リマス、ソレガ五六箇町村一緒ニナツタ爲ニ誰ガヤルカ分ラヌト云フコトニナツテ、商人ガ勝手ナコトラス、或ハ怠ケル、サウシテ消費者ニ迷惑ヲ及ボスト云フヤウナコトニナツテハ面白クナイト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハ地方長官ニ考ヘガアルト思ヒマス、何レ合同致シマシタモノニ對スル監督ハドウスルカト云フコトニ付テハ、地方長官ノ考ヘモ聽イタ上デ協力シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレデ一例ヲ以テ申上ゲマスレバ、大都市ニ於キマシテハ、大體共精共販ノ區域ト云フモノヲ、具體的ニハ警察ノ管内位ニ狹ク決メマシテ、サウシテ行政的ノ色々組合ノ監督權ハ地方長官ニアルト致シマシテ、實際際違ヒナク配給サレト云フコトヲ監視スル役目ハ警察署長ニヤツテ貰フト云フ考ヘスヲ持ツテ居リマス、食糧ノ配給ト云フコトハ市民ノ生活、延イテハ治安ト云フコトニ非常ニ深い關係ガゴザイマスノデ、特ニ警察ノ方ノ監督ヲ嚴シシテ貰フト云フ

ヤウナコトモ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ先程モ申シマシタヤウニ、企業合同、共精共販ヲ致シマス上ニ於キマシテ、小賣商ガ非常ニ減ツテ、消費者ニ御迷惑ガアルト云フ風ナコトハ、是ハ如何ニ小賣商ガソレハノ打算カラサウ云フコトヲシテ居ルトシマシテモ、是ハドウモ許サヌ譯ニ行カヌコトデアリマシテ、此ノ配給所ヲ適當ナル數ニ整理スルト云フコトハ無論必要デゴザイマスガ、ヤタラニ減ラシマシテ、消費者ガ皆買ヒニ行カナケレバナラス、或ハ店ノ前ニ列ヲ作ルト云フ風ニナルコトハ、洵ニイケナイコトト思ヒマス、吾々ノ指導シテ居リマスコトハ、大體從來ト變リナイト云フカ、或ハ從來ヨリモヨリ一層適切ナ規則立ツタ配給ガ出來ル、殊ニ東京ナドニ於キマシテハ、無論ソレハノ家庭ニ配達スルト云フコトヲ原則トシテヤルト云フ風ナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ御注意ノ點ハ能ク具體的ノ問題ニ付キマシテ考ヘテ見タイト思ヒマス

○坂下委員 御話ヲ聽イテ大體諒承致シマシタガ、此ノ點ハ十分御注意願ヒタイト思ヒマス、政府ガ干涉シタリ、或ハ大キナ商人ガ小キナ商人ヲ壓迫シテ、共精共販ヲヤツテ消費者ニ不都合ヲ與ヘルト同時ニ、失業者ヲ出スト云フコトハ、相當大キナ問題デヤナイカト思フ、斯ウ云フ統制時代ニナリマシテ、米屋ガトモ商賣ニナラヌト云フノデ、自發的ニ轉業シタリ廢メタリスル者ガアル、是ハ已ムヲ得ナイケレドモ、政府ガ干涉シタリ、或ハ大キナ商人ニ壓迫サレテ、續々米屋ノ失業者ガ出來ルト云フコトハ、非常ニ困ツタ問題ダト思フ、ソレヨリモ餘リ干涉ガマシイコトヲシナイデ、自

然ニ合理化サセテ行ク方ガ宜イト思ヒマス、其ノ點ハ消費者ノ便、不便ヲ御考ヘニナルト同時ニ、餘リ配給所ヲ減ラシマシテ失業考ヘナケレバナラス問題ダト思ヒマスカラ、此ノ點モ十分御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ田舎ノ共精共販ト云フコトニ付テハ、監督者ヲ明カニシテ貰ヒタイ、結局警察單位ナラ警察單位デ、其ノ町村ノ駐在所デモ宜シ、誰デモ宜イカラ、嚴重ナル監督者ヲ置イテ、胡麻化シテモ出來ナイシ、配給モ公平ニヤルト云フコトガ出來ルヤウニシナケレバ、是ハ絕對ニ弊害ガアルト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ各府縣ヘ十分御注意シテ戴キタイト思ヒマス

次ニ私ハモウ一點御尋ネシテ見タイト思フノハ、配給ノ問題デアリマスガ、ドウモ配給機構ガ一元的デナイノデ、米ト言ハズ、肥料ト言ハズ、其ノ他ノ物資ト言ハズ、總テガ圓滑ニ配給サレナイデ、非常ニ日數ガ掛リ、手數ガ掛リ費用ガ掛ルト云フデアリマスガ、商工省ハ農林省トハ大マカナ打合セヲシテ、集荷ハ産業組合ガヤル、配給ハ商業組合ガヤルト云ツタヤウナ大マカナ所デ、前ニ御話合ヒガ付イタト云フコトデアリマス、併シ集荷ハ産業組合ガシテ、配給ハ商業組合ガスルト云フコトダケデハ、私ハ唯從ラニ手數ヲ増スダケデ、産業組合ト商業組合トノ利害關係、或ハ利益關係カラ言ヘバ、其ノ兩方ガ宜イダラウト思ヒマスケレドモ、需者消費者ト云フ側ハ甚ダ迷惑デアリマス、産業組合ガ集荷スルト申シマスレバ、町村ノ産業組合ガ集荷シテ、縣ノ産業組合ヘ移ツテ行ク、縣ノ産業組合ハ今度ハ國ノ全購聯トカ全販聯ト云フ方ニ移ツテ行ク、ソレガ

今度ハ米デ申シマスレバ、全米聯、縣米聯、縣米聯カラ又地方ノ米穀商業組合、ソレガ町村ニ行ク、詰リ二廻リ廻ツテ行ク、産業組合一本ナラバ産業組合ダケデ行ク、商業組合一本ナラバ商業組合ダケデ行ケルモノガ、配給ト集荷ヲ別々ニシタ爲ニ、グルグルト一廻リシナケバ行カナイ、ソレハ廻ルノモ宜シイ、唯帳簿ノ上ヤ机ノ上デ廻ルダケナラソレデ宜イガ、ソレガ皆只デハ濟マナイ、皆口錢ヲ取ル、産業組合ニシテモ、商業組合ニシテモ只デハ濟マス、私ノ知ツテ居ル範圍デハ、米一俵デ六十錢掛リマス、驚ク勿レ一俵六十錢デス、ソレガ而モ自分ノ町村カラ供出シタ米ヲ其ノ自分ノ町村ノ商人ニ持ツテ行クダケノコトデアツテ、帳簿ガ一廻リグルグルト廻ル此ノ費用ガ六十錢デアル、詰リ町村ノ米穀商ハ米ヲ十俵配給ヲ受ケタ其ノ米ガ、自分ノ村カラ供出シタモノデモ、或ハ隣リ村カラ供出シタ米デアツテモ、此ノ十俵ニ對シテ米穀商組合ノ方デ一俵ニ付キ六十錢拂ハナケレバナラス、是ハ一體ドウシテ此ノ六十錢ナンテモノヲ拂フカト申シマス、話ヲ聽イテ見ルト、無理モナイ話デアル、グルグルト一廻リ廻ル、其ノ廻ル所デ皆ソレハノ手數料ヲ取ル、斯ウ云フコトヲ一方デシテ居ツテハ、消費者モ迷惑致シマスガ、更ニ農民モ甚ダ不愉快デゴザイマス、例ヘバ私が供出シタ米ヲ隣リノ商人ニ持ツテ行ク、私ノ家カラ出シタ米ハ十六圓何ガシト云フ公定價格デ、結局安イノト言ハレデ居ル其ノ米ガ、隣リノ米屋ニ行キマス時ニハ、組合ニ出スノガ六十錢、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ一方又産業組合ノ倉庫ニ保管サレテ居ツタモノヲ——現在デハ國ガ運賃トカ、

倉敷料トカ、或ハ金利ト云フモノヲ補給致シマスカラ、今マデハ産業組合ノ倉庫ニアツタセウガ、今マデハ産業組合ノ倉庫ニアツタモノヲ取りマス、非常ニ高イモノニナリマス、白米ニシテモ缺損ダト云フヤウナ矛盾ガアツタ、玄米デ一俵二十圓以上、米穀商ノ手ニ入リマスノガ、今申シマシタ六十錢、金利ガ入り、倉敷ガ入り、公定價格デ此ノ米ガ米屋ノ手ニ入ルノガ二十圓以上ニナル……

○村上委員長 坂下サン、ドウゾ簡單ニオヤリ下サイ

○坂下委員 承知致シマシタ、サウ云フヤウナ拙イ結果ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ配給機構ヲ一元のニスルヤウナ御考ヘハナイデセウカ、殊ニ今度ハ食糧局ト云フモノガ出來マシテ、商工省トノ配合ヒモ啞合ヒモナイコトニナルノダカラ、是ハ肥料トカ或ハ食糧ト云フヤウナモノハ、一本建ニシテ配給スルト云フヤウナコトニ御願ヒシタイト思ヒマスガ、當局ノ御考ヘハドンナ御考ヘデアリマスガ、オ肚ヲ聽イテ見タイノデアリマス

○湯河政府委員 只今ノ米ノ配給ノ點ニ付テハ私カラ御答ヘ申上ゲ、他ノ物資ノ點ニ付キマシテハ、ソレハ係リノ方ガ居ラレマスカラ、其ノ方カラ御答ヘガアルコトト存ジマス、米ノ配給ニ付テハ今坂下サンカラ御話ノアリマシヤウニ、商工省トノ間ニ事務ノ打合セヲ致シマシタ場合ニ、兩者協定ヲ致シマシテ一ツノ解決ヲ見テ居リマス、ソレヲ具體的ニ表示シマシタノガ臨時米穀配給統制規則デゴザイマシテ、ソレハ昨年ノ八月ニ規則トシテ出テ居リマス、ソレハ今御話ノアリマシヤウニ集荷ハ産業

組合系統ニ依ツテヤリ、分散配給ハ商業組合系統ニ依ツテヤルト云フコトニ豫定シテ居ルノデアリマス、ソレデ大キナ米ノ動キハ、ヤハリ是デヤツテ行クコトガ宜イコト今デモ確信シテ居リマス、詰リ生産地カラ出マシタ米ガ消費地ニマデ持ツテ來ラレ、消費地ニ於テソレノ消費者ノ手ニ渡ル、此ノ過程ヲ糺シテ見マスレバ、只今申シマシタヤウニ集荷ノ方ハ産業組合系統、即チ生産者團體ガ之ヲ擔任スル、サウシテソレガ分散配給サレマス時ニハ、是ハ何トシテモ商人系統ニ依ツテヤラセルノガ一應宜イト云フ風ニ私達ハ思ヒマス、無論兩者共ニ例外ガ若干ゴザイマス、併シ原則ハ此ノ建前ヲ堅持シテ行ツテ宜イトテフ風ニ只今デハ思ツテ居リマス、今御話ノ出マシタヤウニ、一元のデナイ爲ニ非常ニ不圓滑デアル、又其ノ間ニ組合ガ非常ニ大キナ口錢ヲ取ルノ事實ニ馬鹿々々シイト云フ、斯クノ如キコトハ實際伺ツテ見マスト非常ニ馬鹿々々シイト思フノデアリマス、ソコデサウ云フコトハ出來ルダケ避ケル方ガ宜イト云フ風ニ思フノデアリマス、併シ此ノ配給機構ヲ具體的ニドウ指導スルカト云フコトハ、ソレハ中々理窟通リニ參ラヌカト思フノデアリマス、ソレデ先程申シマシタヤウニ產地カラ消費地ニ向ツテノ動キハ此ノ規則通りデ宜シイトデアリマスガ、尙ホ此ノ規則ニ現ハレテ居リマスヤウニ例外ガアル譯デアリマスガ、ソレヲ具體的ニドウ云フヤウニ適用スルカト云フコトハ、地方長官ノ指導監督ニ實ハ任セテアルノデアリマス、此ノ規則ノ上ニ於キマシテモ、產地ニ於テ産業組合ガ其ノ集マツタモノヲ其ノ區域内ノ消費者ニ直接賣ルコトガ出來ル、即チ例外的

ニ賣ルコトガ出來ルト云フ規定ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、分散配給ハ必ズシモ商業組合ニ一元化シタト云フ譯デハナイノデアリマス、併シ今申シマシタ例外ヲヤトラニ廣ク認メマシテ、現存ノ小賣商ノ生活ヲ無暗ニ壓迫スルト云フコトモ、行政上宜シクナイカト思ヒマス、サウ云フヤウナ措置ニ付キマシテハ、一方原則ヲ立テ置イテ、其ノ例外ヲ適當ニ運用シテ行クコトガ必要デゴザイマシテ、是ハ行政官廳ノ方ニ十分ソレヲ旨クヤラシテ行クコト云フコトニ依ツテ解決スルヨリ外ナイト思ヒマスガ、現段階ニ於キマシテハソレデ宜イト思ヒマス

○坂下委員 重政サンニ、米以外ノ肥料トカ物資トカ云フモノノ配給ヲ何トカ一本建ニスル方ガ宜イ、現在ノヤウナ機構デハ非常ニ手間取ツテ困ル、圓滑ニ配給ガ出來ナイト云フヤウナ御考ヘハナイデセウカ、一ツ此ノ點ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○重政政府委員 肥料其ノ他ノ農林水産業用ノ資材ハ、米トカ麥トカ云フヤウナ農家ノ生産致スモノノ配給ト云フモノト趣キガ違ツテ居ルノデアリマス、詰リ集荷ト云フ部面ガナイ譯デアリマス、直チニ製造工場デ生産サレル品物ヲ一纏メニシテ、之ヲ商業組合ヲ通ジ、或ハ産業組合ヲ通ジテ配給シテ居ルノデアリマス、今朝程モ石坂サンカラ御尋ネガアリマシテ、私述ベマシタ通りニ、生産用資材ノ配給統制ハ一面ニ於キマシテハ割當制度ヲヤル、其ノ割當制度ニ對應致シマシテ、何ト申シマスガ、資材ノ運搬ヲスル、荷物ノ受渡シヲヤルト云フ部面ト兩様ガアルト思フノデアリマス、只今ノ御質問ハ物ヲ運送

スル、詰リ受渡シヲスル部分ニ付テノコトト考ヘルノデアリマスガ、無論理想的ニ申シマスレバ、一本ノ機關ヲ通ジテ物ヲ運送シ、受渡シヲシテ行クコト云フコトガ宜イト考ヘテ居リマスケレドモ、是ハ肥料ニ致シマシテモ從來カラ長年ノ取引ノ慣行ガアツテ今日ニ至ツテ居リマスルシ、ソレカラ物ガ少クナツテ已ムヲ得ズ物資ノ配給統制ヲ實行致シテ居リマスノデ、出來得ル限り犠牲ヲ少クスル、謂ハバ從來ノ取引ノ方法ニ變更ヲ加ヘズシテ配給統制ガ實行サレテ行ケバ一番結構ナコトデアルト考ヘルノデアリマスガ、是ハ中々サウ云フ風ニ參リマセヌカラ、色々ノ機構ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、其ノ際ニ於キマシテモ成ベク犠牲ヲ少クシテサウシテ目的ヲ達スル、即チ物資配給ノ要點ガ、必要ナル時期ニ必要ナル場所ニ於テ適正ナ量ヲ受渡シヲスルト云フコトガ、物資配給ノ第一義デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ目的ヲ、出來ルダケ犠牲ヲ少クシテ達スルコトガ最モ宜シイトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスノデ、理想的ニ申シマスレバ一本デ流スト云フコトガ一番宜シイト考ヘラレルノデアリマスガ、只今申上ゲタヤウニ犠牲ヲ少クスルト云フ意味合カラ致シマシテ、而モ其ノ物資配給ノ目的ヲ到達スルト云フ觀點カラ致シマシテ、現在ノヤウナ機構ニ於テ物資ノ配給ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論肥料ノ配給ニ付テ申上ゲマシテモ、産業組合系統ト、商業組合系統ト兩道ヲ通ツテ居リマスノデ、色々其ノ間ニ適當デナイコトガ行ハレタヤウナ事情モアツタノデアリマスガ、是ハ先年來其ノ弊害ヲ除去スル意味

ニ賣ルコトガ出來ルト云フ規定ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、分散配給ハ必ズシモ商業組合ニ一元化シタト云フ譯デハナイノデアリマス、併シ今申シマシタ例外ヲヤトラニ廣ク認メマシテ、現存ノ小賣商ノ生活ヲ無暗ニ壓迫スルト云フコトモ、行政上宜シクナイカト思ヒマス、サウ云フヤウナ措置ニ付キマシテハ、一方原則ヲ立テ置イテ、其ノ例外ヲ適當ニ運用シテ行クコトガ必要デゴザイマシテ、是ハ行政官廳ノ方ニ十分ソレヲ旨クヤラシテ行クコト云フコトニ依ツテ解決スルヨリ外ナイト思ヒマスガ、現段階ニ於キマシテハソレデ宜イト思ヒマス

○坂下委員 重政サンニ、米以外ノ肥料トカ物資トカ云フモノノ配給ヲ何トカ一本建ニスル方ガ宜イ、現在ノヤウナ機構デハ非常ニ手間取ツテ困ル、圓滑ニ配給ガ出來ナイト云フヤウナ御考ヘハナイデセウカ、一ツ此ノ點ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○重政政府委員 肥料其ノ他ノ農林水産業用ノ資材ハ、米トカ麥トカ云フヤウナ農家ノ生産致スモノノ配給ト云フモノト趣キガ違ツテ居ルノデアリマス、詰リ集荷ト云フ部面ガナイ譯デアリマス、直チニ製造工場デ生産サレル品物ヲ一纏メニシテ、之ヲ商業組合ヲ通ジ、或ハ産業組合ヲ通ジテ配給シテ居ルノデアリマス、今朝程モ石坂サンカラ御尋ネガアリマシテ、私述ベマシタ通りニ、生産用資材ノ配給統制ハ一面ニ於キマシテハ割當制度ヲヤル、其ノ割當制度ニ對應致シマシテ、何ト申シマスガ、資材ノ運搬ヲスル、荷物ノ受渡シヲヤルト云フ部面ト兩様ガアルト思フノデアリマス、只今ノ御質問ハ物ヲ運送

ヲ以テマシテ、村農會ヲ中心ニシテ、村農會ガ諸種ノ計畫ヲ樹テ、サウシテ村農會ノ指揮ニ從ツテ、産業組合ナリ、商人ナリガ肥料ノ受渡シヲスルト云フコトニ致シタノデアリマス、一應中樞機關——國全體ノ配給機關トシテハ一ツデアル、ソレカラ縣、村マデノ途中ガ産業組合ト商業組合ノ兩道ニナツテ居リマスガ、村ニ至リマシテ更ニソレガ一ツニナルト云フ機構デ、現在ハ配給ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ情勢ニ應マシテ出來ルガ機構ノ整備ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○坂下委員 今ノ配給機構ガドウモ私共ハ現在ノ儘デハ工合ガ惡イト思ヒマス、産業組合ト商業組合ト云フモノヲ、上ノ方ガ一本ニナツテ眞中ガ二本ニナツテ、終ヒニ一本ニナルト云フヤウナコトヲナサライナデ——商業組合員ニ失業ガアツテハ惡イトカ、祖先傳來ノ仕事ヲ失ツテハ惡イト云フナラバ、品物ノ中ノ商人向ノモノハ商業組合一本デ流シ、産業組合向ノ物ハ産業組合一本デ流スト云フ風ニ、何トカ物ニ依ツテ調節シテ、一元化スルト云フヤウナコトヲ御研究願ヒタイト思ヒマス、ソレダケ御願ヒシテ私ノ質問ヲ終リマス

○北(勝)委員 一寸此ノ問題ニ關聯シテ——吾々ノ方デ産業組合ト商業組合ノ兩方デ肥料ヲ配給シテ居ルノデスガ、昨年ハ御承知ノヤウニ米ノ大不作デアリマシタ、サウシタ結果ハ商業組合ノ方デ掛賣リシタノガ取レナクナツタ、掛賣リガ取レナクナツタ爲ニ、今年ハ肥料ハ自分ノ方デ扱フケレドモ個人ニハ賣リタクナイ、斯ウ云フ問題ガ起ツテ來タ、斯ウ云フ關係カラ言ヒマス、利益ノアル内ハ扱ツテ呉レルケレドモ、掛

金ガ取レナクナツタラ扱ツテ呉レナイト云フ問題ガ起ツテ來ル、産業組合ダツタラ生産者團體ダカラ、如何ニ掛倒レニナラウト、十年掛ツテモ取ラウト云フ方針デアリマスガ、商人ハ之ヲヤツテ呉レナイ、斯ウ云フ話ガ實例トシテ起ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點御考慮ヲ願ハナケレバイクマイト思フ、實際問題トシテ困ルト思フノデアリマス

○重政政府委員 實際ノ問題ト致シマシテハ色々「ケース」ガ起ツテ來ルト考ヘマスガ只今北サシノ御話ノヤウナ事情ガアル地方ニ於キマシテハ、適當ニ配給ノ筋道ヲ變更スルコトモ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、唯私達ト致シマシテハ商業組合ナラ商業組合ト云フモノガ、農家各個人ニ勝手ニ肥料ノ受渡シヲスルト云フコトハヤラシクナイ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ農會ガ中心ニナツテ、農會ノ指令ニ依ツテヤルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ又各個人ニト云フヨリカ、成ベク農村實行組合等ヲ通ジテ個人ニヤラシタイト云フヤウナ考ヘモ持ツテ居ルノデアリマス、兎ニ角肥料ヲ扱ツタモノガ、金ガ取レナイカラ農家ニヤラスト云フヤウナ商業組合ガアリマスレバ、是ハ縣ニ其ノコトヲ御傳ヘ願ヒマスレバ、縣知事ハ適當ニ處分ガ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ方法ヲ御執リヲ願ヒタイト考ヘマス

○村上委員長 小笠原君

○小笠原(八)委員 既ニ他ノ同僚諸君カラ澤山御質問ガアリマシタノデ、私ハ比較的簡單ニ二三ノ重要問題ニ付テ、御列席ノ三人カラ伺ヒタイト思ヒマス、先ツ此ノ肥料

ノ問題ニ付テ資材部長ニ御伺ヒ致スノデアリマスガ、米麥ヲ初メ其ノ他ノ農産物、擴充計畫ト云フコトハ、是ハ今日肥料ト人ノ問題ニ重點ヲ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、而シテ肥料問題ニ付テ政府ノ方デハ化學肥料ノ増産ヲ圖ラレテ居ルト云フコトヲ昨日此處デ承タノデアリマスガ、併シ之ニ付テハ中々吾々同僚ノ其ノ道ニ明ルイ方々ハ、増産ドコロデハナイ、相當減産ニナツテ居ルト云フヤウナ心配ナ御話ガアルノデアリマスガ、兎ニ角政府ノ御話ヲ信賴スルノデアリマス、併シナガラ事變ガ續ク限リハ、平時ノヤウニ潤澤ニ配給ヲ受ケルコトハ困難デアルコトハ勿論デアリマシテ、年々是ハ減少シテ行クノデハナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ農家ノ方ニハ、前ニモ他ノ委員カラ申サレタ通り、肥料ナクシテ増産ノ獎勵ヲセラレルト云フコトハ大キナ矛盾ガアルノデアリマス、ソレデナクテモ今日農家ノ方ニハ、只今モ申サレタヤウニ、物ノ配給ノ不圓滑、米買上代ノ不拂等ニ對シテ、色々不平ガ重ナツテ居ルヤウナ狀況ニアルノデアリマス、就中最モ生産ニ影響ノアル所ノ問題ハ、肥料ノ不足デアルコトト、肥料ノ配給ノ不圓滑等ガ最モ大切ナコトト思フノデアリマス、是等ノモノヲ解決スルニハ色々アルデアリマセウガ、兎ニ角手ツ取早イモノハ、自給肥料ノ増産ニ俟タナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレデ政府ノ方デモ自給肥料ノ増産計畫ヲ立テラレテ居ルヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、一體自給肥料ノ増産計畫ト云フノハドウ云フ御計畫デヤラレテ居ルノデアリマスガ、増産ノ數量ハどれ位見込ンデ居ラレカト云フコトヲ、具體的ニ御説

明ヲ御願ヒシタイノデアリマス

○岸政府委員 自給肥料ノ増産ハ、私ノ方デヤツテ居リマスカラ私カラ申上ゲマス、肥料ノ供給ニ於テ自給肥料ガ購入肥料ト相竝ンデ非常ニ重要デアルコトハ御話ノ通りデアリマス、之ニ對シテ現在五百万圓位ノ經費ヲ計上シマシテ、或ハ堆肥槽、堆肥盤蓄草所等ノ改善ヲヤツテ、自給肥料ノ確保ヲ圖ツテ行クト同時ニ、自給肥料ノ品質ノ改善ヲシテ行クト云フ風ニ努メテ居ル譯デアリマス、其ノ計畫ノ數字ニ付テハ、丁度農産課長ガ來テ居リマスカラ、農産課長カラ御話ヲ申上ゲマス

○森說明員 自給肥料ノ増産ニ付キマシテハ綠肥、堆肥、其ノ他ノモノニ分ケテ居リマシテ綠肥ハ主トシテ紫雲英ト間作ノ青刈大豆ノ増殖ヲ計畫致シテ居リマス、紫雲英ニ付キマシテハ主ニ農家ノ共同自家採取ヲ獎勵致シマシテ、専ラ新ナ栽培地方ノ面積ヲ擴張致シテ參リタイ計畫ヲ致シテ居リマス、青刈大豆ハ麥ノ間作、桑園、果樹園等ノ間作ト致シマシテ獎勵致シテ居ルノデアリマス、堆肥ニ付キマシテハ、主ニ堆肥盤ノ設置獎勵、其ノ他各種ノ増産促進ノ指導ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ以外ノ雜肥料、灰ノ蒐集等ニ付キマシテハ、灰溜ノ建造ノ獎勵ヲ計畫致シテ居リマス、尙ホ其ノ他家畜ノ糞尿ヲ十分ニ效果的ニ利用致シマス爲ニ、家畜舎ノ床改造、灰溜ノ設置等ニ助成ヲ致シテ居リマス、其ノ他野草ヲ刈ル爲ノ原野ノ野草改良、是ハ山林局ノ所管ト致シマシテ小規模デアリマスガ、野草改良ノ施設モ致シテ居リマス、今申上ゲマシタ各種ノ増産施設ハ、近年引續イテ獎勵ヲ致シテ居ル事項デアリマス、其ノ他二十六年

度ニ於キマシテハ、大都市ノ屎尿ヲ農村ニ還元致シマスル一ツノ方法トシテ、色々考究ヲ致シタノデアリマスガ、運搬ノ爲ノ「ガソリン」ノ不足其ノ他ノ理由ニ依リマシテ、實ハ十分ノ計畫ガ出來得ナカツタノデアリマスガ、農村ニ新タニ四千箇所ノ屎尿溜ノ築造ヲ致シマスル爲ニ、助成費ヲ新タニ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他自給肥料ノ増産、及ビ施肥ノ改善ノ爲ノ實地指導等モ致シテ居リマシテ、前申シマシタ物の助成ノ外ニ、サウ云フ方法ニ依リマシテモ出來ルダケ自給肥料ノ増産ヲ圖リタイ計畫ヲ致シテ居リマス、尙ホ地方ニ依リマシテ例ヘバ池ノ沼、或ハ用水路ノ溝泥ヲ揚ガマスルトカ、或ハ湖沼ノ水草ヲ採ルト云地方的ニ實行シ得ル自給肥料増産ノ方法モアリマスカラ、サウ云フ實行ニ付キマシテモ、地方ノ事情ニ依リマシテ助成ヲスルコトニ致シテ居リマス

○小笠原(八)委員 能ク分リマシタ、ソコデ自給肥料ノ増産獎勵ト同時ニ、此ノ自給肥料ノ利用ノ研究デアリマス、之ヲ有效適切ナラシメル爲ニ、無駄ヲ排除スルヤウナ研究ヲ今ヤラレテ居ルカドウカ、又ヤラレテ居ルトスルナラバ、其ノ指導方法ヲドウ云フ風ニ御ヤリニナル積リカラ伺ヒタイノデアリマス、例ヘテ見マスレバ、堆肥デアツテモ堆肥ノ儘雨曝シニシテ居ルト云フコトデアルト、肥料價值ハ減少スル、或ハ厩肥デアツテモ大動物デアルト、糞ト尿ト區分ケヲシナケレバドウシテモ肥料價值ハ減少スルノデアリマス、之ヲ區分ケヲシテ處理スルト云フヤウニシテ肥料價值ノ増加ヲ圖ル、斯ウ云フコトノ研究、殊ニ最モ御研究ヲ願ハナケレバナラヌコトハ、是ハ資材

部長ニモ關係ガアルガ、化學肥料ノ不足ヲ、堆肥ニ依ツテ補ハウトスル場合ニ、化學肥料ト堆肥トヲ如何ナル量分ニ依ツテ取混ゼヲシタ時ニ於テ、如何ナル植物ニ如何ナル效力ヲ發スルノダト云フヤウナ研究ハ、今日最モ大切ナ場合ダト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ堆肥ノコトモ、數量ヤ其ノ他ノコトニ對シテハ、ヤハリ對策關係ノ方々ガ能ク内狀ヲ御存ジデアツテ、サウシテ是ト數量トヲ對照シテ増産ヲ圖ラレテ、サウシテ農村ノ方ニ是ダケノ配給ヲスルナラバ、此ノ植物ニ適當デアルト云フ所マデ御研究ナサレナイト云フコトハ、刻下ノ時局ニ對シテ肥料政策ガマダ徹底ヲ缺イテ居ルヤウナ感ジガ致シマスノデ、ソコデ此ノ堆肥ノ時期等モ、特ニ其ノ農産物各々ニ依ツテ、何時ノ時期ガ最モ宜シイノカト云フヤウナコトマデ、研究スル機關ガナケレバナラスト思フノデアリマス、斯ウ云フ方法ニ付テハ、何カアナタ方ノ方ニ今日ノ機關トシテ設ケラレテ居ルカト云フコトヲ伺フノデアリマス、從來ノ農家ニ致シマスルト、厩肥ノ利用ニ付キマシテモ、多分ニ肥料價值ヲ無駄ニシテ居ルヤウナ關係ガアリ、又設備等モ不完全デアルト云フヤウナ關係モアリマスノデ、サウ云フコトニ付キマシテモ何カ御計畫ガアラレマスカ、アラレルトスレバ之ヲ承ラナケレバナラストデアリマスガ、特ニ長期戰ニ對スル長期ノ農産物ノ生産擴充ヲ圖ル上ニ於テハ、此ノ堆肥ノ數量ヲ増加スルト共ニ、有效適切ニ使用スルト云フコトト、ソレカラ金肥トノ配合ヲ適切ニシテ之ヲ指導シナケレバナラスト云フ研究ハ、最モ大切ナモノノヤウニ感ズルノデアリマシテ、其ノ方法ノ具體的ノ方策ガ立ツテ居レバ、

私ハ之ヲ詳シク承リタイノデアリマス
○岸政府委員 自給肥料ノ堆肥ノ有效成分ヲ失ハナイヤウニシテ、最モ有效ニ働カセルト云フコトハ、先程モ申上ダマシタヤウニ、今日ノ狀態カラ見マス、色々ナコトカラ是非考ヘテ行カナケレバナラスト云フコトハ、御説ノ通りデアリマス、又實際肥料ノ點ニ付テモ、サウ云フ點ヲ連絡シテヤツテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ厩堆肥ノ研究ニ付キマシテハ、堆肥ニ付テハ農事試驗場ニ於テ、或ハ速成堆肥、或ハ堆肥ノ有效成分ヲ失ハナイヤウニスルト云フコトノ研究ヲ續ケテ居リマス、堆肥盤ヲ使ツテ、堆肥カラ出テ來ル所ノ汁ヲ確保スル方法ヲ講ジテ居ルノモ、サウ云フ點カラ出タ研究ノ結果デゴザイマス、尙ホ厩肥ノ研究ニ付テハ、畜産試驗場ガ大正七年頃カラズウツト研究ヲ續ケテ居リマシテ、各種ノ厩肥ニ付テノ分析モヤリ、又糞尿分離ノ試驗モヤリ、ソレノ應用ニ依リ試驗モヤリ、詳シイ報告ガ澤山出テ居ルノデゴザイマス、サウ云フモノヲ御參照下サレバ十分仔細ノ點マデ御分リダラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デ研究ハ續ケテ居リマス、ソレ等ノ結果ニ基イテ糞尿ヲ分離スル、糞尿溜ヲ造ルト云ツタヤウナ獎勵ヲヤルコトニナツタノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ現在ノ狀況ト睨合ハシテ一層研究ヲ續ケテ行キタイ、唯作物ニ對スル只今仰シヤツタ關係ハ、小規模ノモノハ澤山アリマシガ、大規模ノ作物ニ組合ハシテ使ツテ居ルト云フマデニハ行ツテ居ライ、何トカサウ云フ方面ヘモ手ヲ伸バシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(八)委員 色々研究ガアラレルヤ

ウニ今御話モアリ、又其ノ改良モ出來テ居ルト云フコトヲ申サレマスケレドモ、併シ一般農家ノ方ニハマダ其ノ點ガ徹底シテ居ラスノデ、此ノ利用價值ヲ高メル爲ニ化學肥料トノ取混ゼ、配合等ニ付テハ能ク指導シテ居ルノダト思ヒマスガ、特ニ私ガ考ヘルコトハ、同じ農林省ノ所管デアリマシテモ、馬ノ方ニハ種馬所トカ種馬牧場トカ、其ノ他畜産ニ對スル所ノ施設ニ於テハ、厩肥ノ利用ニ對シマシテヤハリ化學肥料ノ配給難ノ爲ニ、自ラ研究ヲシナケレバナラストニナツタノデ、大イニ各農事場デ研究サレテ居ル、非常ニ有效ニ是等ヲ利用シテ居ラレルノデアリマスガ、併シナガラ斯ウ云フ場所ハ何モ指導機關デナイカラ實ノ持チ腐レニシテ、場所々々ニ依ツテ之ヲ利用シテ行ツテ居ルノデ、私ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、現在アル所ハ是ハ要所要所ニ澤山アラレルダラウト思フノデアリマスガ、アリノ儘ノモノヲ有效ニ利用スルト云フコトハ、最モ有效デ且ツ速成デアツテ適切ニ出來ルト思フノデアリマス、而モ人ノ増員ヲスル、又豫算等ヲ増額シテ是等ヲ徹底セシムルナラバ、今日ノ急場ヲ間ニ合ハセルニ最モ宜イコトダト思フノデアリマス、唯サウ云フコトハ何カ局トカ課トカ云フヤウナ小サナ分離シタ責任感ニバカリ四ハレテ居ツテ、馬ノ方ハ馬政局デアルトカ、是ハ資材部デアルトカ、是ハ農政局デアルトカ、お互ニ責任ノ分離ノ程度ニ於テノミ研究サレテ居ツテ、實際ノ肥料ノ獻立ヲシテ、刻下ノ急ノ何處マデモ果スト云フ、實際ノ活動ニ大キナ缺陷ガアルト思フ、現ニ農林省ニ畜産ニ關係ノアル所ノ場所ガ澤山アルノデアリマスカラ、是等ヲモウ少シ農

○小笠原(八)委員 色々研究ガアラレルヤ

村ニ徹底スルヤウニ、而モ化學肥料トノ配
合關係ハ先刻申上ガタ通り、最モ大切ナヤ
ウニ思フノデアリマス、此ノ指導ガマダ徹
底ヲ缺イテ居ルト思ハレノデアリマスガ、
斯ウ云フ方面ヲ利用スルコトニ、未
ダニ御研究ニナツテ居ラスノデアリマスカ、
又今年アタリハ斯ウ云フ方面モ活動セシメ
ル準備ガアラレノデアリマスカ、此ノ點
ヲ伺ヒマス

ニ付テモ徹底的ニ調査ヲヤリマシテ、サウ
シテヨリ合理的ナ形ニ於テ經營ノ出來ルヤ
ウニシテ行キタイ、サウ云フ際ニ於テハ、
只今御話ノヤウナ各場所ニ於ケル所ノ成績
等ニ付テ民間ガ十分利用スベキモノニ付テ
ハ、是ハ從來通りニ致シマシテ知識ノ普及
ヲ圖ルヤウニスル、斯ウ云フヤウニ相努メ
タイト考ヘテ居リマス

肥料ノ配合ト云フコトモ考ヘテ居ル譯デア
リマシテ、其ノ指導ト云フモノハ各縣ニ於
テヤツテ居ル譯デゴザイマス

方針ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フ御説明ガアツ
タノデアリマス、私ハ青森縣デ最モ牧畜ヲ
盛シニヤツテ居ル所ノ者デアリマスガ、其
ノ實例ヲ申上ゲマス、是ハヤハリ縣内デ
ハ糠ヲ獲得スル方針ヲ立テヤツテ居ルノ
デアリマスケレドモ、先刻ドナカ申上ゲタ
通り一旦ハ米商人ニ玄米デ引渡サレル、デス
カラ片田舎カラ中都市ノ商人ノ手ニ渡サレ
ル、而シテ其處デ精白シタ小糠ヲ貰ハウト
スレバ、最高ノ公定價格ニ依ツテ配給ヲ受
ケル、其處デ受ケタモノニ相當ノ運賃ヲ掛
ケテ片田舎ニ持ツテ參リマシテ、ソレヲ配
給致シマスルト、運賃ガ加ハルカラ是ハ
闇ダト云フノデ警察カラ威カサレル、ドウ
ニモナラス、ソレデ此ノ小糠ト云フモノノ
獲得ハ出來ナイヤウナ狀況ニアルノデアリ
マス、尤モ先達デ大審院ノ判例カナシカニ
依ツテ、運賃ハ之ヲ闇ノ中ニ加算シナイト云
フヤウナ新判例ガ出タヤウデアリマスケレ
ドモ、併シマダ其ノ點ハ田舎ノ方ニ徹底シ
ナイヤウデ、非常ニ農民ガ脅威ヲ感ジテ小
糠ヲ獲得スルコトハ容易デナイ、ドウシテ
モ此ノ家畜ニ對スル愛着心カラ濃厚飼料ヲ
與ヘナイデ置カレヌト云フ所カラ持ツテ參
リマシテ、穀ヲ食ハセ、其ノ他ノ雜穀ヲ飼
料トシテ使用スル、是ハ當然ノ問題ニナツ
テ居ルノデゴザイマス、穀ヲ食ハセルトオ
上ノ御叱言ガアルト云フノデ隠レテ與ヘテ
居ルヤウナ狀況デアリマス、農村ノ方デハ
隅々マデ産業組合ガ發達シテ居ツテ、精白
ノ機械等モ設置ヲ見テ居ルヤウナ譯デアリ
マスカラ、之ヲ利用スルコトハ非常ニ簡易
デアル、今日ノ統制機構ノ嚴達ニ依ツテ、
是ノ利用不能ノ結果ニ陥ツテ居ルノデ、是
ガ却テ食糧ニ缺陷ヲ生ジ、延イテハ軍事上

○岸政府委員 只今御話ノ各農林省ノ場所
ニ於ケル成績ト云フモノガアル、サウ云フ
コトヲ利用スル、又其ノ場所ヲ使ツテ、只
今御話ノヤウナ自給肥料ノ試験ヲ徹底スル
ヤウナコトヲヤリナイカト云フ御話ノヤウ
デアリマス、是ハ御尤モ御話デアリマス、
唯農林省トシテ其ノ間ニ不統一ガアルト云
フ譯デハ決シテゴザイマセス、是ハ各、場
所ガ特殊ノ使命ヲ持ツテヤツテ居ルノデア
リマシテ、肥料ノ試験ヲスル爲ニ、其ノ
仕事ヲヤツテ居ルト云フノデハナイノデア
リマスカラ、成績ガ色々ニ出テ居ルト云
フモノガ、色々ニ御耳ニ入ツタコトダラ
ウト思フノデアリス、私共モサウ云フ
色々ナ話ヲ聞イテ居リマス、併シ是等ノ成
績ヲオ互ヒニ利用シ合フ、又サウ云フ場所
ニ於ケル所ノ施設ヲ利用シ合フト云フコトニ
付キマシテハ、只今マデノ所デハ相努メテ居
リマス、今後ニ於テモ十分努メテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、尙ホ只今ノ問題ニ付テ
ハ、今回ノ機構改革ニ依ツテ經營課ト云フ
ヤウナモノモ出來マシテ、一層農家ノ農業
經營ヲ對象トシテ、サウ云フ方面ノ調査研
究ヲシテ行キタイ、隨テサウ云フ際ニ於キ
マシテ、只今ノ自給肥料ノ關係ニ付テモモ
ツト徹底的ナ調査ヲヤリ、又有畜農業關係

○小笠原(八)委員 能ク分リマシタガ、先
刻申上ゲタ化學肥料ノ厩肥其ノ他ノ自給肥
料ニ對スル配合ノ研究ノ結果ガ、明カニド
ノ農產物ニ對シテドウ云フ效果ガアルト云
フコトノ試験ガ立派ニ今出來テ居ルノデア
リマスカ、又出來テ居ルトスレバ、ソレヲ
實際的ニ本年度指導スル方法ハドウ云フ風
ニシテ指導スルカ、又ソレヲ通牒ノヤウナ
コトデ、各府縣ニ唯任セ放シニヤツテ居ル
ノデアリマスルカ、其ノ指導ノ實際問題ヲ
承ラナイト云フト、今日ハドウ云フ所マデ
其ノ點ガ居イテ居ルカト云フコトガ分ラヌ
ノデアリマス、而シテ是ハ全肥以外ノ所謂
化學肥料ト云フモノノ生産ノ方ト、自給肥料
ノ生産關係トノ連絡ニ依ツテ、ドウ云フ自
給肥料ニ何肥料ノ化學肥料ヲドノ數量配合
シタノニ依ツテ、大體日本ノ農產物ノドレ
ニ間ニ合ハセルト云フヤウナ、大キナ見地
カラノ研究シタ方針ガ立ツテ居ラスノデス
カ、此ノ點ヲ一ツ併セテ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 只今ノ御尋ネノ點ハ、農林
省ニ於テサウ細カク作物のニ、或ハ地域の
ニ分テ施策ヲシテ居ルト云フ譯デハアリ
マセヌガ、御承知ノ耕種規程ノ改善ノ場合
ニ於テハ、肥料ノ供給ト云フコトニ付テハ
其ノ地方ノ土質或ハ作物ノ種類其ノ他ヲ考
ヘマシテ、サウシテソレニ對スル適切ナル

方針ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フ御説明ガアツ
タノデアリマス、私ハ青森縣デ最モ牧畜ヲ
盛シニヤツテ居ル所ノ者デアリマスガ、其
ノ實例ヲ申上ゲマス、是ハヤハリ縣内デ
ハ糠ヲ獲得スル方針ヲ立テヤツテ居ルノ
デアリマスケレドモ、先刻ドナカ申上ゲタ
通り一旦ハ米商人ニ玄米デ引渡サレル、デス
カラ片田舎カラ中都市ノ商人ノ手ニ渡サレ
ル、而シテ其處デ精白シタ小糠ヲ貰ハウト
スレバ、最高ノ公定價格ニ依ツテ配給ヲ受
ケル、其處デ受ケタモノニ相當ノ運賃ヲ掛
ケテ片田舎ニ持ツテ參リマシテ、ソレヲ配
給致シマスルト、運賃ガ加ハルカラ是ハ
闇ダト云フノデ警察カラ威カサレル、ドウ
ニモナラス、ソレデ此ノ小糠ト云フモノノ
獲得ハ出來ナイヤウナ狀況ニアルノデアリ
マス、尤モ先達デ大審院ノ判例カナシカニ
依ツテ、運賃ハ之ヲ闇ノ中ニ加算シナイト云
フヤウナ新判例ガ出タヤウデアリマスケレ
ドモ、併シマダ其ノ點ハ田舎ノ方ニ徹底シ
ナイヤウデ、非常ニ農民ガ脅威ヲ感ジテ小
糠ヲ獲得スルコトハ容易デナイ、ドウシテ
モ此ノ家畜ニ對スル愛着心カラ濃厚飼料ヲ
與ヘナイデ置カレヌト云フ所カラ持ツテ參
リマシテ、穀ヲ食ハセ、其ノ他ノ雜穀ヲ飼
料トシテ使用スル、是ハ當然ノ問題ニナツ
テ居ルノデゴザイマス、穀ヲ食ハセルトオ
上ノ御叱言ガアルト云フノデ隠レテ與ヘテ
居ルヤウナ狀況デアリマス、農村ノ方デハ
隅々マデ産業組合ガ發達シテ居ツテ、精白
ノ機械等モ設置ヲ見テ居ルヤウナ譯デアリ
マスカラ、之ヲ利用スルコトハ非常ニ簡易
デアル、今日ノ統制機構ノ嚴達ニ依ツテ、
是ノ利用不能ノ結果ニ陥ツテ居ルノデ、是
ガ却テ食糧ニ缺陷ヲ生ジ、延イテハ軍事上

最モ重要ナル所ノ家畜ノ生産ニモ支障ヲ來シテ居ルヤウナ關係デアリマス、政府ノ方デモ米ノ貯藏ノ都合等モアレノデアリマセウケレドモ、折角東北トカ北海道トカ、或ハ斯ウ云フ牧畜ノ盛シナ所ニ七分搗ノ精白ニ依ツテ供出スルコトヲ御獎メナリ、

農村ノ片田舎ノ其ノ場所ヘ精白スルコトヲ御獎メナラナケレバ、其ノ縣自體ガ精白シテ縣ノ内部ニ居ツテ小糠ヲ獲得スルト云フコトニナラヌト、ソコニ大キナ缺陷ガアルノデアリマス、之ニ對シマシテ是カラ農村ノ本當ノ牧畜ヲヤツテ居ル細カイ連中ガ、自分デ其ノ糠ヲ其ノ儘獲得スルヤウナ方針ニ御改メニナル御考ヘハナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ食糧管理局長官カラ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 糠ノ問題ハ段々伺ツテ居リマス、本當ニ非常ニ大事ナ問題デゴザイマシテ、殊ニ畜産ノ盛シナ地方ナドニ於キマシテハ、殆ド死活ニ關スル問題ノヤウニ承ツテ居リマス、地方廳ト致シマシテモ、此ノ問題ニ付テ非常ニ眞剣ニ最近色々ノコトヲ申シテ參ルノデアリマス、私達ト致シマシテハ先程申上ゲマシタヤウナ趣旨ヲ以チマシテ、地方ノサウ云フ御必要ニ應ジ得ルヤウニ組織ヲ考ヘテ居リマシテ、地方廳ト相談ヲ致シマシテ、兎ニ角糠ノ縣外ニ出ルト云フコトニ付テハ先ヅ第一ニ抑ヘルト云フ趣旨ヲ以テヤツテ居リマス、又糠ヲ送ラナケレバ米ヲ送ラヌト云フヤウナコトヲ言ヒマシテ、消費地ヲ脅迫シテ居ル例モアル、ソレデハ困リマスノデ、其ノ兩方ノ調停ヲヤツテ居ル譯デアリマス、進ミマシテ縣内ノ糠ノ配給ト申シマスカ、ヤハリソレゾレノ農村ニ糠ガ殘ルヤウニシテ行カナケ

レバナラヌト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ更ニ地方廳ト能ク連絡ヲ取りマシテ、地方ノ方ニ若シ何カサウ云フ適切ナラザル處置ガアリマシタラ、私ノ方カラ其ノ御趣旨ニ依リマシテ十分掛合フヤウニ致シタイト思ヒマス

○小笠原(八)委員 農政局長ニモウ一ツ伺ツテ置キマス、農村ニ於ケル勞力ノ不足ヲ告ゲテ居ル所デ、最小限度ノ勞力ヲ以テ最大限度ノ耕地ヲ利用スベキ時デアリマスカラ、ソコニ耕作技術ノ改良工夫ガ必要ナノデアリマスカラ、隨テ耕作ニ對スル所ノ牛馬ノ利用ヲ、一段ト向上發達セシムベキダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ牛馬ノ產地デアリマス東北關係デモ、牧畜ノ發達シテ居ル北海道其ノ他東北關係デモ、マダ利用ニ對シテハ大イニ缺陷ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、勞力ノ不足モ牛馬ヲ利用スルコトニ依ツテ相當ニ緩和サレルト私ハ考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル利用研究指導ト云フ方面ハマダ具體的ニヤツテ居ラヌヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今年ハ昨年ト比較シテ、此ノ方面ニ對シテ大キク計畫ヲ立テテ指導セラレル考ヘデアアルカドウカ、此ノ計畫ノ内容ヲ伺ヒタイ

○岸政府委員 勞力ノ不足ヲ補フ爲ニ畜力ヲ利用スルコトガ必要デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、之ニ付キマシテハ既ニ大正十四年頃カラ畜力利用獎勵ノ費用ヲ取リマシテ、各地ニ牛馬耕ノ指導ヲヤリ、或ハ畜力ニ依ル所ノ定置作業ニ原動機ノ普及ヲ圖ツテ參ツタノデアリマス、唯其ノ當時ニ於テ農村不況ノ際デアアルカラ、或ハ十二分ニ徹底スルコトガ出來ナカツタノ

デアリマスガ、最近ニ於キマシテ、勞力ガ不足致シマシテ此ノ方面ノ必要ガ認メラレテ居ルノデアリマス、私共モ積極的ニ農業經營ノ方ト睨合ハセテ、此ノ利用ヲ一層徹底スルヤウニシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、現在ノ施設ニ於キマシテモ畜力利用ノ普及向上ニ關スル講習會ヲヤリ、或ハ傳習會ヲヤルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、地方廳ト連絡シテ相努メテ居リマス、多分青森デモ其ノ種ノ金ヲ使ツテ講習ヲヤツタコトガアルト思ヒマス、尙又畜力ニ關スル機械ノ購入ニ付キマシテモ助成金ヲ交付シマシテ、サウシテ部落等デ共同デ利用スル者ニ對シテ助成ヲシテ普及ヲ圖ル、是等ニ付キマシテハ更ニ指導ヲ十分ニヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ

風ニ考ヘテ居リマス、是ハ私ノ方ノ關係デアリマセヌガ、馬ノ方ニ付キマシテモ御承知ノヤウニ馬ノ力ヲ利用スル施設ヲ相當講ゼラレテ居リマス、又地方ニ於ケル所ノ借馬等ニ對スル利用ヲ圓滑ニスルヤウニ其ノ施設モヤツテ居リマス、サウ云フ風ニ部分部分ニ於テハ畜力利用ト云フモノハ相當今マダ相努メテ居ルノデアリマス、併シ今ノ勞力不足ノ狀況ニ於テ、之ヲ合理的ニ使フト云フコトヲ普及徹底サセルト云フコトニ付テハ、一層相努メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、將來ニ於テハ研究ノ上十分施設ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(八)委員 斯ウ云フ勞力ノ不足ノ場合デアリマスカラ、今マデノヤウニ唯試驗的ノ指導ノミデアツテハ中々是ハ徹底シナイト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ハ相當ニ勞力關係ノ調和ヲ圖ル上ニ於テモウ一

段ト努力スル必要ガアルト思ヒマス、十分ニ一ツ御考ヘヲ願ヒタイ、是デ農政局長ニ對スル質問ハ終リマス

最後ニ一ツ食糧管理局長官ニ伺ツテ置キマス、政府デハ甘藷、馬鈴薯ノ増産ニ依ツテ食糧ノ調節ヲ圖ラレルノデアリマスガ、是ノ利用方法ト云フモノハ澤山アルト思フノデアリマス、私ガ昨日御試食ヲ願ツタ馬鈴薯利用ノ代用食「パン」ヲ、青森縣デ知事ガ獎勵シテヤツテ居ルノデアリマス、ソレガ從來馬鈴薯ノ食「パン」ト云フノハドウシテモ芋ノ香ヒガ付イテイケナカツタ、青森縣デ拵ヘテ居ルノハ馬鈴薯ガ五割マダ入ツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ魚粉ヲ取混ぜ、ソレガラ海草ヲ五分位取混ぜヲシテ拵ヘテ見た、所ガ芋ノ香ヒモナク立派ニ是ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレニ知事ハ愛國「パン」ト云フ名稱ヲ付ケテ大イニ獎勵シテヤツテ居ルノデアリマス、ソレデ青森縣ノヤウナ「パン」ノ代用食ト云フモノヲマダ利用シタコトノナイ所デハ、是ハドウカト思ツテ怪シンデ居ツタノデアリマスガ、製造シテコロ二箇月位ニナリマスガ、今日デハ青森、弘前、八戸等ノ三都市デ相當大量ニ菓子工業者ガ製造シテ居ルノデアリマス、サウシテ是ガ需要ニ應ズルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、一面又菓子工業者ノ方ニ於キマシテモ、資本金ノ連中ハ製造元トナツテ、小資本ノ連中ハ職人ニナツテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、失業者ノ防止ニ努メテ居ルヤウナ譯デアリマス、斯ウ云フ芋ヲ利用シテ立派ニ出來タ食「パン」ガアツテ、之ヲ國民ノ多數ニ畫食ニデモ利用スルコトニナルト、相當ニ食糧關係ハ緩和サレルト思フノデアリマス、

斯ウ云フ馬鈴薯トカ、甘藷トカノ利用ニ工
夫ヲ凝シテ居ルト云フヤウナ事業ニ對シマ
シテハ、政府ノ方デハ積極的ニ獎勵ヲナサ
レテ、サウシテ馬鈴薯デモ、甘藷デモ其ノ
方ノ増産ヲ農民ニ徹底シテ、喜ンデ増産
ガ圖ラレルヤウニ指導シテ戴キタイト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フ方面ノコトハ各所
カラ長官ノ方ヘ集マツテ居ルコト思フ
デアリマス、斯ウ云フ指導トカ獎勵ト云フ
方法ハ如何様ニ御考ヘニナツテ居ルカ、ソ
レヲ承リタイ

○湯河政府委員 馬鈴薯ヲ混入シタ「パン」
其ノ他色々食糧事情ガ困難デアリマスル爲
ニ、代用食デアリマストカ、其ノ他色々新
シイ工夫ヲ持ツテ來テ居ラレル向ガ大分ア
ルヤウデゴザイマシテ、吾々ト致シマシテ
ハ、洵ニ有難ク思ツテ居ルノデアリマス、
之ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ、色
色研究ヲセネバナラヌト思ツテ居リマス、
從來ハソレ「斯ウ云フ風ナ方面ノ經驗ノ
アル人、知識ノアル人ヲ集メマシテ、ソレ
等ノ人ニ頼ミマシテ、或ハ試食ヲシテ貰ヒ、
或ハ研究シテ貰フト云フコトヲ致シテ居ツ
タノデアリマス是カラ先ハ吾々ト致シマ
シテハ、先程一寸御話致シマシタヤウナ
食糧研究ト云フコトヲ組織的ニ尙ホ續ケ
テ參ル、サウ云フ風ナ機構モ出來テ居リ
マスノデ、役所ト致シマシテ十分研究致
シマス、サウシテ良イモノハ良イトシテ
御獎メラスルト云フ風ニ致シテ行キタイ
ト思ツテ居リマス、唯ハ良イモノノダト
致シマシテ、普及サセルノニ何カ特別ナ
獎勵的ナ施設デモアルカト云フコトヲ御
尋ネニナリマス、昭和十五年度ノ豫算
ノ中ニハ、サウ云フ食糧政策ノ普及徹底

ニ關スル經費ト云フノガゴザイマシタガ、
今度ノ色々ノ施設ノ中ニハ、遺憾ナガラソレ
ハゴザイマセヌノデ、寧ロサウ云フ風ニ漫
然タル獎勵ト云フコトデナク、組織的ナ研
究ニ依ツテ一般ヲ指導シテ行キタイト云フ
考ヘニ變ツテ來テ居ルト云フ事情デゴザイ
マス

○小笠原(八)委員 資材部長サンカラ最後
ニ伺ツテ置キタイ、私ノ縣ハ特殊ナ林檎ノ生
産縣デアリマス、デスカラ年々相當ナ數量
ノ肥料ノ配給ヲソレニ向ツテ受ケテ居ル、
所ガ本年開ク所ニ依ルト、ドウ云フ譯カ、
「デマ」デアレバ結構デスガ、林檎ト云フ方面
ニハ化學肥料ノ配給ハナサラスト云フヤウ
ナコトガ青森縣方面デハ傳ヘラレテ居リマ
シテ、大分動搖シテ居ルヤウデアリマス、
近ク之ニ對シテ陳情ニ參ルヤウナコトヲ申
シテ居ルノデアリマス、或ハ是ガ贅澤品デ
アルトカ云フ風ナ取扱ヒヲサレルトカ、又
第二種、第三種ニ置カレルト云フヤウナ、
色々ナコトガ言ハレテ居リマスガ、今日ノ
林檎ハ加工ニ依ツテ戰地ニモ持ツテ行ツテ
居リマス、外國ニモ輸出品トナツテ行キ、
外貨獲得ニモナツテ居リマス、尙ホ林檎ハ
今日ハ各地方ニ於キマシテ、病院デハ相當
數量使ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、其
ノ他色々加工シテ、細カク専門的ニ言ヘバ
色々ナコトガアルヤウデアリマスガ、之ヲ
一概ニ、アア云フ特殊ナ事情——殆ド青森
縣ノ生産物ト言ヘバ林檎ガ第一位アルト
云フヤウナ事情ニアル所デハ、急激ニ肥料
ノ配給ノ大減額ヲスルト云フヤウナコトガ
アリマスルト、ソレガ林檎ニミ減額サレ
レバ宜イケレドモ、ドウシテモソレガ他ノ
農産物ニモヤハリ配給ガ不足ヲスルト云フ

コトニ結果ニ於テナルノデアリマス、是ハ
一大事ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
其ノ點ノ實際ノ御方針ハドウ云フ風ニ取扱
ハレルカ、内容ヲ一ツ明カニシテ戴キタイ
○重政政府委員 只今ノ御話洵ニ御尤モデ
アリマシテ、私ノ方デハ林檎ヲ贅澤品ト見
テ順位ヲ非常ニ下ゲテ、肥料ノ配給ヲ少ク
スルト云フヤウナコトハヤツテ居リマセヌ
御承知ノ通りニ米麥重點主義ノ肥料配給ヲ、
ヤツテ居リマシテ、米麥以外ノモノハ大體
第二種トシテ平等ニ取扱ツテ居ルノデアリ
マス、只今御述ベニナリマシタヤウナコト
ハ、是ハ全然「デマ」デアラウト考ヘマス

○村上委員長 田中邦治君

○田中(邦)委員 私ハ米ノ配給關係ニ付テ
伺ヒタイノデアリマシタガ、幸ヒ坂下委員
ガ詳細ニ質問サレテ當局ガ答辯セラレタル
所ニ依リマシテ、相當得ル所ガアリマシタ
カラ、此ノ方面ニ付テハ極メテ簡單ニ御聽
キシテ置キタイト思フノデアリマス、本年
政府デ買上ゲマスル管理米ノ三千有餘万石
ト云フモノハ、其ノ配給機構ハ從來通りニ
依ルノデアリマスルカ、又全然更ニ考ヘラ
レテ適切ナル配給方法ニ依ラレマスルモノ
デアリマスルカ、ソレヲ承リタイノデアリ
マス、尙ホ又政府ノ管理米ノ中、本年ノ買
上ゲガ其ノ半額デアルト云フコトデスガ、
其ノ數字ヲ明カニ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス

○湯河政府委員 御答ヘ致シマス、管理米
ノ數量ガ三千餘万石ト云フコトデゴザイマ
スガ此ノ買上ゲハ實ハソレヨリ内輪ニナツ
テ居リマス、其ノ管理米ノ配給ハドウナル
カト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ管理米
ハ當時米穀管理規則ノ公布ノ際、色々新

聞紙等デ世間ニ示シテ置イタヤリ方ハ、ヤ
ハリ今デモ其ノ通りヤツテ行ク積リデゴザ
イマシテ、此ノ三千餘万石ノ管理米ヲ豫定
シテ居リマスガ、内二千五百万石ハ政府米トシ
テ買上ゲル豫定ニナツテ居リマス、サウ致
シマシテ残りノ一千餘万石ノモノハ是ガ本當
ノ管理米トシテ殘ルノデゴザイマスルガ、
是ハ地方長官ノソレ「府縣内ノ配給ニ
充テル、地方長官ノ配給計畫ニ依ツテ配
給ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデ
ゴザイマシテ、是ノ配給ハ其ノ計畫ニ從ヒ
マシテ、臨時米穀配給統制規則ノアノ機
構ニ依リマシテ、分散配給サレルモノト
承知シテ居リマス、ソレカラ政府米ノ買上
ハ約二千五百万石ト云フ豫定ヲ持ツテ居ルノデ
ゴザイマスガ、此ノ二千五百万石ハ、大體消費
地ニ米ヲ供給スルコトハ、政府ガ大體是ハ
ヤツテ參ラナケレバナラヌカト思ツテ居ル
ノデゴザイマシテ、之ヲ各消費地ノ方ニソ
レゾレ割當テマシテ、政府トシテ配給ヲス
ルト云フコトニナルノデアリマス、尙ホ一
部ニハ生産地ニ於キマシテ其ノ縣内ノ配給
ヲ助ケル意味ヲ以テマシテ、政府米ヲ其ノ
縣内ニ拂下ゲルト云フ場合モゴザイマス、
サウ致シマシテ政府米拂下ゲハ、ヤハリ先
程申シマシタ臨時米穀配給統制規則ノ分散
配給機構ニ依ツテ之ヲ拂下ゲルト云フコト
ニ相成ル譯デアリマス

○田中(邦)委員 此ノ管理米ニ付テ、地方
ノ慣習ニ依ツテ穀ノ取引ヲシテ居リマス所
ガ相當アラウト思ヒマス、私ハ長野縣デア
リマスルガ、長野縣ノ大部分ハ穀ノ取引ヲ
シテ居リマス、然ル所管理米ニ於テハ玄米
デナケレバナラヌト云フ關係カラ、非常ニ
生産者ノ間ニ動搖ヲ來シテ居リマス、是等

ニ付テ地方ノ曰ク、長野縣ノ傳統ナ習慣
デアル概ノ取引ヲ、政府ノ管理米トナル爲
ニ之ヲ玄米トシナケレバナラヌト云フコト
ニ付テハ、茲ニ非常ナ手數ト又價格ニ於テ
損害ヲ來スノデアル、其ノ實例ハ私自身
ガヤツテ見マシテ、概ノ取引ト玄米デ之ヲ
管理セラレル場合トデハ、一石ノ頭約三
圓ノ値開キガアルノデアリマシテ、サウ云
フ關係カラ行キマシテ、小作作リナドハ殆
ト自家用以外ノ小作ハシナイ、値段ハ公定
價格デ定メラレテ居テ之ヲ引上、デラレル見
込ハナイ、肥料不足、勞力不足ト云フ今日、
一番割ノ惡イ米ヲ作ルト云フコトハ、如何
ニ國家ノ爲メトハ言ヒナガラ、小作作リト
シテ堪ヘ兼ネルト云フヤウナコトカラ、ツ
イ小作地ヲ返還シテ行キマス爲ニ、地主ハ
此ノ處分ニ困ツテ、吾々ノ地方デハ田ヘ採算
ノ取レル「ホップ」又ハ林檎ノ植付ヲヤリマ
シテ、是等ノ地主ノ中ニハ村長アリ産業
組合長アリ、國策ニ反シテ水田ヘ持つテ行ツ
テ「ホップ」又ハ林檎ヲ植付ケルト云フコト
ハ如何ニモ不都合千萬デアル、人ノ先ニ立ツ
所ノ者ノ爲スベキ業デアルカト云フ追究ヲ
受ケテ、遂ニ其ノ職ヲ退イテ居ルト云フヤ
ウナ實例ガアルノデアリマス、政府ト致シ
マシテハ極メテ保存ノシ易イ概ヲ無理ニ玄
米トシテ管理スル理由ハ何處ニアリマスカ、
其ノ地方ノ永イ慣習ヲ急ニ改メサセテ、割
一的ニシナケレバナラヌト云フノハドウ云
フ理由カラデアリマスカ、ソレヲ承ツテ置
キタイ

○湯河政府委員 管理米ノ取扱ヲ概デシナ
イノハ不都合デハナイカト云フ御指摘デ
ゴザイマス、此ノ問題モ實ハ地方ニ依リマ
シテ非常ニ重大ナ問題ダト云フコトハ能

ク承知致シテ居リマス、今御話ノゴザイマ
シタヤウニ概デ保管スル仕來リノ地方ハア
ルノデスガ、其ノ地方ニ對シテ無理ニモ管
理米ハ全部玄米ニシロト云フコトヲ申スノ
ハ、或ハ隨分無理ナコトノヤウニモ思ハレル
カモ知レマセヌガ、政府ノ方トシテ今度國
家管理ヲヤリマスニ、出來ルダケ玄米ニシ
テ欲シイト云フコトヲ申シテ居リマスノハ、
ヤハリ窮迫シタ米穀事情カラ致シマシテ、
配給ノ不圓滑ノ起ルヤウナ場合ニ、自由自
在ニ政府ノ指揮ト申シマスカ、政府ノ管理、
支配下ニ於テ之ヲ動力セルト云フ風ニシテ
置キタイト云フ積リナノデゴザイマス、是
ガ永ク保存シテ居テモ宜イ、或ハ米ハ管理
米トナツタケレドモ、ソレハ別ニサウ急イ
デ何處ヘ持つテ行ク、此處ヘ持つテ行クト
云フコトノ當テガナイト云フヤウナユツタ
リシタ氣持ノ時デアリマスレバ、之ヲ概ニ
シテ置カレノガ普通ノ場合ニハ、無論其
ノ通りニシテ置カセタ方ガ宜イト思ヒマス、
其ノ極端ナ場合ニハ寧ろ概ニシテ置イテ吳
レト云フコトヲ政府トシテモ申シテ居ル譯
デゴザイマス、此ノ非常ニ窮迫シタ場合デ
アリマスカラ、概ノ儘デソレヲイザ出サウ
ト云フ時ニ概摺カラ始メルト云フコトニナ
ルノハ、洵ニ今ノ時代ニ困ルト云フコトカ
ラ致シマシテ、是ハ御無理デゴザイマセウ
ガ是非玄米デヤツテ欲シイト云フコトヲ申
シテ居ツタノデアリマス、サリナガラ地方
ノ事情ニ依ツテハ、ドウモサウ出來ヌト云
フ所モアルヤウデアリマス、昔カラノ習慣
ヲ改メルトコトガ無理デアルバカリデナク、
勞力ノ關係或ハ其ノ他貯藏場所ノ關係等ノ
事情カラ致シマシテ、是ハ無理ダト云フ所
モアルヤウデアリマス、サウ云フ所ニ付テ

マデ私達ハ無理ヲシヨウトハ思ツテ居リマ
セヌノデ、地方ト數量ヲ限定致シマシテ、
概ノ管理米集積ト云フコトヲ地方廳ト協定
シテ居ル次第デアリマス、ソレデ斯ウ云フ時
代ナルガ故ニサウ云フコトヲヤツテ居ルノ
ダト云フコトヲ御承知願ヒマス

○田中(邦)委員 然ラバ地方廳ノ諒解ヲ得
マスレバ強ヒテ玄米ニシナクテモ管理米ハ
宜イト云フヤウナ御答辯デアリマスカラ、
サウ承ツテ置イテ差支ヘナイト思ヒマスガ、
此ノ管理米以外ニ地方ノ米ノ配給關係ニ屬
スル米穀ハ、是ハ概ニ致シテ業者ノ方ヘ是
ガ處理ヲ一任シテモ差支ナイノデアリマス
ルカ、之ヲ具體的ニ申セバ斯ウ云フコトニ
ナリマス、私ハ小サナ町ノ町長ヲヤツテ居
ル關係カラシマシテ、管理法ニ基ク米ノ扱
ヒ方ニ付テ、多數アル小賣商人ヲ整理シタ、
約五十名ノ業者ヲ三分ノ一ニ整理致シマシ
タ所、ソコニ相當失業者ガ生ズルト云フノ
デ役場ヘ陳情ニ參ツテ居ツテ、是ガ解決ガ付
キマセヌ、詰リ配給所ヲ指定サレタ業者ハ
其ノ爲ニ生活ガ安定致シマシタガ、同ジ業
者デアリナガラ其ノ指定カラ漏レタ者ハ、
唯其ノ利益ノ幾分ヲ分ケテ生活ノ資ニシテ
參リマス關係上、實際ニヤツテ見テ中々旨
ク行カナイト云フノデ、モウ長イ間業者間
ニ於テ對立シテ居リマシテ、或ル場合ニ於
テハ自治體ノ一部分ガ破壊セントスルヤウ
ナ狀態サヘアリマス、而シテ配給所ヲ指定サ
レマシタ連中ニ言ハセルト、是ガ今日ノ新
體制デアル、ダカラ「オミット」サレタ連中
ハ、萬一失業デモシタ時分ニハ滿洲ヘデモ
行ケバ宜イデヤナイカト云フコトヲ言ツテ
居ル、之ニ關聯シマシテ町會方面ノ對策委
員ナドガ中ニ入ツテ斡旋ヲ致シマシテモ、

何分ニモ政府ニ是ガ對策ノ確乎タルモノガ
ナイノデアリマスカラ、ドウ云フ方法ニ依
ツテ此ノ失業者ヲ救済スレバ宜イカ見當ガ
付カナイノデアリマス、今日ハサウ云フ現
狀デアリマス、サウ云フ時ニ於テ格別玄米
ヲ以テ業者ニ小賣セシメルト云フコトハ、
吾々ノ地方トシマスレバ却テ摩擦ヲ多クス
ルヤウナコトニナルノデアリマス、此ノ際
概ヲ業者ノ間ニ流シテ之ヲ精米サセルト、
玄米カラ精米致スヨリモ相當利益ガ深マル
ノデアリマス、サウ云フ關係カラ行キマス
レバ、地方長官ノ許可ヲ得レバ概ヲ以テ之ニ
充ツルコトガ出來ルト解釋シテ宜シイノデ
アリマスカ、ソコヲハツキリ御示シ願ヒタ
イノデアリマス

○湯河政府委員 先程申上ゲタコトヲ少シ
強ク御取り過ギ戴イテ居ルヤウニ思ヒマス
ガ、私共此ノ狀態ニ於キマシテ、已ムヲ得
ヌ極ク例外ナ場合ニ概ノ管理米ト云フモ
ノヲ、數量ト地域ヲ限定シテ、地方廳ト協
定シテ、ソレハ仕方ガナイト云フ風ニ認メ
テ居リマス、是ハ全體ノ食糧ノ窮迫シテ居
リマス際ニ、必要ナ玄米管理ト云フコトノ
例外ヲ作ルノデアリマスカラ、吾々トシテ
ハ是ハ農家ノ方ニハ御迷惑デモ是非玄米デ
出シテ戴キタイト云フコトヲ極力ヤリマシ
テ、是ハドウシテモイカヌト云フコトニ對
シテ、僅カナ例外トシテ認メルト云フコト
ニナルノデアリマシテ、只今御話ノゴザイ
マシタヤウナ地方廳ト協議スレバ容易ニ
概ノ管理ガ出來ルト云フ風ニ御取り下サル
ト一寸困ルノデアリマス、ソレデ先刻伺ヒ
マシタ御話ノ中ニ出テ來タコトデゴザイマ
スガ、ナンゾ管理米ノ外ニ米ガアツテ、ソ
レヲ賣ルノニ此ノ失業シタ小賣商ニ扱ハセ

タイ、其ノ時ニソレヲ玄米デ賣ラセルト旨
味ガナイガ、概ヲ持タセテ精米ヲスルト宜
イト云フ御話ガアリマシタガ、此ノ管理米
以外ノ米ガ市場ニ出廻ルト云フコトハ、吾
吾規則上デハ豫想シテ居ラナイノデゴザイ
マシテ、大體管理米ノ制度ノ上カラ申シマ
スルト、自家用保有米ト云フモノヲ各個々
ノ農家ニ殘シマシテ、サウシテ自家用保有
米以外ノ米ハ全部之ヲ管理米トスルト云フ
建前ニナツテ居リマス、何レ自家用米ノ數
量ヲ町村、農會等ニ於テ決メマシテ、サウ
シテソレヲ失格米、或ハ小作米カラ差引キ
マシタ殘リヲ即チ管理米ニスルノデアリマ
スガ、併シ其ノ以外ニ於キマシテ、尙ホ賣
出スコトノ出來ルヤウナミガアツタト致シ
マス、詰リ豫定致シマシタ管理米ノ數量ヨ
リ餘計種レタト云フ事情ガアツテ、其ノ以
外ニ米ガアツタトスレバ、ソレヲ賣ルナラ
バ管理米ニシテ賣ヒタイ、管理米ニシナケ
レバナラヌト云フ規則ニナツテ居リマス、
此ノ事ハ管理規則ノ第三條ニサウ云フ規定
ガゴザイマス、御承知カモ知レマセヌガ申
上ゲテ置キマス

○田中(邦)委員 管理米ノコトニ付キマシ
テハマダ遺憾ナガラハツキリ頭ニ入リマセ
ヌ、ナゼカト申シマスレバ、全國デ少クモ
六、七十萬石種レマシタガ、尙ホ需要セラ
ル米ガ其ノ半分トシテ、約半額ノ三千五百
萬石ガ管理米ト云フコトニナリマス、其
ノ中ノ相當數量ト云フモノガ管理米以外ニ
一般人ノ間ニ需要セラレベキモノデナイカ
ト考ヘテ居リマスガ、サウデヤアリマセヌ
カ、其處ガチヨツト私ニ分リマセヌノデ、
此ノ點ニ付テ只今質問シタヤウナ疑問ヲ生
ジタノデアリマス

○湯河政府委員 管理制度ノ建前カラ致シ
マス、大體六千數百萬石ノ米ガ種レルト
致シマシテ、其ノ中約三千萬石ハ農家、即
チ生産者、地主ノ自家用米トナツテ居ルモ
ノト見テ居リマス、ソレヲ差引キマシタ殘
リノ三千數百萬石ト云フモノガ市場ニ出廻
ルモノト豫定シテ居リマス、此ノ市場ニ出
廻ル米ヲ全部管理米ニスルト云フノガ、今
度ノ國家管理ノ建前ニナツテ居ルノデアリ
マス

○田中(邦)委員 イヤ分リマシタ、一寸私
ノ思ヒ違ヒノ所モアリマシタ、ソコデ此ノ
管理米ニ付テ途上ノ風説ニ依リマス、今
度切符制ニ依ツテ吾々地方カラ出テ來マス
ノニモ、其ノ切符ヲ持ツテ來ナケレバ飯ヲ
食フコトガ出來ナイヤウニ政府ガスルノダ
ト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスガ、ソ
ンナヤウナ配給機構ガ整ツテ居リマスガ、
確カメテ置キタイト思ヒマス
○湯河政府委員 消費規正ノコトヲ段々組
織的ニヤツテ參リマスノニ、地方ニ依リ
マシテハ切符制或ハ通帳制ト云フ風ナ色々
ナ方法ガアルヤウデアリマス、六大都市其
ノ他大消費地ニ於キマスル消費規正ノヤリ
方ト致シマシテハ、吾々ト致シマシテハ、
サウ一足飛ビニ嚴密ナ切符制度等ハ執レヌ
カト思ツテ居リマス、マアドノ程度ニ致シ
マスルカ、ソレハノ地方廳ノ當局者ト今
相談中デゴザイマスガ、大體ハ所謂通帳制
度ノヤウナモノヲ以チマシテ其ノ配給數量
ヲ限定シテ參リタイト思ツテ居リマス、併
シナガラ宿屋ナドデオ上リニナル御飯ガ全
然ナクナルト云フコトハナイノデアリマス、
食堂等ノ經營ハ若干窮屈ニナラウト思ヒマ
スケレドモ、一々切符ヲ持ツテオキキナ

ラナケレバ御飯ガ上レナイト云フ風ナコト
デハゴザイマセヌ

○田中(邦)委員 分リマシタ、モウ一點ダケ
御伺ヒシマス、管理米ノ序ニ一寸茲ニ分ラ
スコトガアルノデスガ、麥ノ種類ノ中ニ裸
麥ト云フモノガアルノデスガ、不幸ニシテ
私ハ大麥、小麥、燕麥マデハ承知シテ居リ
マスガ、裸麥ト云フモノハ木ヲ見タコトガ
ナイノデスガ、是ハ地方ニ依ツテ何カ名稱
デモ違フノデスカドウデスカ、吾々ノ信州
デハ見受ケマセヌカラ一寸御聽カセヲ願ヒ
タイ

○村上委員長 説明員ヨリ説明致サセマス
○森說明員 裸麥ハ學問的ニハ大麥ノ一種
ニナツテ居リマス、大麥ハ申スマデモナク
粒ニ皮ガ密着シテ居リマシテ、脱穀致シマ
シテモ皮ガ取レナイノデアリマス、裸麥ノ
方ハ丁度小麥ト同様ニ脱穀ト同時ニ皮ガ取
レテ、所謂粒ガ裸ニナル、ソレデ之ヲ詰リ
裸麥ト申シテ居リマシテ、裸大麥ノ方ハ寒
氣ニ弱イ爲ニ主ニ關西、四國、九州方面ニ
栽培セラレテ居リマス、關東カラ東北等ハ
大麥ガ主ニナツテ居リマス
○田中(邦)委員 分リマシタ、私ノ質問ハ
是デ打切ニシテ置キマス
○村上委員長 松田喜三郎君
○松田(喜)委員 稻ノ作付反別ガ年々減少
ノ現象ヲ來シテ居ルノデアリマスガ、政府
ハ之ヲ如何ナル理由デ斯ク減少スルコトニ
ナツタカト云フコトニ付テノ御考ヘガアレ
バ承リタイノデアリマス、其ノ次ニハ技術
トカ、機具トカガ進歩シ、肥料モ亦優良ナ
ル化學肥料デアルニモ拘ラズ、反當リノ増
産ガ洵ニ微々タルモノデアリマス、折柄委
員長モ居ラレマスガ、委員長ノ調査ニ依リ

マス、反當リ僅カニ五升デアルト云フコ
トヲ承ツテ居リマス、斯クノ如ク技術モ機
具モ肥料モ優良ニナツテ居ルニモ拘リマセ
ズ、反當リノ増收ガ微々タルモノガアルト
云フコトニ付テノ政府ノ御所見ヲ聞カシテ
貰ヒタイト思ヒマス

次ニ化學肥料——無機質肥料ハ政府ノ統
制ニ依ツテサウ上ツテ居リマセヌガ、有機
質肥料ノ方ハ相當上ツテ居リマス、所ニ依
リマシタナラバ、反當リ十圓位ノ値上リニ
ナツテ居ラウト思ヒマス、全國的ニハドウ
ナツテ居ルカハ知リマセヌガ、肥料ノ値上
リト云フモノハ、前カラ比ベテ見マスレバ、
反當リ十圓内外デアアル、土壤ニモ依リマス
シ、肥料ノ使ヒ様ニ依リマシテハソレ以上
上ツテ居ル、然ルニ米價ト云フモノハ殆ド
釘付ケデアリマス、政府ハ此ノ肥料ノ反當
リ値上リガドレ位上ツテ居ルカ、必ズ御調
査ニナツテ居ルト思ヒマスガ、ドウ云フ御
調査ニナツテ居ルカト云フコトヲ聞カシテ
貰ヒタイト思ヒマス
○岸政府委員 第一點ノ御話ノ水田面積ノ
減ジテ居ル狀態、其ノ點ニ付キマシテハ最
近ニ於キマシテ、全體ノ面積ト作付ノ面積
トシテハ存外減ジテ居ラナイヤウデアリマ
ス、唯ソレガ實際ノ耕地ノ面積トドウ云フ
ヤウナ關係ニナルカト云フコトニ付テハ、
私記憶シマセヌガ、併シ工場等ノ發展ノ爲
ニ、良イ畑モ潰レテ行ク、其ノ潰地ノ關係
ニ於テハ減少シテ居ル部分ガアルノデハナ
イカト考ヘテ居リマス、是等ニ對シマシテ
一方ニ於テハ潰地對策トシテ、開墾助成ニ
依ツテ面積ヲ殖ヤサウト本年モ豫算ヲ要求
シテ御協賛ヲ願ツテ居ルノデアリマス、又
一方ニ於テハ先般出マシタ臨時農地等管理

令ニ依ツテ將來ニ於ケル田圃、苗田ノ潰レテ行クノヲ防止シテ行カウ、斯ウ云フ方法ヲ色々執ツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ反當收量ガ更ニ増加シテ居ラナイト云フコトデアリマスガ、最近ノ平均ハ二石一斗六升デアリマシテ、是ハ十三年ヨリモ十四年ノ方ガ殖エテ居リマス、是等ハ相當天候ニ惠マレタ點モアラウシ、或ハ努力ノ點モアラウト思ヒマス、併シ押シナベテ見ルト成程一石八、九斗カラ二石ソコノデ反當リ幾ラモ殖エテ居ラナイ、斯フ云フ風ナ狀態ニナツテ居ルノハ洵ニ御説ノ通りデアリマス、是等ガドウ云フ原因ニ依ツテ急速ニ平均ノ率マデ上ツテ行カナイカト云フコトニ付テハ、是ハ色々ナ原因ガアルグラウト思ヒマス、是等ニ付テハ斯ウ云フ點ガ働イテ、其ノ結果トシテ平均反當ノ收量ガ上ツテ行カナイト云フコトヲ明確ニ指摘スルマデ私達モ調べテ居リマセス、併シ最近ニ於テ看過シ得ナイコトノ一ツハ、ヤハリ土地ノ有機質等ガ減退シテ行ツテ、ソレガ爲ニ混入肥料等ノ效力ヲ擧ゲ得ナイト云フコトモアルノデハナイカ、サウ云フ點ニ付テ原因ノ探究ニ努メタイト思ツテ居リマス、是等ニ付テハ「ドイツ」等ニ於テモサウ云フ事例ガアリマシテ、曾テ非常ニ金肥依存ヲヤツタ、ソレガ爲ニ一時非常ニ收量ガ殖エタガ、其ノ後ニ於テ土中ニ於ケル有機質ノ減退ト共ニ、混入肥料ヲ相當入レタニ拘ラズ、收量ガ上ツテ行カナクツタト云フ實例モアリマス、サウ云フ事例カラ考ヘマシテモ、サウ云フヤウナ働キ方ガ非常ニアルノデハナイカ、斯フ云フ意味合ニ於テ、自給肥料ヲ相當確保スル、即チ一面ニ於テ地力ノ培養ヲシテ行クト云フコ

トニ努メテ行キマスレバ、此ノ増加ヲ期待シ得ルコトガ出來ルノデハナイカ、勿論之ニ關聯シマシテ、昨日常官カラ御話申上ゲマシタヤウニ、一部落中ニ於ケル收穫低位ニアル農家ノ程度ヲ高メルト云フコトニ付テハ、同ジ肥料デアツテモ努力ト云フモノガ相當殘サレテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フ方面ニ努力シテ行カネバナラスト思ツテ居リマス、併シ此ノサウ殖エナイト云フコトノ原因ニ付テハ、色々ノ原因モ働イテ居ルト思ツテ居リマス、又反當リニ投ジマシタ所ノ金肥ノ量、是ガドウ位ニ相成ツテ居ルカト云フコトニ付テハ、只今手許ニ御答ヘスル材料ガゴザイマセヌカラ調べマシテカラ御答ヘ致シマス

○松田(喜)委員 稻ノ作付反別ガ減少スル傾キガアルト云フコトハ、工場地帯等ニ取ラレル爲ニ減少スルモノデアツテ、耕地ノ開墾ニ付テハ力ヲ入レテ居ル、ケレドモドウモ思フヤウニ殖エヌト云フコトデアリマス、其ノ邊ノ事情ガ明カデナカツタノデアリマスガ、私ハ田ヲ作ル、米作ヲスルコトハ引合ハスト云フ意味デ、米作反別ガ減ルノデハナイカト思フノデアリマス、重ネテ言ヒマスガ、ソコヲドウ考ヘラレルカ、サウ云フ考ヘハアリマセヌカ、政府トシテハ十分御調査ノコトグラウト思ツテ居リマス、又農村カラ販運産業ノ方ニ勞働ニ出勤スル者ガ澤山アリマス、是モ惡イトハ言ヒマセヌ、併シナガラソレ等ハドウ云フ考ヘデ行クカ、販運産業、軍需産業ノ方ニ行カナケレバ、國家ノ爲ニナラナイト云フ精神デ行ツテ呉レルノデアルカ、或ハ農村デ働イテ居ツタノデハドウモ行カナイカト云フノデ行クノデアルカ、ドツチデセウカ、サウ云フコトモ

尙ホ承ハリタイト思ヒマス
ソレカラ只今ノ反當肥料ニ付テハ、非常ニ上ツテ居ルト思フテ居リマス、ソレハ今調査材料ガナイカラ後日出シテヤラウト云フ御話デアリマスガ、併シ此ノ委員會ハ最早ヤ明日デ濟ミマス、必ズ十分ニ御調査ニナルト言ハレテモ、私ニ對スル御説明ガナイカト思フノデアリマス、一般農家ハ肥料ノ上ツテ居ルト云フコトハ明カニ知ツテ居ル、困ツテ居ルノガ偽ラヌ農家ノ實情デア、自分ガヤツテ居ルノダカラ一番能ク知ツテ居ル、政府モ此ノ邊ハ能ク御調査ニナ作ヲスル上ニ影響スルコトデアルカ、肥料ハ値上リスル一方デアリマス、先日公定價格ガ決マリマシテ、幾分下ツテ居リマスガ、以前ノ安イ時分カラ見レバ三倍位シテ居リマス、米價モ上ツテ居ルト言ツテモ、タツタ五圓シカ上ツテ居ナイ、是等ノ差ト云フモノニ依ツテ作付反別ガ減リ、反當リ増收量ガ減リ、農村ノ者ガ都會ヘ行ク、斯ウ云フヤウナ傾キニナルノデハナイカト思ヒマスガ、如何ニ思ハレルカト云フコトヲ御尋ネ致シテ置キマス、又只今反當リ收量ヲ殖ヤスト云フ爲ニハ堆肥ヲ十分ニ造ラセテ、サウシテ地力ヲ肥ヤス、洵ニ御尤モデアリマス、是ニハ私贊成デアリマス、政府ノ方針ニ贊成シマスガ、ソレ位デハ到底其ノ目的ヲ達シマセヌ、其ノ努力ガナイノデス、其ノ堆肥ニスル資材モ少イノデス、政府ガ思ハレルヤウニ堆肥其ノモノニ依ツテ地力ヲ増強シ、反當收入ヲ非常ニ増收スルコトガ出來ルカト云フコトヲ私心配スル者デアリマスガ、其ノ邊尙ホ私ガ納得ガ出來ルヤウニ御説明願ヒタイト思ヒマス、餘リ長ク掛

リマスガ、モウ一ツ附加ヘテ申上ゲマス、私ハ今農村ガ米ヲ作ルト云フコトニ付テ、ドウモ熱意ガ缺ケテ居ルヤウニ思フ、政府ノ國策デアル米ガ不足ヲシテ居ルガ故ニ、是ダケハ米ヲ作ラウト云フ其ノ國策ニドウモ熱ガナイ、ソレヲ私心配シマス、農家ガ米ヲ作ルノニ熱意ガ缺ケテ居ルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、延イテ思想ニマデ影響スル、國力ニ影響スル、ドウモ其ノ傾キガアルガ、政府ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、又政府ハ内地外地ヲ通ジテノ米ノ消費ハ、其ノ依ツテ出來ル所ノ米ヲ以テ自給自足ヲスル、其ノ方針デ行クノデアルカ、其ノ方針デ進ムト云フ確乎タル御方針デアルカ、又ハマアノニシテ——是ハ一寸言ヒ方ガ惡イノデゴザイマスガ、只今ハ外米ニ依ツテヤツテ行クノデアル、斯ウ云フ御方針デアリマセウカ、先刻御説明ニ依ツテ私達モ實ニ驚キマシタ、内地外地ヲ通ジテ米ノ不足ト云フモノハ、私達ハ千万石ガ切レルモノノヤウニ思ツテ居ツタ、七百万石、八百万石以上ハ要ラナイモノダト思ツテ居ツタ、所ガ先刻千二三百萬石モ買ハネバイカヌ時モアツタト云フ御話デアツタ、此ノ狀態デアリマシタラ、人ハ殖エル、作付反別ハ減ルシ、反當收入モ増收ハ出來ナイ、斯ウナツテ見マス、不足スルコトハ益増加スル一方デアツテ、將來外米ノ買入ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトハ、非常ナ量ニ及ボトニナリハセヌカト云フコトヲ非常ニ憂慮スルモノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ内地外地ヲ通ジテノ自給自足ノ方針デ行クノデアルカ、或ハ又外米依存デ行クノデアルカト云フコトヲ聽カシテ貰ヒ

行クノデアルカト云フコトヲ聽カシテ貰ヒ

タイト思ヒマス

○岸政府委員 先程水田が減ツテ行クノニハ、工場等ニ潰サレノガアルダラウカラト云フコトヲ申上ゲマシタノニ對シマシテ、ソレハ米價ガ停マツテ居ルノニ、資材ガ昂騰シテ居ル、特ニ肥料ガ高クナツテ居ル、サウ云フヤウナコトデ米作ニ對シテ農民ガ興味ガ薄クナツテ逃ゲテ行クノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御質問ダツタと思ヒマスガ、勿論サウ云ツタヤウナ事實モアラウト思ヒマス、併シ私共ハ農村全體ガサウ云フヤウナ氣持ニナツテ居ルトハ考ヘテ居リマセヌ、併シサウ云フヤウナ氣分ノ動イテ居ル者ニ對シテ、本當ニ日本ノ農民ノ立場ヲ思ヒ直スヤウニ努力スルコトニ付テハ、今後トモヤツテ行カナケレバナラス、是亦離村ヲ防ギ、今ノ美田ヲ維持スル當面ノ一ツノ方策ダト考ヘテ居リマスノデ、サウ云ツタヤウナ分子ニ付テハ極力今後ニ於テ努メナケレバナラスカト考ヘテ思ヒマス

ソレカラ先程無機質ノ土地ニ地力ヲ涵養シテ行クコト云フコトニ付テドウスルカ、其ノ點ハ先程坂下サンカラモ御話ガアリマシタヤウニ、家畜ノ増殖ヲヤツテ有畜農業ヲ普及徹底サセヨウト言ツテ居リマス狙ヒ所モソコニアルノデアリマス、自給肥料ヲ殖ヤスト云フコトハ結局土地ニ出來マシタ農産物ヲ又其ノ土地ニ返シテヤルト云フコトニ付テノ努力、將來ニ於テ働カセルコトニ依ツテ達セラレルノデアリ、又他ノ一面ニモ作ヲシ得ル所ニ於テハ二毛作ヲスル一面、家畜ヲ飼フベキ費用ノ一部ヲ支給シテ其ノ既肥ヲ土地ニ返シテヤル、要スルニ土地カラ受ケタモノハ成ルベク土地ニ返シテヤル、又外カラ來ルモノモ家畜ヲ通シテ土地ニ返

シテヤルト云フヤウナ努力ニ依ツテ増加ヲナシ得ルト考ヘテ居リマス、結局サウ云フ方面ニ於テ、努力モ用ヒテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、又糞ノ用途ニ付テモ、今日糞ハ澤山アリマスガ、尙ホ糞ガ漠然ト放置サレテ居ル分ガ澤山アリマス、ソレ等ヲ利用スルコトニ依ツテ、ソレヲ完全ニ土地ニ返シテヤルト云フコトニナリマスレバ、地力ノ維持ハ圖レルト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ニ米作ニ熱意ガナイ、是モ第一ノ御質問ト同ジヤウニ私共ハサウ云ツタ一面モアルカモ知レマセヌガ、大部分ハサウデナイト今信ジテ居リマス、又サウアリタイト思ツテ居リマス、一部分ニ付キマシテハヤハリソレト同ジヤウニ、精神のノ方面カラモ相共ニサウ云フコトノナイヤウニ私共ハ努メタイト思ツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ自給自足ニ對スル考ヘ方、是ハ私カラ申上ゲルノハ少シ話ガ大キ過ギルト思ヒマスガ、先程食糧局長カラモ仰シヤツタヤウニ、外國米ニ依存ヲシテ居ルト云フコト、是ハ別段理想デハナイノデアリマシテ、現在ノ食糧ノ狀況カラ見マスレバ、吾々トシテハ日滿支ヲ通ズル所ノ食糧、又之ニ附帶スル所ノ飼料其ノ他ノ計畫ヲ考ヘ、其ノ計畫ノ下ニ地域的ノ計畫ヲ考ヘテ行ク、其ノ地域的ノ計畫ニ於テモ極力増産ヲスルノデナケレバ、先程湯河長官ノ話シタ如ク、各地ニ於テノ消費ノ數ト云フモノハ非常ニ高マツテ居ル、デアリマスカラ、サウ云フ情勢ニ對處シ、又高度國防國家ヲ建設スルト云フコトニナリマスレバ、現在ノ立體戰ノ狀態ヲ考ヘテ、自給自足ヲ相當鞏固ニシテ行クコト云フコトニ努力ヲシナケレバナラ

ス、斯ウ云フヤウナ見地カラ地域的ノ自給自足ト云フコトニ付テハ、從來ノ單ナル自給自足ヲ考ヘル以外ニ、相當意味ヲ持ツタ研究ヲシ努力ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ風ナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、是ハ或ハ私一個ノ考ヘ方ニナルカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ナ意味合ニ於テ將來ヲ見透シマス、相當ノ努力ヲ拂ツテ行カナケレバナラヌト、相當ノ氣持ガ致シテ居リマス

○松田(喜)委員 御答辯ヲ婉曲ニセラレマスノデ、ソレヲ質問シテ居リマスト非常ニ時間ヲ取リマス、米作ニ不熱心デアツテ、其ノ他ノ有利ナ團藝等ノ方面ニ趨ル者ガアル——有利ナト言フト又一寸婉曲ニナルカラ言ヘマセヌガ、米作以外ノモノノ方ニ熱心スル百姓ガアルト云フコトハ、是ハドウ云フ關係デセウカ、國策トシテノ米作ニ熱心シナイ者ハ不忠デアアル、其ノ他ノモノニ趨ル者ハ、何ト云ヒマスカ、サウ云フ言ヒ方ヲスルト惡ウゴザイマスガ、兎ニ角米作ニ力ヲ入レルコトガ事實ドウモ少クテ、其ノ他ノモノニ力ヲ入レルノハ何ノ爲デセウカ、ソレハ國家ノ爲ナリトスルノデセウカ、何ノ爲デセウカ、ソコヲ承リタイノデアリマス

○岸政府委員 中々ムヅカシク追究セラレマスガ、農家ガ米作ヲ止メテ水田ヲ果樹園ニスルト云ツタヤウナ半面ガアリマスノハ、其ノ果樹園ノ方ガ收益ガ多イト云ツタヤウナコトヲ考ヘテ轉ズル場合ガ多イト思ヒマス、ソレハ否メナイト思フ、其ノ點ヲ其ノ儘不忠ナリト、斯ウ言ツテ咎メルダケノ自覺ヲ以テ彼等ガ其ノ方ニ趨ツタカドウカト云フコトハ私ハ問題ダト思フ、又サウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテハ國ニ不忠デアアルガ

ソツチノ方ニ趨ツタ、ト云フ風ニハ私ハ考ヘマセヌ、併シ今ノ事情トシテ、サウ云フヤウナ美田ヲ潰シテ利益第一デ其ノ方ニ趨ルト云フヤウナコトニ付テハ、十分農家ノ自覺ヲ促シテ、サウシテ米作ノ方ニ努メテ貫フト云フコトニ付テハ、今後モ指導上ニ於テ努メネバナラスト斯ウ考ヘテ居リマス

○松田(喜)委員 洵ニ御尤モデアリマス、私ガ忠、不忠ト言ツタノハ、私モ惡ウゴザイマス、ソレニ注意ヲサレルコトハ歡迎シマス、米作ニ對スル熱意ノ有無ト云フコトデアリマシテ、忠、不忠ト言ツタノハ惡ウゴザイマスカラ、是ハ取消シマス、只今ノアナタノ御答辯ハ私モ全然御同感デアリマス、即チ米ヲ作ルヨリ他ノ物ヲ作ル方ガ有利ダカラ其ノ方ヲヤルノデアラウ、ソコハアナタガ認メタ通り私モサウ思フ、一般百姓モサウ思ツテ居ルニ相違ナイ、ソレガ忠デアアル、不忠デアアルト云フ意味デハ無論アリマセヌ、熱意ノ有無デアルト思ヒマス、其處ヲ吾々ハ氣遣フ、是程技術ガ進歩シ、肥料モ良クナリ、或ハ農機具モ良クナツタニ拘ラズ、反當收量ガ少イ、或ハ耕地獎勵ヲ致シマシテモ、年々稻ノ作付反別ガ減少スルト云フコトモ、皆米ヲ作ルノガ餘リ利益ニナラスカラナノデス、色々ノ議論ハアリマスガ、要スルニ結論トシテハ米ヲ作ツテハサウ利益ニナラナイト、斯ウナツテ居ル、ソコハドウ言ハレデモ御認メニナラザルヲ得ナイト思フ、引合フヤウニシタラヤルノデス、引合ハヌカラ引合フ方ヲヤル、農家ト雖モ食ウテ行カナケレバナラス、勞働スルダケデハ食ウテ行ケナイ、其ノ收入ニ依ツテ生活スルノデスカラ、ドウシテモ收入ノ多イ方ヘ行キマス、行クナト

言ツテモ利益ノ多イ方ヘ行キマス、私デモ
オ前ハ三百圓ノ給料ダガ千圓ヤルカラ行
カヌカト言ツタラ行キマス、皆サウデス、
利益ノ多イ方ニドウシテモ行ク、即チ米ヲ
作ツテ損ガ行カナイ位ニシナケレバナラ
ヌ、特別ノ利益ヲ與レト云フノデアリマ
セヌ、米ヲ作ツテ相當ノ利益ハナケレバナ
ラス、其ノ收入ハアルヤウニシナケレバナ
ラス、ソレガアルヤウニシナケレバ米ハ中
中出来マセヌ、何ボ力ヲ入レマシテモ、只
今御説明モアリマシタケレドモ、年々百分
ノ一位ハ耕作反別ガ減ツテ行ツテ居リマ
ス、ドウシテモ減ルノデアリマス、サウシ
テ減リハスルケレドモ、其ノ割合ニ増産ガ
出来ルカト言ツタラ、サウデハナイ、作付
モ減ルシ、收穫モ漸々ニ減ツテ行ツテ居ル
ト云フコトハ、憂慮スベキ問題デアリマ
ス、ドウシテモ米價ヲ其ノ他ノモノト對ニ
上ゲネバイケマセヌ、農工商ハ對デス、即
チ百姓ガ作ルガ故ニ米ダケハ安イト云フコ
トダケデハイケマセヌ、農工商ハ對デスカ
ラ皆共ニ上ゲテヤラナケレバイケマセヌ、
ソレヲ上ゲルコトガ出来マセナンドナラ
バ、米價ヲ其ノ儘ニシテ諸物價ヲ下ゲタラ
宜シイ、ソレガ出来ヌ今日ノ狀態デアル、
ソレナラバ農家ダケニ犠牲ヲ拂ハスト云フ
コトハイケマセヌ、ドウシテモ米價ヲ相當
ノ價格ニ引上ゲナケレバナラス、ソレガ出
來ヌト云フノデ、昨日カラ大臣ガ言明スルノ
ダラウト思フ、然ラバ茲ニ米ヲ餘計作ルヤ
ウナ方法ガアル、引合ヒサヘスレバ作ル、
米價ハ上ゲラレヌト云フナラバ、米價ハ其
ノ儘デ上ゲヌナラ上ゲヌモ宜シイ、米價
ハ其ノ儘デモ、飽クマデ作ルト云フ熱心ヲサ
スヤウニ、努力ヲサスヤウニ仕向ケサヘス

レバ宜イ、政府ハ色々方法ハ執ツテ居リマ
スガ、私ノ考ヘデハ、肥料ノ値上リ其ノ他
ニ依ツテ一反ニ十圓位ハ經費ガ高クナツ
テ居ルノデアルカラ、ソレ位ハ米ヲ作ル
者ニ生産獎勵金トシテ出シテヤル、サウス
レバ米價ハ上ゲヌモ宜シイ、米價ハ上ゲ
ヌデモソレダケ生産獎勵金ト云フモノヲ出
セバ宜イ、サウシタラビツクリスル程作リ
マス、引合フカラ作ルノデス、政府ハ色々
ノ方法ヲ執ツテ居ラレマスガ、茲ニ米ヲ生
産スル者ニ反當リ十圓ナラ十圓ノ生産獎勵
金ヲ出シテヤツタナラバ米ハ見事ニ作リマ
ス、是ハ米價ガ上ゲラレヌトスルナラバ、
生産費ヲ償フダケノ獎勵金ナリ何ナリヲ出
シテヤルヤウニシナケレバナラス、サウ云
フヤウナ方法ヲ何カ講ジナカツタナラバ、
此ノ減リツツアル米デ此ノ殖エツツアル人
口ヲ賄フコトハ出来ヌト私ハ思ヒマス、何
トカ非常ニ熱心ニ生産ニ努力スルヤウニシ
テヤラナケレバナリマセヌ、之ヲ御伺ヒシ
タイノデアリマス

○岸政府委員 御話ノ點ハ、米價ヲ上ゲナ
イナラバ肥料代ノ補給ニ獎勵金ヲ出シタラ
ドウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ相當
大キイ問題デ、私此處デ御答ヘスルノハド
ウカト考ヘテ居リマス、米ハ上ゲナイト云
フコトニ付テハ方針ノ示サレタ通りデアリ
マス、隨ヒマシテ其ノ狀態ニ於テ幾ラカデ
モ農民ガ作り易クナルヤウニスル、又技術
指導モ徹底サセテ、幾分デモ作り易イヤウ
ニ導イテ行クト云フ努力ハシナケレバいか
ヌト考ヘテ居リマス、デアリマスルカラ現
在色々盡シテ居リマスルコトハ結局ソレヲ
目掛ケテ、現在ヤツテ居リマスル所ノ政策
ニ根本的ニ支障ヲ來サヌ、サウシテ積極的

ニ米作其ノ他ノ最モヤリ易イヤウニスルト
云フ方法デ努メテ居ルノデアリマス、或ハ
水利施設ニ付テ色々努力シテ居リマス、是
等モ現在ノ狀態ニ於テ水利施設ヲ行フコト
ニ依ツテ反當收量ヲ増加スル、或ハソレニ依
ツテ減收ヲ防止スルト云フ形ノモノガ多々
アルト思フノデアリマス、ソレ等ニ對シテ
ハ相當額ノ助成金ヲ出シテ居リマスノデ、
間接ニサウ云フ生産條件緩和ヲ助ケテ居
ル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、或ハ
其ノ他多收穫品種ヲ普及サスト云フヤウナ
點モ、ソレニ依ツテ反當成績ノ低下ヲ現在
ノ窮屈ナ狀態ニ於テモ防グ上ニ役立つテ居
ルト思フノデアリマス、或ハ耕種ノ改善指
導ヲヤルト云フヤウナコトモ、ソレ等ノ
意味ヲ含シテ農家ノ現在ノ狀態ニ於テヨリ
ヤリ易イヤウニスルノダト云フコトニアル
ト思ヒマス、併シ一面ニ於テヤハリ指導ス
ル場合ニ農民ヲシテ現在ノ農民ノ立場、農
民ノ使命ヲ十分自覺サセテ、國ノ事情ニ協
力シテ貰フコト云フ方面ニ精神的ニ働き掛ケ
ルコトニ付テモヤツテ行カナケレバナラス
ト思フノデアリマシテ、サウ云フヤウナ各
種ノ方面ニ於テヤツテ居リマスルコトハ、
現在ノ窮屈ナ事情ニ於テヤリ易イヤウニス
ルト云フ努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマ
スカラ、其ノ點ヲ申上ゲテ私ノ御答ヘニ致
シタイト思ヒマス

○松田(喜)委員 政府ハ斯ウ云フ考ヘハゴ
ザイマセヌカ、米俵ヲ生産者ニ返シテヤラ
ウト云フ御考ヘハアリマセヌカ、肥料デモ
飼料デモ、或ハ「ビール」場或ハ「サイダー」
場マデ、大概ノ物ハ皆其ノ元ニ返スヤウナ
狀態デアリマス、米俵ハ中々馬鹿ニナリマ
セヌ、俵ハ幾ラオ粗末デモ米一升ト云フ相

場ニナツテ居ル、サウスルト一俵ノ俵ガ四
十三錢カ四十五錢、五十錢位スル、ソレハ
其ノ儘放ツテシマフト云フノハ先刻御話ニ
ナツタ堆肥ニシテシマフカ、ドウナルカ、
知リマセヌケレドモ、勿體ナイコトデ
ス、一俵五十錢ト致シマス、容易ナラヌ
大キナ金額ニナリマス、努力ノ不足ノ時分
ニ俵ヲ拵ヘルノハ農村トシテ容易デハナ
イ、新シイモノヲ一遍使ツタダケ放ツテ
シマフト云フコトハ、國トシテモ不經濟千
萬デアル、宜シク産地ニ戻シテヤルガ宜
イ、一俵五十錢トシテドノ位ノ金額ニナリ
マスカ、六千万石トシマシテモ一億五千万
俵ト云フ俵數デスカラ、七千五百万圓ト云
フ容易ナラヌ大キナ金デアリマス、之ヲ御
考慮願ヒタイ、ソレト米穀管理ニナツテ吾
吾ノ地方ハ一俵ニ二合半ヅツ米ヲ餘計入レ
ル、麥ハ百匁ヅツ餘計入レル、是ダケハ價
格以上ニ買ツテ居リマスカ、飼料デモ肥料
デモ總テサウ云フ風ニナツテ居リマスカ、
吾々ノ地方ト云ハバ麥ナラバ日本第一ノ良
イ麥ガ出来マス、米モ上ノ上ノ飛切トハ言
ヒマセヌガ、上ノ部デアツテ、ソレデモ一
俵ニ付テ二合半ヅツ餘計入レテ居ル、ソレ
デ價格ハ變ラヌ、生産検査ヲシマシタ上ニ
更ニ米ハ二合半、麥ハ百匁ヅツ殖ヤシテ居
リマス、斯クノ如キハ當然考慮センナラス
問題ダト思ツテ居リマス、尙ホ農作物ノ保
險ノ問題ニ付テ御尋ネシタイノデスガ、是
モ時間ガアリマセヌカラ、何レ後デ御聽キ
スルコトニシタイト思ヒマス、是等モ法ヲ
拵ヘテ巧キヤツテ居ルヤウデアリマスガ、
殆ド人件費ニ行ツテシマヒマシテ、例ヘバ
一村デ保険料ガ一千圓トシタナラバ、其ノ
内人件費ニ五百圓位貰ヒマシテ、保險トシ

テ貰フ金ハ四百圓モアリマスマイ、アツテ
呉レナイ方ガ宜イノデアリマス、是ハアト
ニ致シマス、只今申上ゲマシタ點ニ付テ附
加ヘテ御尋ネ致シマシタガ、御答ヘガ願ヘ
レバ仕合セデアリマス

○湯河政府委員 松田サンノ今ノ倭ノ問題
デアリマスガ、十分研究致シマスケレドモ、
實ハ倭ノ値段ハ恐ラク其ノ儘米ノ値段ノ中
ニ組入レテアラウト思フノデアリマス、デ
アリマスカラ、ヤハリ農家ト致シマシテハ、
俵ヲ賣ツテ居ルト云フコトニナルト思フノ
デアリマス、併シソレハ公定價格ヲ決メマ
ス際ニ、一重俵ナラ幾ラ、二重俵ナラ幾ラ
ト、ヤハリ俵ノ値段ハ出シテ居リマス、恐ラ
ク俵ノ値段モ入レテノ米價ト云フコトガ取
引上決マツテ居リマスノデ、俵グルミノ値
段ヲ公定シテ居ルモノダラウト私存ジテ居
リマスガ、併シ痛切ナ御話デゴザイマスノ
デ、十分一ツ研究致シタイト思ツテ居リマ
ス、ソレカラ管理米ニナツテ米一俵ニ付テ
二合半、麥一俵ニ付テ百匁ツツ、斯ウ云フ
ヤウナモノハ正當ナ値段ニ評價シテ居ナ
イ、是ハ農家トシテ取ラレテ居ルノデハナ
イカト伺ツタノデアリマスガ、或ハ違ツテ
居ルノカモ知レマセヌ、此ノ問題ハ今後吾
吾トシテモ慎重ニ考ヘテ行クベキ問題ト思
ヒマスガ、現在公定シテアリマスル値段ハ移
出検査ノ規格ニ合致シタモノト見テ居ルノ
デアリマス、其ノ検査規定ヲシツカリ決メ
マシテ、其ノ通りニ勵行シテ貰ヒタイト思
ツテ居リマス、此ノ點モ十分研究致シタイ
ト思フノデゴザイマスガ、從來市場ノ商人
ニ阿ネルヤウナ意味ヲ以テマシテ、ヤタラ
ニ込米等ヲ多クスル習慣ガ農村ニアツタ、
是ハ非常ニ卑屈ナ行キ方ダツタト思ヒマス、

又ソレヲ是認スルト申シマスカ、マア仕方
ガナイト云フヤウナ氣持デ、サウ云フヤウ
ナコトヲ助長——ト言ツテハ言ヒ過ギカモ
知レマセヌガ、サウ云フヤウナ傾キガアツ
タカト思フノデアリマス、是等ノ點ハ實際
今ノ米穀事情カラ申シマシテ、又國家ガ管
理スル上カラ申シマスト、一切抹殺スベキ
モノダト思フノデアリマス、唯殘ル問題ハ、
米ガ輸送中ニ枳切レガスルト云フヤウナコ
トデ、是ハ極メテ常識的ニ、極メテ合理的
ニ量リマシテ、或ル一定ノ分量ヲ入レテ置ク
ト云フコトガ必要デゴザイマセウガ、ソレ
以上ニ込ミマスコトハ、是ハ從來ノヤウナ
用捨ハ要ラナイ、寧ロソレ等ヲ正確ニ扱ツ
テ行クヤウニ、検査制度ナドモ確立シテ行
キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、併シ
御指摘ノ點ニ付キマシテハ、吾等ト致シマ
シテモマダ十分研究出來テ居リマセヌノデ、
是カラ能ク研究シテ參リタイト思ヒマス
○松田(喜)委員 ソレデ宜シウゴザイマス、
能ク調査ヲ願ヒタイ、成ベク私が申上ゲタ
ヤウナコトガ實現スルヤウニ御願ヒシタイト
思ツテ居リマス、唯一ツ、大臣ガ十六年度
ノ米價ハ上ゲナイノデアル、アノ施設ニ依
ツテ十分デアル、米價ハ絕對ニ上ゲナイ、
ソレ以上ハ言ツテ呉レルナト云フコトハ、
洵ニ意味慎重デアル、ソレハ洵ニ感謝スル、
ヤラナイコトニナツテシマフト、サナキダ
ニ利益ノナイ米ト云フモノニ、農村ノ力ヲ
緩メマシテ、其ノ他ノ利益ノアル方ニ行ク、
利益ノアル方ニ力ヲ入レル、米ヲ作ツテモ
引合ハヌ、十六年度モ見込ガナイト云フヤ
ウナ感じヲ與ヘルコトハ、米作者ニ容易ナ
ラヌ考ヘヲ與ヘテ、憂慮スベキコトニナリ
ハセヌカト云フ心配ガアル、私ガ言ヒマス

ノハ、米價ヲ上ゲルト云フノデハアリマセ
ヌ、地主ヲ肥ヤセト云フノデハアリマセヌ、
唯其ノ耕作スル人、即チ生産者ニサウ云フ
補助ヲシテ、十分ニ米ヲ作ラセロ、斯ウ云
フノデアリマス、米價ヲ上ゲル、或ハ地主
ヲ利益サセルト云フ意味デハアリマセヌ、
作ル耕作者ニ對シテ、モツト十圓ナラ十圓
ト云フモノヲ補助シテヤルヤウニシテ、サ
ウシテ總テノ物ヲ作ル上ニ於テ均衡ヲ保タ
セルヤウニ、農家ダケガ、或ハ耕作者ダケ
ガ犠牲ヲ拂フヤウナコトノナイヤウニシテ、
食糧ノ確保ニ邁進セラレンコトヲ祈リマス
ト同時ニ、大臣ニモ能ク御話下サイマシテ、
實現ヲ希望スル次第デアリマス

○村上委員長 通告ニ依リマシテ、質疑ヲ
シテ戴イタノデアリマスガ、一應是デ終了
致シマシタ、但シ大臣ニ對スル質疑ノ殘ツ
テ居ルモノガアリマス、又若干ノ補足質問
ガアルデアラウト思ヒマス、デアリマス
カラ、ソレ等ノコトハ明日ニ讓リマシテ、
本日ハ是デ散會シタイト思ヒマス、明日ハ
午後一時カラ開會スルコトニ致シマス、ド
ウゾ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス
午後五時三分散會

昭和十六年二月十五日印刷

昭和十六年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局